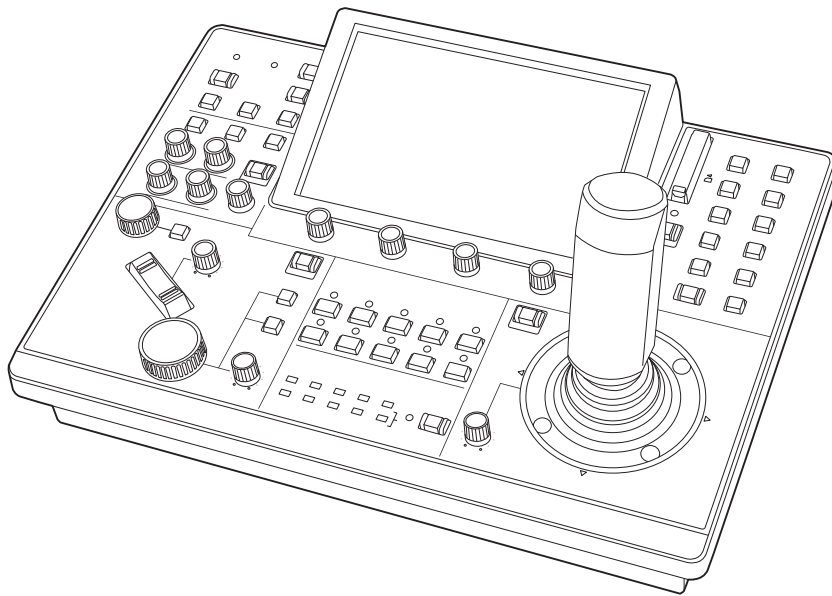


# Panasonic<sup>®</sup>

## 取扱説明書

リモートカメラコントローラー

品番 **AW-RP150G**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

GJ

W1118WT2032 -FJ

JAPANESE

DVQP1818XA

#### 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 10およびInternet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

#### 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為  
は禁じられています。

#### 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

#### 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。\*  
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

\* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

#### 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。  
それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「4Kインテグレートッドカメラ」、または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。



また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-RP150G	AW-RP150
AW-UE150W	AW-UE150
AW-UE150K	








安全上のご注意.....	4
はじめに.....	7
特長.....	8
対応するリモートカメラ.....	8
使用上のお願い.....	9
各部の名前とはたらき.....	10
制御パネル部.....	10
背面部.....	15
設置上のご注意.....	16
接続.....	17
IP接続例.....	17
シリアル接続例.....	19
本機の基本操作.....	21
リモートカメラの電源の入れかたと切りかた.....	22
リモートカメラの電源の入れかた.....	22
リモートカメラの電源の切りかた.....	23
カメラグループを選択する.....	24
リモートカメラを選択する.....	25
ステータス画面.....	26
ステータス画面の表示と操作.....	26
メニューの基本操作.....	28
メニュー表示のしかたとメニュー構成.....	28
本機のネットワーク設定を行う.....	31
リモートカメラとの接続設定を行う.....	33
リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を設定する.....	34
自動でIPアドレスを設定する(自動IP設定).....	34
接続先IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を手動で設定する.....	39
本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する.....	39
メニュー.....	40
メニューグループ.....	40
PAINT.....	41
FUNCTION.....	52
MAINTENANCE.....	58
SYSTEM.....	74
PMEM/TMEM.....	80
セットアップソフトウェア.....	88
ソフトウェアをインストールする.....	88
パーソナルコンピュータの設定を行う.....	88
リモートカメラとの接続設定を行う.....	89
メッセージ一覧.....	93
トラブルシューティング.....	95
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	96
外形寸法図.....	97
定格.....	98
外部機器の制御インターフェース.....	99
さくいん.....	103

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。










■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。




 **警告**

	<p>■ <b>本機の設置や接続工事は販売店に依頼する</b>                  (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)                  ⇒必ず販売店に依頼してください。</p>
	<p>■ <b>電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない</b>                  (火災や感電の原因となります。)</p>
<p><b>異常、故障時には直ちに使用を中止する</b></p>	
 <p>電源プラグ を抜く</p>	<p>■ <b>異常があったときは、PoE+給電のLANケーブルおよび外部DC電源の電源プラグを抜く</b>                  [ 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、                  煙や異臭、異音などが出たとき ]                  (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)                  ⇒本機を電源から完全に遮断するには、PoE+給電のLANケーブル、DCコードを抜く必要があります。                  ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ <b>外部DC電源のDCプラグは、根元まで確実に差し込む</b>                  (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)                  ⇒傷んだプラグは使用しないでください。                  (DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
	<p>■ <b>PoE+給電のLANケーブル、DCコードのほこりなどは、定期的にとる</b>                  (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ <b>高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る</b>                  (ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があります、誤動作による事故の原因になります。)</p>
	<p>■ <b>外部DC電源は、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する</b>                  (誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)                  ⇒詳しくは、本書の15ページを参照してください。                  (DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
	<p>■ <b>外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する</b>                  (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。)                  ⇒詳しくは、本書の15ページを参照してください。                  ⇒外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。                  ⇒外部DC電源は、電気用品安全法のマークの付いたものをご使用ください。</p>

 **警告** (つづき)

	<p>■ <b>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</b>                  (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)                  ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p> <p>■ <b>不安定な場所に置かない</b>                  (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ <b>分解や改造をしない</b>                  (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)                  ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ <b>雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない</b>                  (感電の原因になります。)</p>
 水場使用 禁止	<p>■ <b>水場で使用しない</b>                  (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ <b>ぬれた手で接続ケーブルやコネクタに触れない</b>                  (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ <b>振動や強い衝撃を与えない</b>                  (火災や感電の原因となります。)</p> <p>■ <b>メモリーカード(別売品)は乳幼児の手の届くところに置かない</b>                  (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)                  ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
<p>PoE+ 給電のLANケーブル、外部DC電源は・・・</p>	
	<p>■ <b>PoE+ 給電のLANケーブル、DCコードが破損するようなことはしない</b>                  [ 傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、                  重いものを載せる、束ねるなど ]                  (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。)                  ⇒ PoE+ 給電のLANケーブル、DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、                  お守りください。</p>
	<p>■ <b>不安定な場所に置かない</b>                  (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ <b>雷が鳴り出したら、PoE+ 給電のLANケーブル、DCコードには触れない</b>                  (感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ <b>ぬれた手でPoE+ 給電のLANケーブルやコネクタに触れない</b>                  (感電の原因になります。)</p>

## ⚠ 注意

	<p><b>■ 本機の放熱を妨げない</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない</span>                      (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p><b>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b>                      (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p><b>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b>                      (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)                      ⇒本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p><b>■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない</b>                      (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。)                      ⇒必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p><b>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b>                      (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 <p>電源プラグを抜く</p>	<p><b>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く</b>                      (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p><b>■ ケーブルを接続した状態で移動しない</b>                      (ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p><b>■ 落としたり、破損させたりしない</b>                      (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。)                      ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
	<p><b>■ ケーブルなどを傷つけない</b>                      (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)</p>

# はじめに

## ■ 概要

本機は、リモートカメラ (AW-UE150 : 別売品) を制御するリモートカメラコントローラーです。  
IP 接続であれば最大 200 台、シリアル接続であれば最大 5 台のリモートカメラを接続することができます。

## ■ 必要なパーソナルコンピューター的环境

本機で使用するソフトウェアは、下記の Web サイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

## ■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

## ■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。  
ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。  
これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

## ■ ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

## ■ 使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

## ■ アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート・ダウンロード」から入手することができます。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

## ■ 各種ファイルについて

カメラ設定ファイル	リモートカメラの設定ファイルデータです。
RP 設定ファイル	AW-RP150 固有の設定ファイルです。
トレーシングメモリーファイル	トレーシングメモリーのデータファイルです。

# 特長

## IP接続とシリアル接続に対応

### IP接続

- ネットワークハブ（スイッチングハブ）を介して最大200台までのリモートカメラ\*1を接続することができます。
- 本機の自動IP設定機能で、リモートカメラ\*1のIPアドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。

\*1：対応カメラ：AW-UE150

- 最大5台の本機から、1台のリモートカメラを同時に制御することができます。

### シリアル接続

- 最大5台までのリモートカメラを接続することができます。

## クロッピングの操作に対応

- 本機とAW-UE150を接続することで、4K映像からHD映像を切り出す操作（Cropping機能）を行うことができます。

## リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカスを操作する専用のレバー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。  
カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行するAWBボタン、ABBボタンを装備。さらにRch、Bchそれぞれについて、ペダスタル、ゲインを調整する専用ダイヤルを搭載。  
マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- プリセットを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。  
また、リモートカメラがプリセット位置まで移動する速度（PRESET SPEED）を、本機の各プリセット番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセット番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。  
リモートカメラの動作を再現することができます。
- PoE+\*2搭載により本機の電源工事が不要です。  
PoE+規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3at準拠）\*3に接続することによって、本機の電源工事が不要となります。

### NOTE

- ソフト認証の必要なPoE+給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。
- 外部DC電源とPoE+給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像が切れます。
- PoE+給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE+インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

\*2: Power over Ethernet Plusの略です。以降「PoE+」と表記いたします。

\*3: 動作確認済みのPoE+給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 対応するリモートカメラ

- 4Kインテグレートドカメラ  
AW-UE150



# 使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

## 取り扱いには注意に

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。  
また、PAN/TILTレバーやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

## 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

## ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

## 湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

## お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞りを、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

### NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

## 火を近づけないでください

ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

## 水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

## 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄される時は環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

## 液晶パネルについて

液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。

表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。

液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。

液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体（CCUまたはハブの電源）の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

## PoE+ 給電について

ソフト認証の必要なPoE+ 給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。

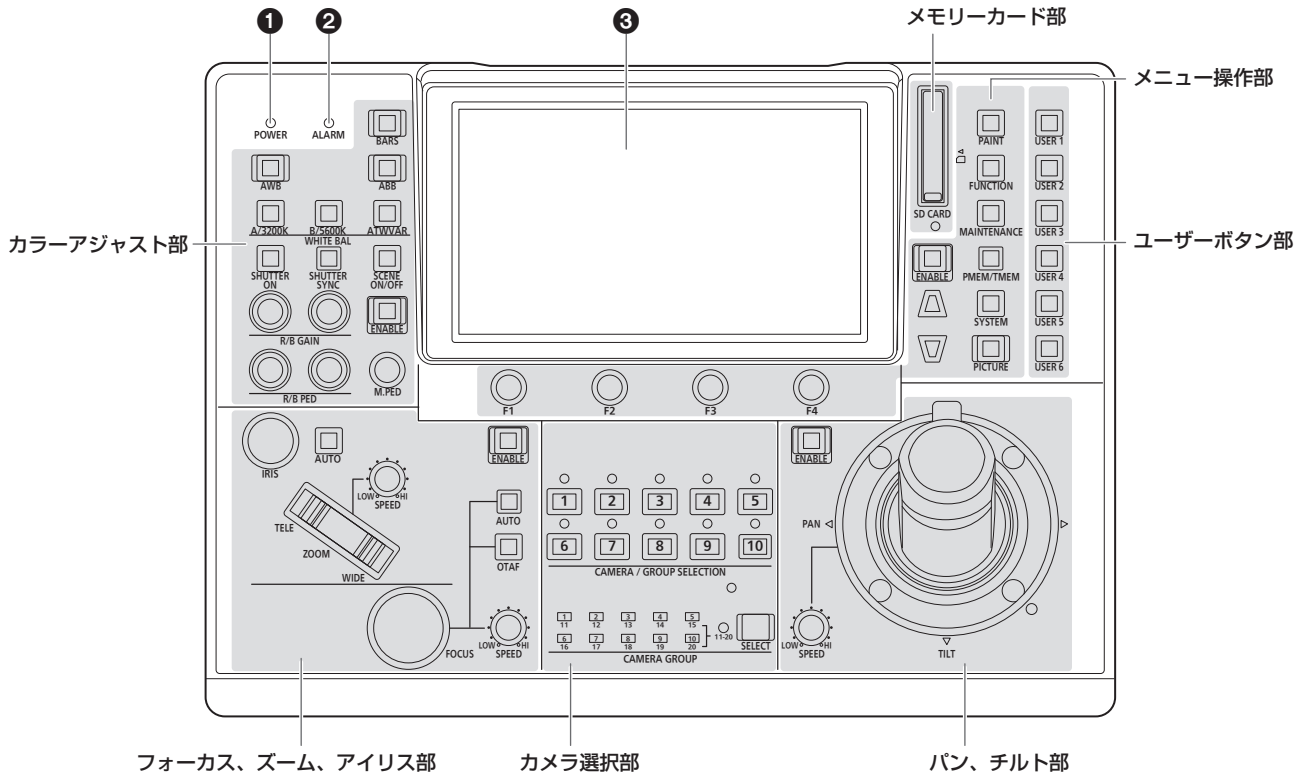
外部DC電源とPoE+ 給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像と通信が切れます。

PoE+ 給電に使用するケーブルは、カテゴリ 5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100 mです。カテゴリ 5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。

ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE+ インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

# 各部の名前とはたらき

## 制御パネル部



### ① POWER ランプ [POWER]

DC IN 端子 (60) に電源が入力されているときに、背面の POWER スイッチ (44) を ON にすると点灯します。

### ② ALARM ランプ [ALARM]

リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。

### ③ LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

### ⑤ PAINT ボタン [PAINT]

PAINT メニューを LCD パネルに表示します。

### ⑥ FUNCTION ボタン [FUNCTION]

FUNCTION メニューを LCD パネルに表示します。

### ⑦ MAINTENANCE ボタン [MAINTENANCE]

MAINTENANCE メニューを LCD パネルに表示します。

### ⑧ PMEM/TMEM ボタン [PMEM/TMEM]

PMEM/TMEM メニューを LCD パネルに表示します。

### ⑨ SYSTEM ボタン [SYSTEM]

SYSTEM メニューを LCD パネルに表示します。

### ⑩ PICTURE ボタン [PICTURE]

3G SDI 端子に入力されている映像を LCD パネルに表示します。長押しすることで、LCD パネルに表示する機能を切り替えます。

**緑色で点灯** : CROP 枠を表示

**アンバー色で点灯**: CROP 枠とフォーカスアシスト (FOCUS IN RED) の両方を表示

● PICTURE ボタンの操作が有効 (on) のときには、F1 ~ F4 のダイヤルで以下の操作が行えます。

F1 : 押すと Crop Out の YL を選択できます。

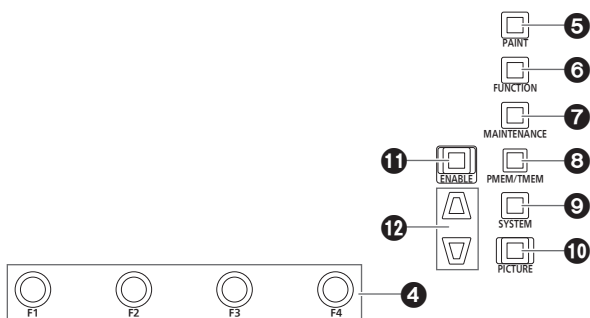
F2 : 押すと Crop Out の G を選択できます。

F3 : 押すと Crop Out の MG を選択できます。

F4 : カメラのメニューが表示されているときに回すと、カーソル移動、値の選択が行えます。

ダイヤルを押すと確定になります。

## メニュー操作部



### ④ F1 ダイヤル [F1]、F2 ダイヤル [F2]、F3 ダイヤル [F3]、F4 ダイヤル [F4] (メニュー操作ダイヤル)

本機の LCD パネルに表示されている項目を操作します。ステータス画面を表示している場合、LCD パネル下部に表示されている項目の値を操作します。メニュー画面が表示されている場合、選択したメニュー項目の値を操作します。

## 各部の名前とはたらき (つづき)

### ⑪ メニュー操作ENABLEボタン [ENABLE]

メニュー操作部、ユーザーボタン部、LCDパネルの操作の有効と無効を切り替えます。

長押しすると、LCDパネルを消灯します。

**点灯時**：メニュー操作部、ユーザーボタン部、LCDパネルの操作が有効

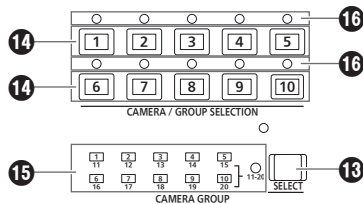
**消灯時**：メニュー操作部、ユーザーボタン部、LCDパネルの操作が無効

### ⑫ カーソル移動ボタン

メニュー画面のカーソルを上下に1行移動します。

PICTUREボタン点灯時、切り出し枠の切り替えに使用します。

## カメラ選択部



### ⑬ 選択モードボタン [SELECT]

押すごとに、消灯→点灯(カメラグループ1～10の選択状態)→点灯(カメラグループ11～20の選択状態)と[11-20]ランプ(カメラグループ11～20)…と変化し、カメラ選択ボタン(⑭)の動作モードが切り替わります。

**消灯時**：カメラ選択モード

**点灯時**：カメラグループ選択モード(1～10)。

カメラグループ選択モード(11～20)。(このときに[11-20]ランプが点灯します。)

### ⑭ カメラ選択ボタン

#### [CAMERA / GROUP SELECTION 1～10]

本機から制御するリモートカメラまたはカメラグループを選択します。

カメラ選択モード時に[1]～[10]を押すと、リモートカメラが切り替わります。

カメラグループ選択モード時に[1]～[10]を押すと、カメラグループが切り替わり、カメラグループ表示ランプ(⑮)が切り替わります。カメラグループを選択すると、カメラ選択ボタンの状態は、カメラ選択モードに戻ります。

- カメラグループ選択モードのときには、カメラ選択ボタンが、青色で点灯します。現在選択されているカメラグループに該当するボタンのみアンバー色で点灯します。

### ⑮ カメラグループ表示ランプ [CAMERA GROUP 1～20]

現在選択中のカメラグループ番号が点灯します。

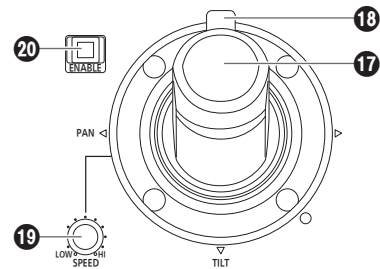
カメラグループの11～20を選択時は、[11-20]ランプが点灯します。

### ⑯ カメラステータス表示ランプ [1]～[10]

[1]～[10]に割り当てられたリモートカメラの状態を表示します。

詳しくは、「リモートカメラを選択する」(25ページ)を参照してください。

## パン、チルト部



### ⑰ PAN/TILT レバー

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。

PAN/TILTレバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

**左右に倒す**：左右方向に動作

**前後に倒す**：上下方向に動作

- FUNCTIONメニュー [PTZ INFO2] の[PAN DIR]、[TILT DIR]で、「REVERSE」を設定すると、レバーを倒した向きとカメラが動く向きの変更をすることができます。

#### NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

### ⑱ ZOOM/FOCUS ロッカー

フォーカスまたはズーム機能を割り当てて制御することができます。

#### NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

### ⑲ PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

PAN/TILTレバー操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

**時計方向に回す**：高速で動く(HI)

**反時計方向に回す**：低速で動く(LOW)

### ⑳ PAN/TILT ENABLE ボタン [ENABLE]

PAN/TILTレバーやZOOM/FOCUSロッカーを有効にします。

**点灯**：PAN/TILTレバーの操作が有効

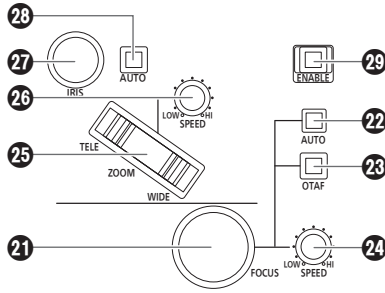
(アンバー色)

**消灯**：PAN/TILTレバーの操作が無効

(ボタンを長押し)

- PICTUREボタンがONのときにこのボタンを押すと、緑色で点灯して切り出し枠の操作に切り替わります。

フォーカス、ズーム、アイリス部



②① FOCUSダイヤル [FOCUS]

手動でフォーカス制御を行います。  
 オートフォーカス中(オートフォーカスボタン(②②)が点灯しているとき)は、操作が無効となります。

時計方向に回す : フォーカスが遠距離側に動く  
 反時計方向に回す : フォーカスが近距離側に動く

- FUNCTIONメニュー [PTZ INFO2]の [FOCUS DIR]で、「REVERSE」を設定すると、FOCUSダイヤルを回した向きとフォーカス動作の向きの変更することができます。

②② オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動(オートフォーカス)」に設定します。  
 オートフォーカス中は、FOCUSダイヤル(②①)、ワンタッチオートフォーカスボタン(②③)の操作が無効となります。

点灯 : オートフォーカス  
 消灯 : マニュアルフォーカス

②③ ワンタッチオートフォーカスボタン [OTAF]

マニュアルフォーカス中(オートフォーカスボタン(②②)が消灯しているとき)に押し、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

②④ FOCUS SPEEDダイヤル [SPEED]

FOCUSダイヤル(②①)の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く (HI)  
 反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

- PAN/TILTレバーにある、ZOOM/FOCUSロッカーがFOCUSに割り当てられているときには、この設定で動作します。

②⑤ ZOOMボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。  
 ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

TELE側を押す : 望遠側に動く  
 WIDE側を押す : 広角側に動く

- FUNCTIONメニュー [PTZ INFO2]の [ZOOM DIR]で、「REVERSE」を設定すると、ZOOMボタンを倒した向きとレンズのズーム動作の向きの変更することができます。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

②⑥ ZOOM SPEEDダイヤル [SPEED]

ZOOMボタン(②⑤)の操作に対する動作の変化量を調整します。

時計方向に回す : 高速で動く (HI)  
 反時計方向に回す : 低速で動く (LOW)

- PAN/TILTレバーにある、ZOOM/FOCUSロッカーがZOOMに割り当てられているときには、この設定で動作します。

②⑦ IRISダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中(オートアイリスボタン(②⑧)が消灯しているとき)に手動でレンズ絞りを制御します。  
 オートアイリス中(オートアイリスボタン(②⑧)が点灯しているとき)は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

時計方向に回す : レンズ絞りが開く方向に動く  
 反時計方向に回す : レンズ絞りが閉じる方向に動く

②⑧ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動(オートアイリス)」に設定します。

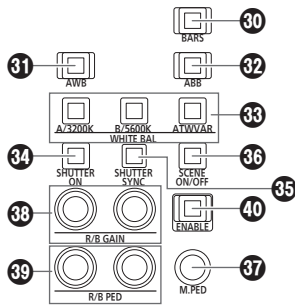
点灯 : オートアイリス  
 消灯 : マニュアルアイリス

②⑨ FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン [ENABLE]

FOCUSダイヤル(②①)、ZOOMボタン(②⑤)、IRISダイヤル(②⑦)の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯 : FOCUSダイヤル、ZOOMボタン、IRISダイヤルの操作が有効  
 消灯 : FOCUSダイヤル、ZOOMボタン、IRISダイヤルの操作が無効

カラーアジャスト部



30 BARS ボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を選択します。ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバー信号」が切り替わります。

消灯：カメラが撮影している映像信号を出力

点灯：カラーバー信号を出力

31 AWB ボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリーAやメモリーBに登録します。ホワイトバランスの調整中はAWBボタンが点灯し、正常に調整されたときに消灯します。

調整できなかった場合は、点滅します。

- ホワイトバランスの自動調整が終了すると、R GAIN、B GAINの値は±0になります。
- リモートカメラからカラーバー信号が出力されているとき (BARS ボタン (30) が点灯) や、ATWが選択されているとき (ATW/VAR ボタン (33) が点灯) にAWB ボタンを押すと、調整されずに点灯します。
- 調整できなかったときは、光源、レンズ絞り、被写体等を変えて調整し直してください。

32 ABB ボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。ブラックバランスの調整中はABBボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかった場合は点灯し、ブラックバランスの設定は変わりません。

- 調整できなかったときは、カメラやレンズのケーブルの接続を確認し、調整し直してください。

33 WHITE BAL A/3200K、B/5600K、ATW/VAR ボタン [WHITE BAL A/3200K、B/5600K、ATW/VAR]

リモートカメラのホワイトバランスモードを選択します。

A/3200K : ● A/3200K ボタンを押すと、カメラのメモリー A に登録されているホワイトバランスの状態になり、A/3200K ボタンがアンバー色で点灯します。A/3200K ボタンを押した後にAWB ボタン (31) を押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー A に登録します。

- A/3200K ボタンを長押しすると、色温度を3200K に設定し、A/3200K ボタンが緑色で点灯します。

B/5600K : ● B/5600K ボタンを押すと、カメラのメモリー B に登録されているホワイトバランスの状態になり、B/5600K ボタンがアンバー色で点灯します。B/5600K ボタンを押した後にAWB ボタン (31) を押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー B に登録します。

- B/5600K ボタンを長押しすると、色温度を5600K に設定し、B/5600K ボタンが緑色で点灯します。

ATW/VAR : ● ATW/VAR ボタンを押すと、照明条件に応じてホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス (ATW) モードになり、ATW/VAR ボタンがアンバー色で点灯します。

- ATW/VAR ボタンを長押しすると、メニューで設定した色温度に設定し、ATW/VAR ボタンが緑色で点灯します。

34 SHUTTER ON ボタン [SHUTTER ON]

点灯：シャッターが有効

消灯：シャッターが無効

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

35 SHUTTER SYNC ボタン [SHUTTER SYNC]

点灯：シンクロシャッター

消灯：ステップシャッター

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

36 SCENE ON/OFF ボタン [SCENE ON/OFF]

将来拡張機能用のボタンです。

現在は、点灯状態で固定です。

37 M.PED ダイアル [M.PED]

マスターペダスタルを調整します。

時計方向に回す : マスターペダスタルの設定値がLCDパネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

反時計方向に回す : マスターペダスタルの設定値がLCDパネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

## 各部の名前とはたらき (つづき)

### ㉘ R/B GAINダイヤル [R/B GAIN]

Rch、Bchのゲイン (R GAIN、B GAIN) を個別に調整することで、ホワイトバランスをお好みの設定にします。調整値はリモートカメラのメモリーAやメモリーBに登録されます。

**時計方向に回す** : R GAIN、B GAINの設定値がLCDパネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

**反時計方向に回す** : R GAIN、B GAINの設定値がLCDパネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- ATWが選択されているとき (ATW/VAR ボタン (㉙) が点灯) に回すと、LCDパネルには“---”と表示され、ホワイトバランスの設定は変わりません。

### ㉙ R/B PEDダイヤル [R/B PED]

Rch、Bchのペダスタル (R PED、B PED) を個別に調整することで、ブラックバランスをお好みの設定にします。

**時計方向に回す** : R PED、B PEDの設定値がLCDパネルに表示され、値が+ (プラス) 方向に変化します。

**反時計方向に回す** : R PED、B PEDの設定値がLCDパネルに表示され、値が- (マイナス) 方向に変化します。

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

### ㉚ カラーアジャストENABLEボタン [ENABLE]

カラーアジャスト部の操作の有効と無効を切り替えます。

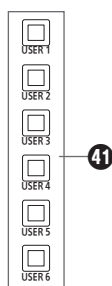
**点灯** : カラーアジャスト部の操作が有効

**消灯** : カラーアジャスト部の操作が無効

## メモ

- M.PEDダイヤル (㉗)、R/B GAINダイヤル (㉘)、R/B PEDダイヤル (㉙) を操作すると、LCDパネルのステータス画面で設定値を確認できます。

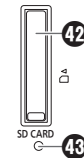
## ユーザーボタン部



### ㉛ USERボタン [USER 1] ~ [USER 6]

USER 1 ~ USER 6に割り当てた機能呼び出します。

## メモリーカード部



### ㉜ メモリーカードスロット

SDメモリーカード (別売)、SDHCメモリーカード (別売) またはSDXCメモリーカード (別売) を挿入します。

### ㉝ メモリーカードアクセスランプ

メモリーカードにアクセスしている間、ランプが点灯します。

(短い期間のアクセスを繰り返しているときは点滅します。)

アクセスランプが点灯または点滅している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

### ● メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SDHC規格/SDXC規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

なお、マルチメディアカード (MMC) には対応していません。

SDHC	4 GB ~ 32 GBまで
SDXC	64 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWebサイトをご参照ください。

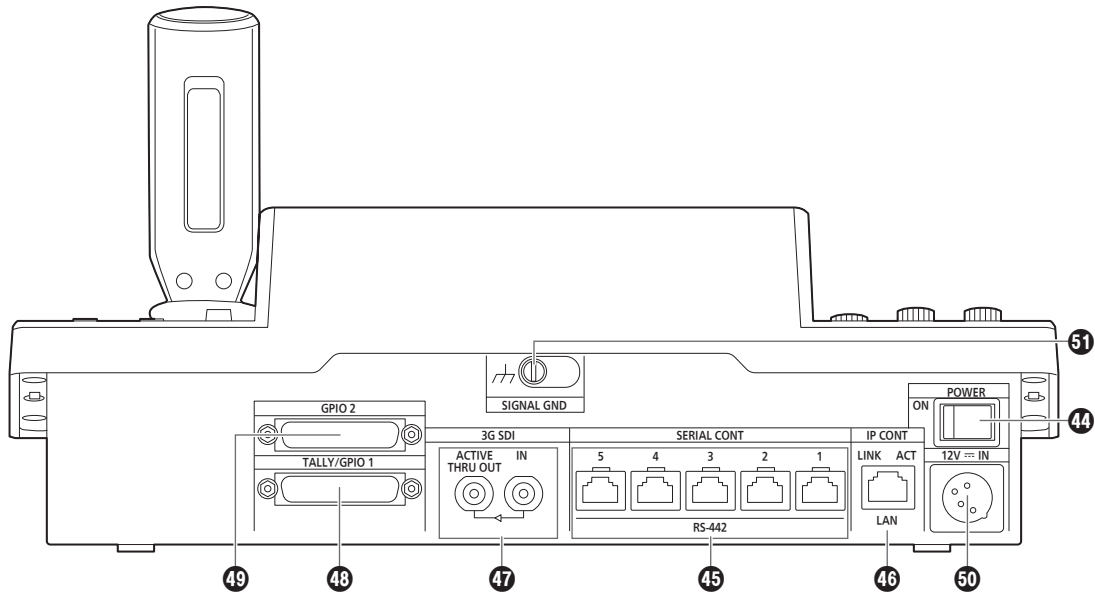
(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

- 使用時、保管時は以下の点にお気をつけてください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

背面部



44 POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ(④)が点灯し、本機を操作することができます。

45 SERIAL CONT 1～5端子

[SERIAL CONT 1～5] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル(カテゴリ5e以上のシールドケーブル)で接続してください。

詳しくは、「接続」(17～20ページ)を参照してください。

NOTE

- これらの端子には、PoE+給電用のケーブルを接続しないでください。

46 IP CONT 端子 [IP CONT] (RJ-45)

IP接続対応のリモートカメラおよびコンピューターをLANケーブルで接続します。

本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル(カテゴリ5eのケーブル)を使用してください。

ハブ(スイッチングハブ)等を経由して接続する場合は、ストレートケーブルまたは、クロスケーブル(カテゴリ5eケーブル)を使用してください。

詳しくは、「接続」(17～20ページ)を参照してください。

47 3G SDI 端子 [3G SDI]

HD SDI信号の入出力に使用します。

- 本機の電源がOFFのときは、ACTIVE THRU OUT端子から信号が出力されません。

詳しくは、「接続」(17～20ページ)を参照してください。

48 TALLY/GPIO 1 端子 [TALLY/GPIO 1]

JST製: JBY-25S-1A3F(LF)(SN)

外部機器と接続して、タリー情報の受信や、カメラ選択状態の送信をすることができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

49 GPIO 2 端子 [GPIO 2]

JST製: JBY-25S-1A3F(LF)(SN)

外部機器と接続して、カメラの選択や、プリセット再生を行うことができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

50 DC IN 端子 [12V IN] (DC 12 V) (XLRコネクタ)

外部DC電源を接続します。

- DCコードは、最長2m(AWG16コード使用時)のコードを使用してください。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力÷電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器(レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど)の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる、外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12V IN	
1	GND
2	—
3	—
4	+12V
HA16RA-4P(77) ヒロセ電機製	

51 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグラウンドに接続してください。

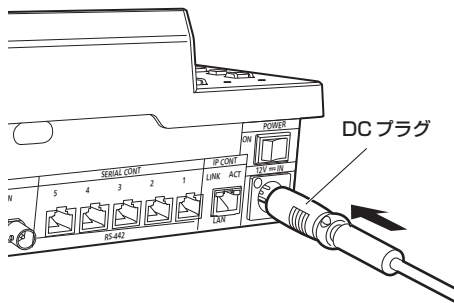
## 設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

### 電源の接続について

- 外部DC電源のDCプラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部DC電源のDCプラグを抜いてください。

### 内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

### 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

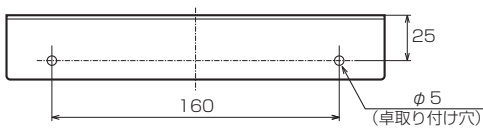
## 卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

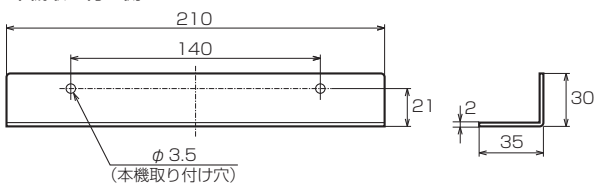
### 1. 設置場所に合ったマウントアングルを製作する

<マウントアングル例>

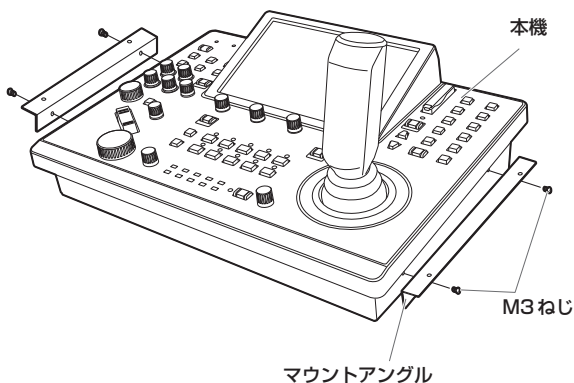
#### ● 卓取り付け側



#### ● 本機取り付け側



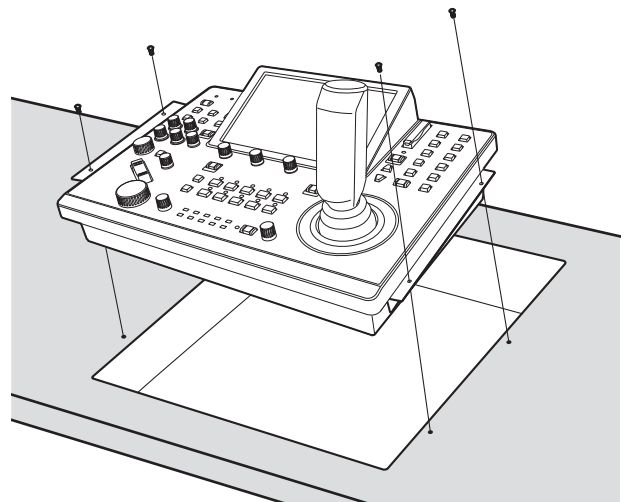
### 2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける (M3ねじ、4本)



### NOTE

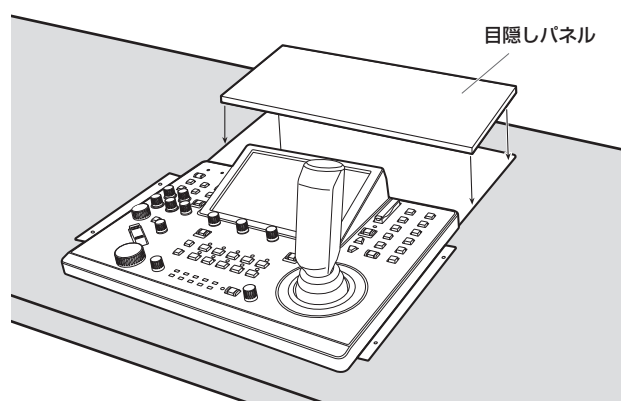
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(97ページ)を参照してください。

### 3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する(ねじ4本)



- 卓取り付け穴のサイズ(例:  $\phi 5$  mm)に適合するねじをご準備ください。

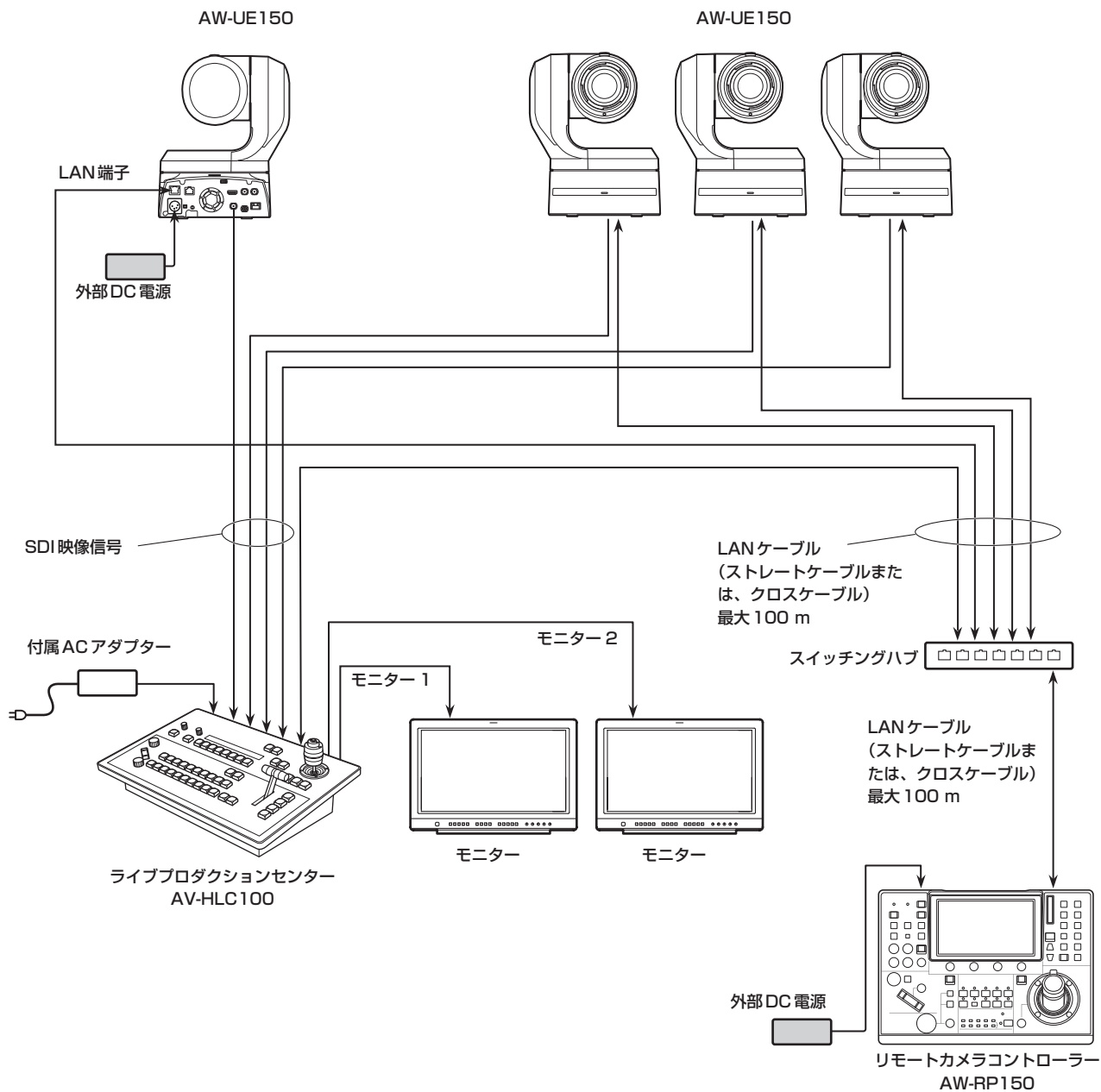
### 4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む





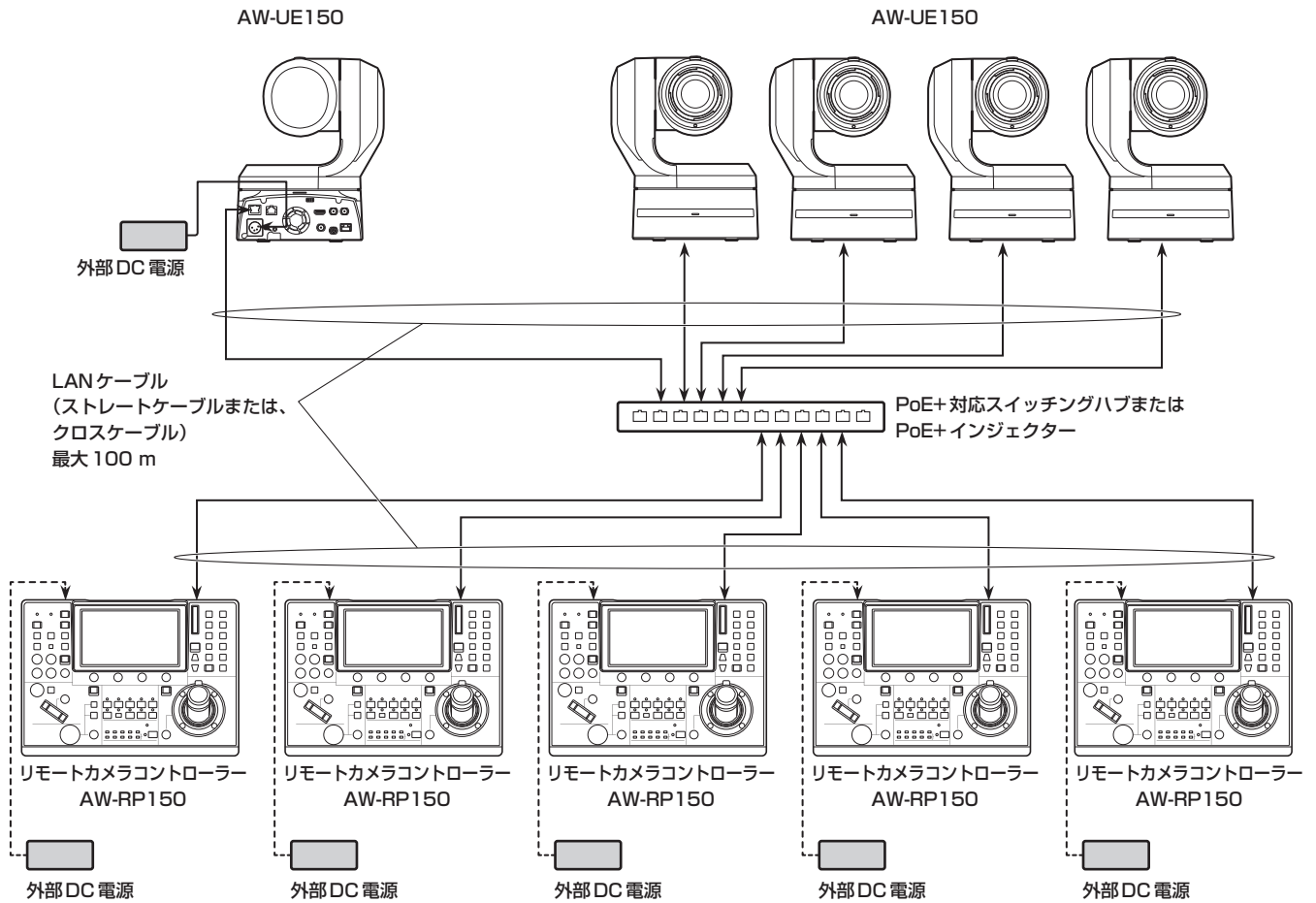
## IP 接続例

### ■ リモートカメラ (AW-UE150) との IP 接続



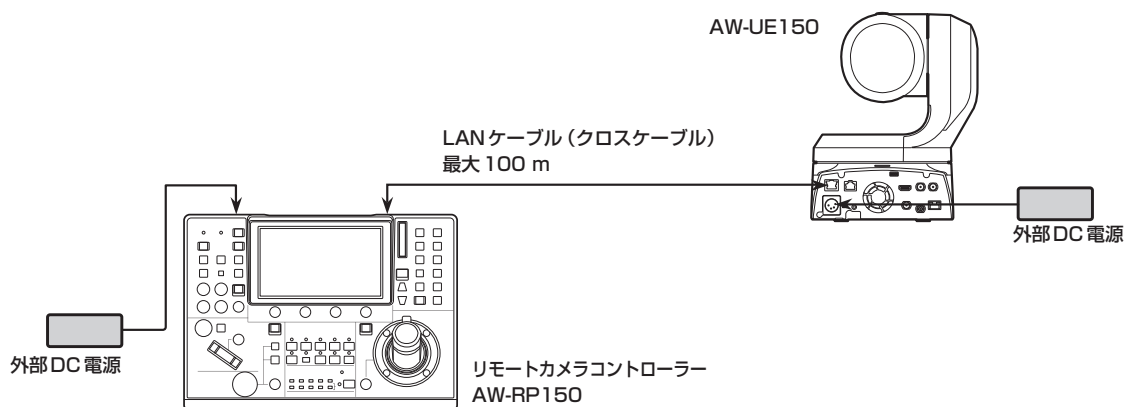
- LANケーブルは、カテゴリ5eケーブルを使用してください。
- シリアル接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機1台に、IP接続、シリアル接続を合計して最大200台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 複数台の本機とリモートカメラ (AW-UE150) との IP 接続



- LANケーブルは、カテゴリ 5e ケーブルを使用してください。
- 1 台のリモートカメラを最大 5 台の本機から同時に操作することができます。(IP 接続時)

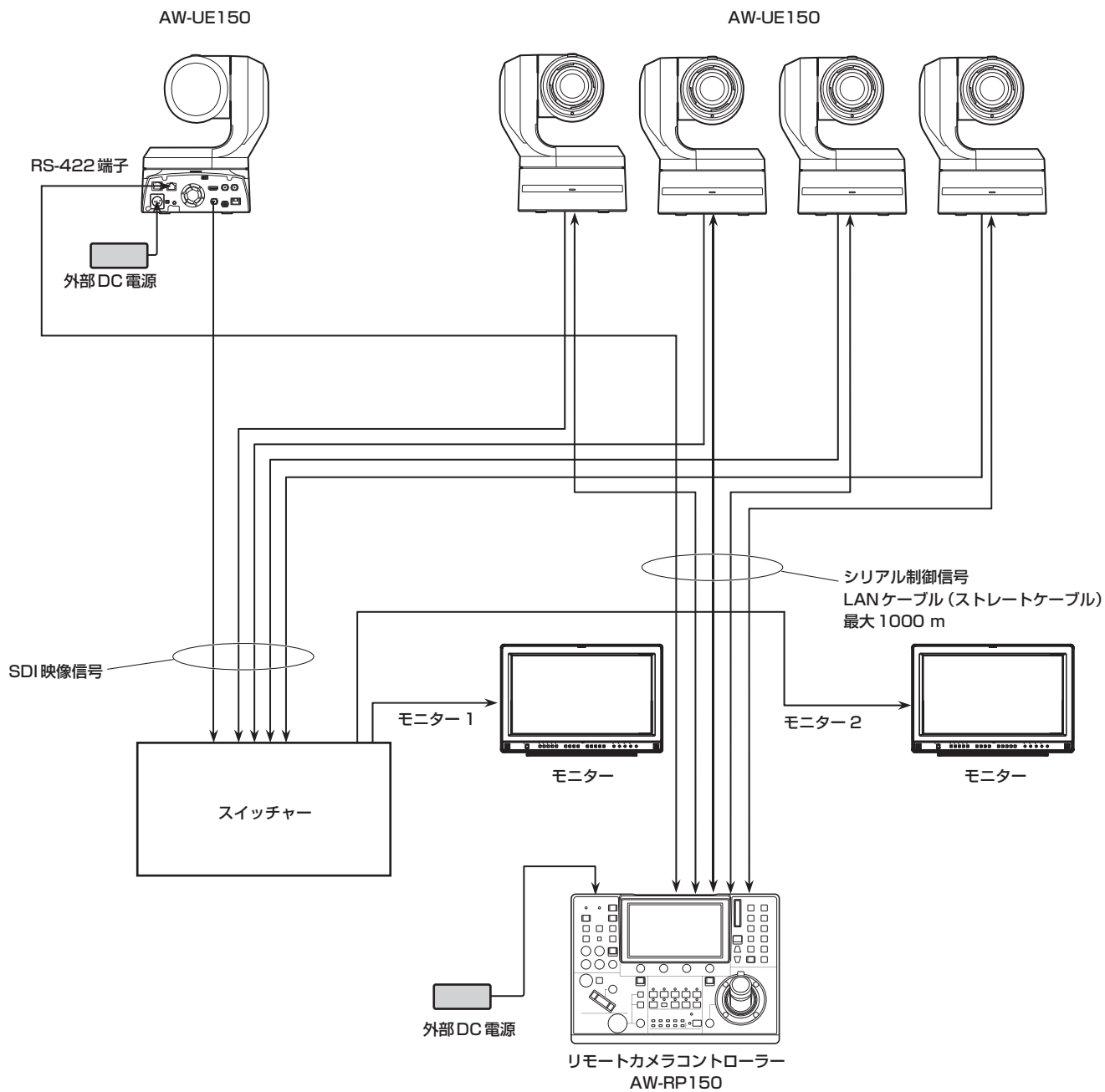
■ 本機 1 台とリモートカメラ 1 台との IP 接続



- LANケーブルは、クロスケーブル (カテゴリ 5e ケーブル) を使用してください。
- AW-UE150 以外のカメラと接続する場合は、各カメラ側の取扱説明書を参照してください。

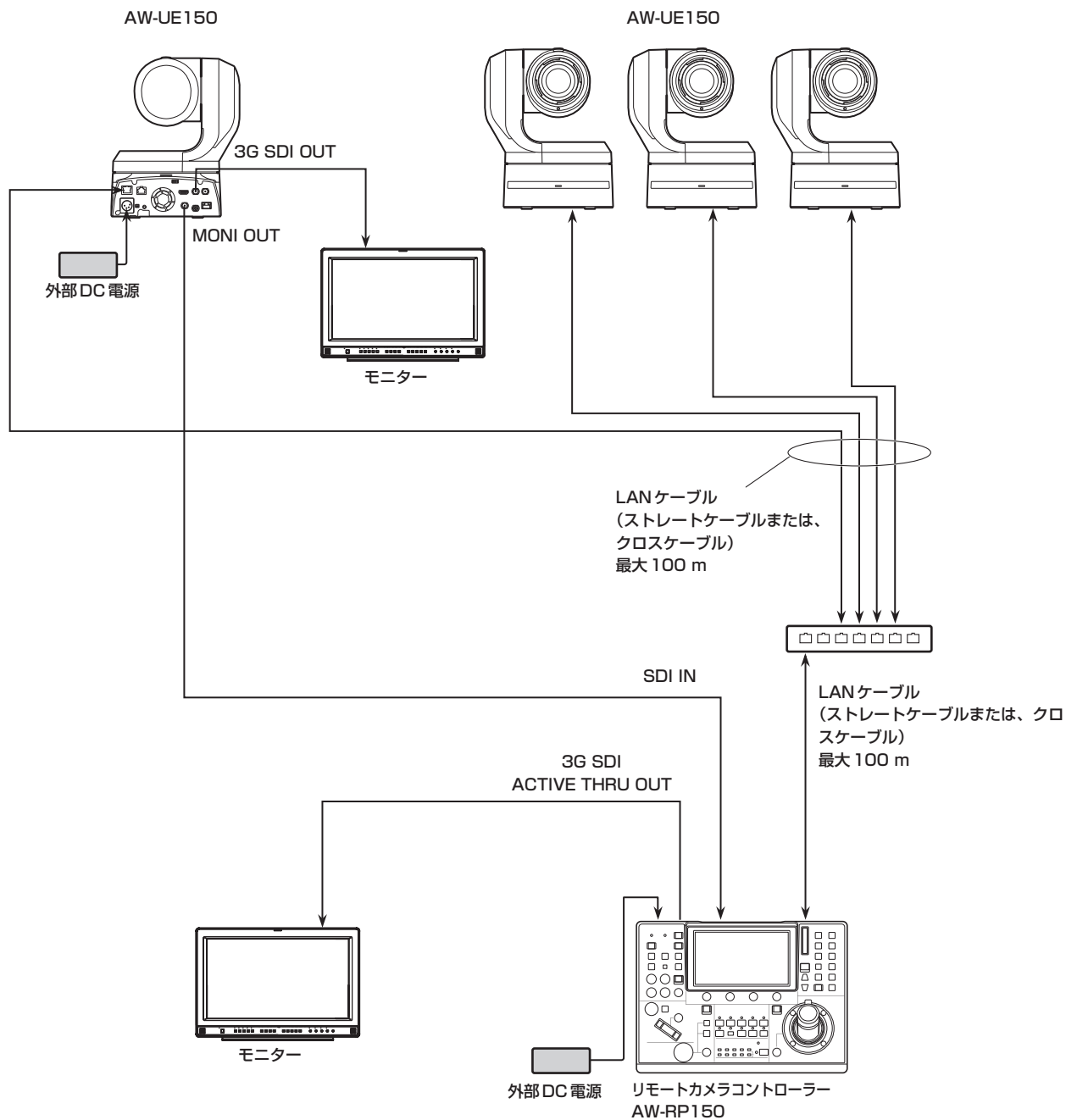
## シリアル接続例

### ■ リモートカメラ (AW-UE150) とのシリアル接続



- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリ 5eケーブル) を使用してください。
- シリアル接続時は、本機1台に接続できるリモートカメラは最大5台です。
- IP接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機1台に、IP接続、シリアル接続を合計して最大200台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 4K映像からHD映像を切り出す機能の接続例



- LANケーブルは、カテゴリ5eケーブルを使用してください。

# 本機の基本操作

## 1. 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。

本機に電源が供給され、POWERランプが点灯します。

- SYSTEMメニュー「CAMERA」の「AUTO POWER」項目を「ON」に設定しているときは、本機の電源ONに連動して、リモートカメラの電源も入ります。

ただし、リモートカメラが、スタンバイ状態の場合に限ります。詳しくは、「リモートカメラの電源の入れかた」(22ページ)を参照してください。

- SYSTEMメニュー「CONNECT SETTING」の「CONNCT MD」項目を「Serial」または「LAN」に設定されているリモートカメラが、連動対象となります。詳しくは、「リモートカメラとの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を設定する」(34ページ)を参照してください。

## 2. リモートカメラを選択する

選択モードボタン[SELECT]が点灯している状態で、カメラ選択ボタン[CAMERA / GROUP SELECTION]を押し、本機から制御するリモートカメラを選択します。

## 3. リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILT ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、PAN/TILTレバーを操作し、リモートカメラの向きを調整します。

### NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

## 4. ズームを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、ZOOMボタンを操作し、レンズのズームを調整します。TELE側を押すと望遠になり、WIDE側を押すと広角になります。

### NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

## 5. レンズの絞りを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、IRISダイヤルを回して、レンズの絞りを調整します。

## 6. フォーカスを調整する

FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタン[ENABLE]が点灯している状態で、FOCUSダイヤルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。

マニュアルフォーカスのときにワンタッチオートフォーカスボタンを押すと、一時的にオートフォーカスモードになり自動で焦点を合わせます。

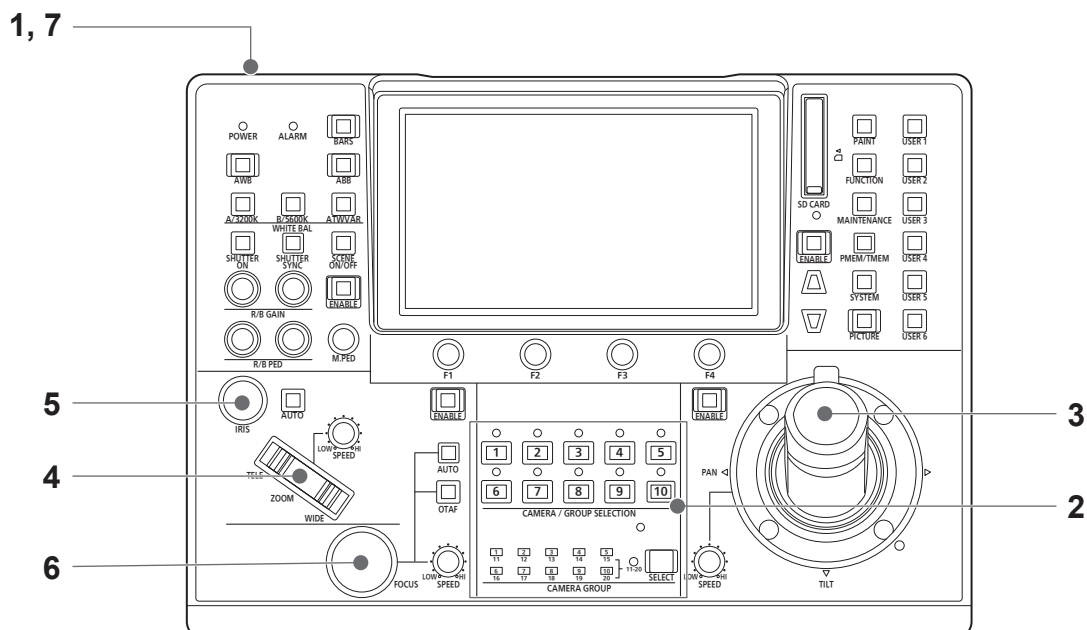
- OTAF (ワンタッチオートフォーカス) は、OTAF機能があるリモートカメラに有効です。

## 7. 本機の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。

本機の電源が切れ、POWERランプが消灯します。

- 本機の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFにされません。
- リモートカメラの電源を切るには、SYSTEMメニュー「CAMERA」の「CAM POWER」項目で、「ALL OFF」または「GROUP OFF」を選択し、実行してください。詳しくは、「リモートカメラの電源の切りかた」(23ページ)を参照してください。



# リモートカメラの電源の入れかたと切りかた

## リモートカメラの電源の入れかた

本機から、スタンバイ状態のリモートカメラの電源を入れることができます。

入れかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を入れる
- 本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる
- 複数の電源を入れる
  - ◇ すべての電源を入れる
  - ◇ 選択中のカメラグループの電源を入れる

以降にそれぞれの操作について説明します。

### 1台ずつ電源を入れる

#### 1. リモートカメラを選択する

該当のカメラ選択ボタン [CAMERA / GROUP SELECTION] を約3秒間長押しすると、LCDパネルにリモートカメラの名称と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

#### NOTE

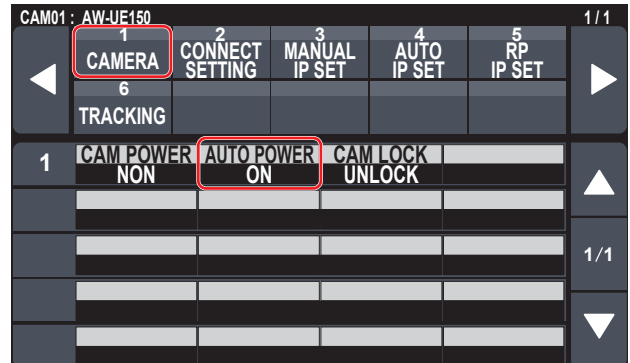
- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。

#### 2. カメラ選択ボタンを押したままLCDパネルの「ON」ボタンをタッチする



## 本機の電源 (ON) と連動して電源を入れる

1. [SYSTEM] ボタンを押す
2. LCDパネル上部の「CAMERA」をタッチして、「AUTO POWER」項目を表示する



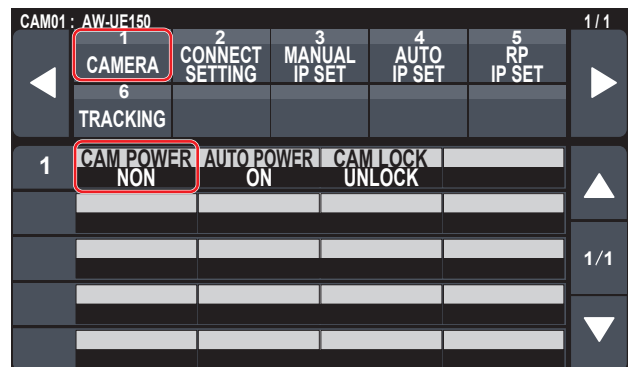
3. F2ダイヤルを回して「ON」を選択し、F2ダイヤルを押す  
本機の電源 (ON) と連動して、SYSTEMメニュー「CONNECT SETTING」の「CNNECT MD」項目を「Serial」、または「LAN」に設定されているリモートカメラの電源が入ります。

#### NOTE

- 接続されているカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでに時間を要することがあります。

## 複数の電源を入れる

1. [SYSTEM] ボタンを押す  
[SYSTEM] ボタンを押して点灯させます。
2. LCDパネル上部の「CAMERA」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



### ■ すべての電源を入れる

3. F1ダイヤルを回して「ALL ON」を選択し、F1ダイヤルを押す

### ■ 選択中のカメラグループの電源を入れる

3. F1ダイヤルを回して「GRP ON」を選択し、F1ダイヤルを押す

## リモートカメラの電源の切りかた

本機からリモートカメラの電源を切ることができます。  
切りかたには以下の方法があります。

- 1台ずつ電源を切る
- 複数の電源を切る
  - ◇ すべての電源を切る
  - ◇ 選択中のカメラグループの電源を切る

以降にそれぞれの操作について説明します。

### 1台ずつ電源を切る

#### 1. リモートカメラを選択する

該当のカメラ選択ボタン [CAMERA / GROUP SELECTION] を約3秒間長押しすると、LCDパネルにリモートカメラの名称と、「ON」、「OFF」のボタンが表示されます。

#### NOTE

- この操作は、ステータス画面が表示されているときに有効な操作です。

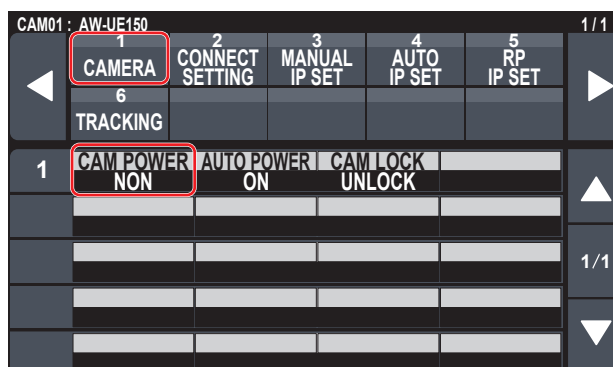
#### 2. カメラ選択ボタンを押したままLCDパネルの「OFF」ボタンをタッチする



## 複数の電源を切る

#### 1. [SYSTEM] ボタンを押す

#### 2. LCDパネル上部の「CAMERA」をタッチして、「CAM POWER」項目を表示する



#### ■ すべての電源を切る

#### 3. F1ダイヤルを回して「ALL OFF」を選択し、F1ダイヤルを押す

#### ■ 選択中のカメラグループの電源を切る

#### 3. F1ダイヤルを回して「GRP OFF」を選択し、F1ダイヤルを押す

# カメラグループを選択する

本機では、カメラ番号CAM1～CAM200それぞれに対して接続設定を行うことで、最大200台のリモートカメラを制御対象として登録することができます。この中から制御するリモートカメラを選択するためには、該当するリモートカメラが属するカメラグループをあらかじめ選択しておく必要があります。

カメラグループ	カメラ番号	カメラグループ	カメラ番号
1	CAM1～CAM10	11	CAM101～CAM110
2	CAM11～CAM20	12	CAM111～CAM120
3	CAM21～CAM30	13	CAM121～CAM130
4	CAM31～CAM40	14	CAM131～CAM140
5	CAM41～CAM50	15	CAM141～CAM150
6	CAM51～CAM60	16	CAM151～CAM160
7	CAM61～CAM70	17	CAM161～CAM170
8	CAM71～CAM80	18	CAM171～CAM180
9	CAM81～CAM90	19	CAM181～CAM190
10	CAM91～CAM100	20	CAM191～CAM200

## カメラグループを選択する

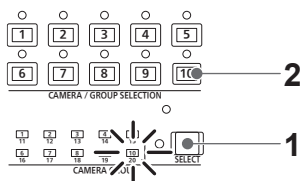
### 1. 選択モードボタン [SELECT] を押して、点灯させる

カメラ選択ボタン [CAMERA / GROUP SELECTION] が、青色で点灯します。

選択可能なグループは、アンバー色で点灯します。

### 2. カメラ選択ボタン [CAMERA / GROUP SELECTION] を押し、制御したいリモートカメラが属するカメラグループを選択する

カメラグループが選択されると、該当するカメラグループ表示ランプ [CAMERA GROUP] が点灯し、選択したカメラグループのカメラ選択モードに移行します。



例：カメラグループ「10」を選択時



## リモートカメラを選択する

選択モードボタン[SELECT]が消灯しているとき、カメラ選択ボタン[CAMERA / GROUP SELECTION]で、制御するリモートカメラを選択することができます。

カメラ選択ボタンを押すと、押したボタンが点灯し、リモートカメラが選択されます。

また、各ボタン上部のランプ(カメラステータス表示ランプ)の点灯状態により、カメラ選択ボタン1～10に割り当てられたリモートカメラの状態が分かります。

### ● カメラステータス表示ランプの点灯状態とリモートカメラの状態

ランプの点灯状態	リモートカメラの状態	本機とリモートカメラの接続
消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当するカメラ番号の接続種別が「NON」に設定されている。</li> <li>● リモートカメラに電源が供給されていない。</li> </ul>	IP接続、シリアル接続
点灯 (オレンジ色)	リモートカメラがスタンバイ状態。 「リモートカメラの電源の入れかた」(22ページ)に従って電源を入れてください。	IP接続、シリアル接続
点灯 (緑色)	リモートカメラと接続中。	IP接続、シリアル接続
点灯 (赤色)	該当するリモートカメラから、アラームを受信している状態。	IP接続、シリアル接続

### カメラ選択ボタンと、ステータスランプの表示について

#### ● カメラステータスランプ

ランプの点灯状態	リモートカメラの状態
消灯	未接続状態
点灯 (アンバー色)	カメラスタンバイ
点灯 (緑色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラ接続中</li> <li>● カメラに複数のAW-RP150が接続されている</li> </ul>

#### ● カメラ選択ボタン

ランプの点灯状態	リモートカメラの状態
消灯	非選択
点灯 (緑色)	G_TALLY ON (カメラ非選択)
点灯 (赤色)	R_TALLY ON (カメラ非選択)
点灯 (アンバー色)	選択中 <ul style="list-style-type: none"> <li>● R/G_TALLYがONのカメラを選択すると、この状態に変わります。</li> <li>● 選択中のカメラのTALLYは、LCDパネルに表示します。</li> </ul>

# ステータス画面

## ステータス画面の表示と操作

本機の電源を入れて起動すると、初期の表示では、ステータス画面が表示されます。

ステータス画面には、以下の情報が表示されます。

- カメラ番号
- IRIS、ZOOM、FOCUSのポジション
- R/B GAIN
- R/B PED
- M.PED
- PAN/TILTレバーにあるZOOM/FOCUSの割り当て状態
- USERボタンの割り当て情報

## ステータス画面の表示と操作

### 1. 表示

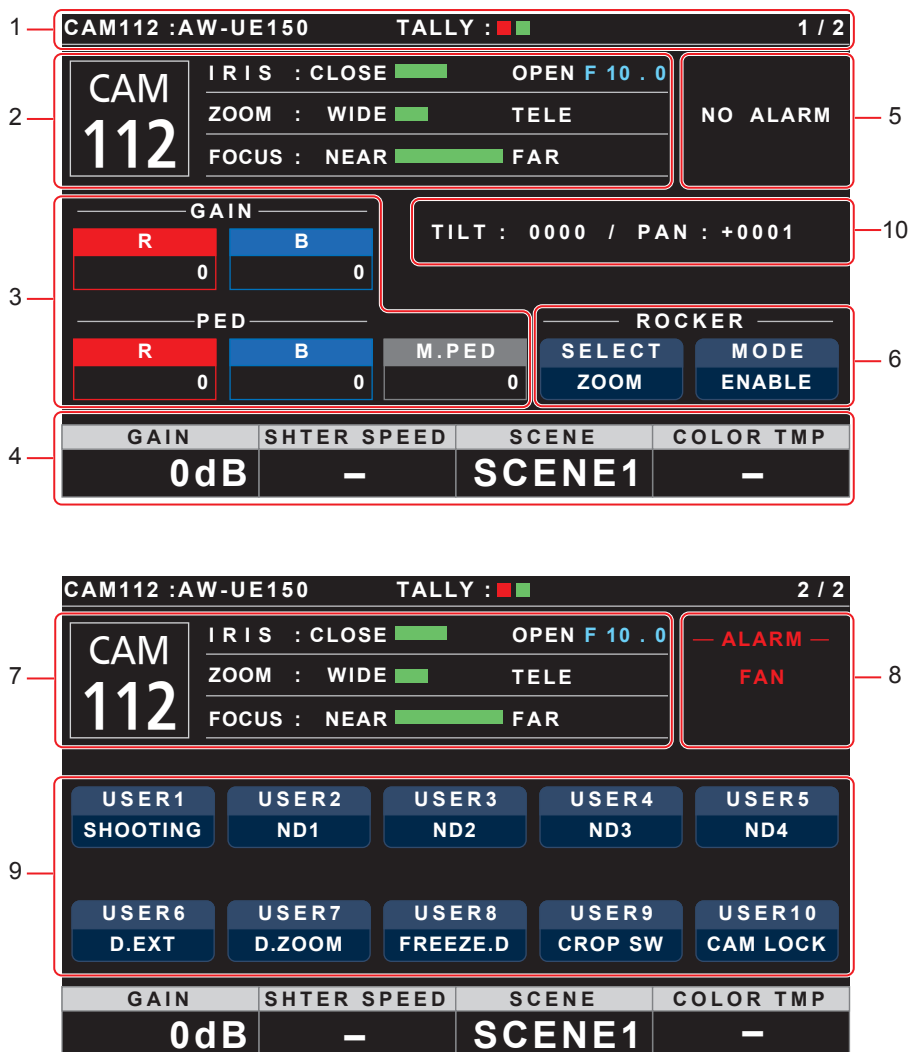
本機の電源を入れて起動すると、初期の表示では、ステータス画面が表示されます。

動作中は、メニュー操作部のメニューボタンがすべて消灯しているときには、ステータス画面が表示されます。

### 2. カメラ選択ボタン [CAMERA / GROUP SELECTION] で、制御したいリモートカメラを選択する

選択したカメラボタンが点灯します。

カメラ選択ボタンが点灯すると、本機からリモートカメラが操作できるようになります。



## ステータス画面 (つづき)

1	カメラ名称、TALLY情報	カメラ番号や接続機種、TALLYの状態を表示します。 カメラとの接続がLAN接続されている場合には、カメラ側で設定されたカメラの名称を最大10文字まで表示します。 カメラの名称の設定については、カメラ側の取扱説明書を参照してください。
2	カメラ番号、レンズポジション	選択中のカメラ番号とIRIS、ZOOM、FOCUSの状態を表示します。
3	R/B GAIN、R/B PED、M.PED情報	R/B GAINダイヤル、R/B PEDダイヤル、M.PEDダイヤルの設定値を表示します。
4	ダイヤル割り当て情報	メニュー操作ダイヤルに割り当てた機能と設定値を表示します。 MAINTENANCEメニュー「RP SETTING」の「A.KNOB1」～「A.KNOB4」で機能を変更できます。
5	ALARM	カメラから通知されたアラーム情報を表示します。
6	ROCKER	PAN/TILTレバーのZOOM/FOCUSロッカーに割り当てた機能を表示します。 <b>SELECT</b> タッチして機能の割当(ズーム、フォーカス)を切り替えます。 <b>MODE</b> タッチして割り当てた機能の有効(ENABLE) / 無効(DISABLE)を切り替えることができます。
7	カメラ番号、レンズポジション	選択中のカメラ番号とIRIS、ZOOM、FOCUSの状態を表示します。
8	ALARM	カメラから通知されたアラーム情報を表示します。
9	機能の割り付け情報	USER1～10への機能の割り付け情報を表示します。 タッチすることで、割り付けた機能进行操作(ON/OFFなど)することができます。
10	TILT/PANの位置情報	制御している回転台のTILTとPANの位置情報を表示します。 ホームポジションは“0000”となります。

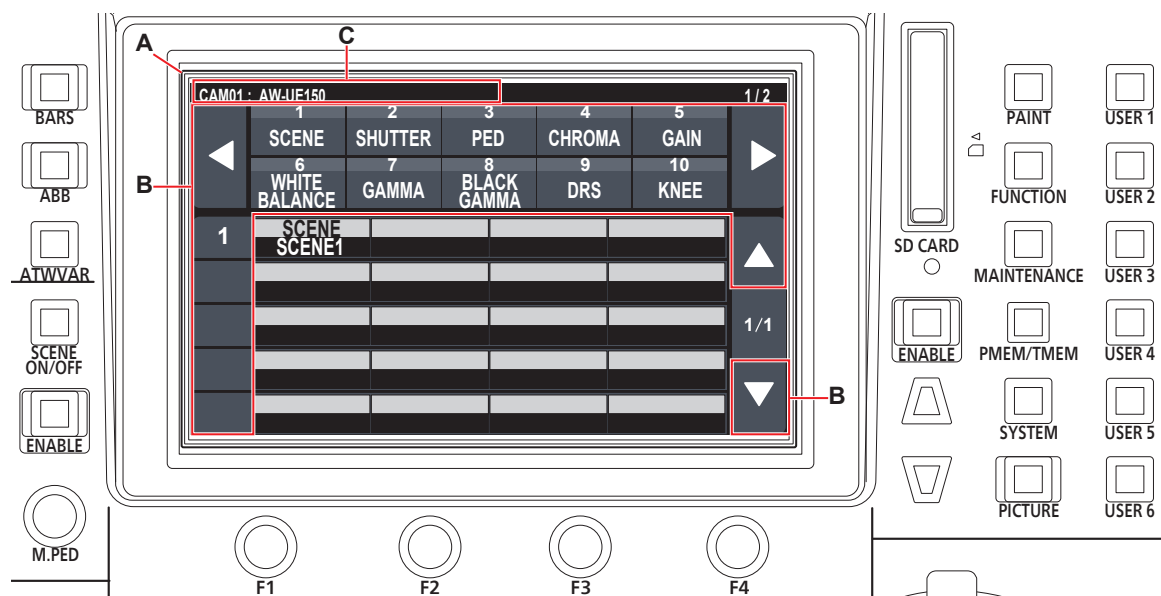
# メニューの基本操作

## メニュー表示のしかたとメニュー構成

本機のメニューボタンとLCDパネルを使用して、メニューを操作できます。

以下の手順で、メニューを表示します。メニューは、本機のLCDパネル (A) に表示されます。

- (B) の部分は、タッチパネル操作が行えます。



A. LCDパネル

B. タッチ操作を行える範囲

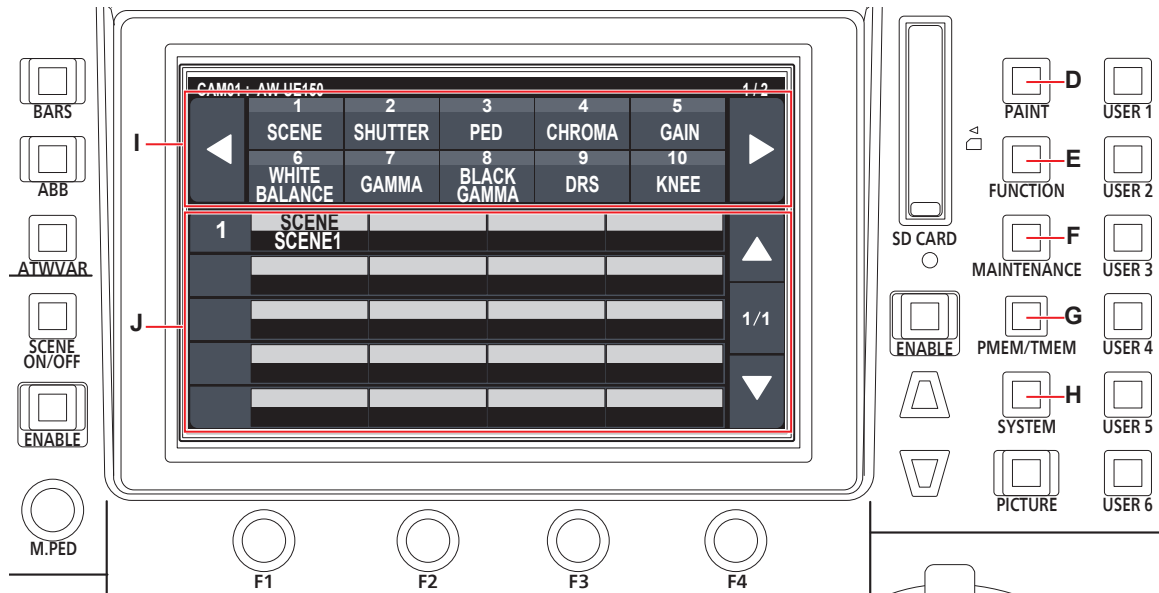
C. 現在選択しているカメラの番号と名称、TALLYの状態を表示します。

操作手順

1. [PAINT] ボタン (D)、[FUNCTION] ボタン (E)、[MAINTENANCE] ボタン (F)、[PMEM/TMEM] ボタン (G)、[SYSTEM] ボタン (H) を押してメニューのグループを選ぶ

LCDパネル (A) に、それぞれのグループが表示されます。(ここでは [PAINT] グループを例に説明します。)

- 選択したボタンを再度押すと、メニュー表示がOFFになり、ステータス画面が表示されます。  
詳しくは、「メニューグループ」(40ページ) を参照してください。



- D. [PAINT] ボタン
- E. [FUNCTION] ボタン
- F. [MAINTENANCE] ボタン
- G. [PMEM/TMEM] ボタン
- H. [SYSTEM] ボタン

I. 画面上段  
メニューをタッチすると、画面中段に、該当メニューの項目が表示されます。

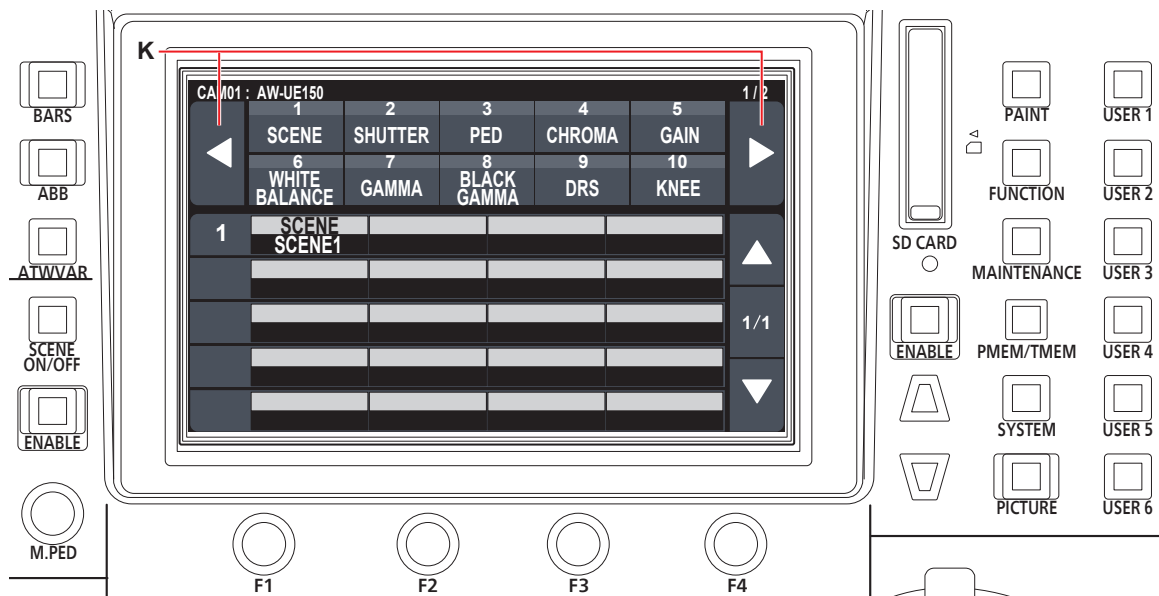
J. 画面中段  
画面上段で選択したメニューの設定項目が表示され、メニュー項目の行番号をタッチし、F1 ~ F4のダイヤルで該当列の設定値の変更が行えます。

2. 画面をタッチして、設定したいメニューを選ぶ

画面上段から、目的のメニューを選択します。(ここでは、「SCENE」を例に説明します。)

画面中段に設定項目が表示されます。

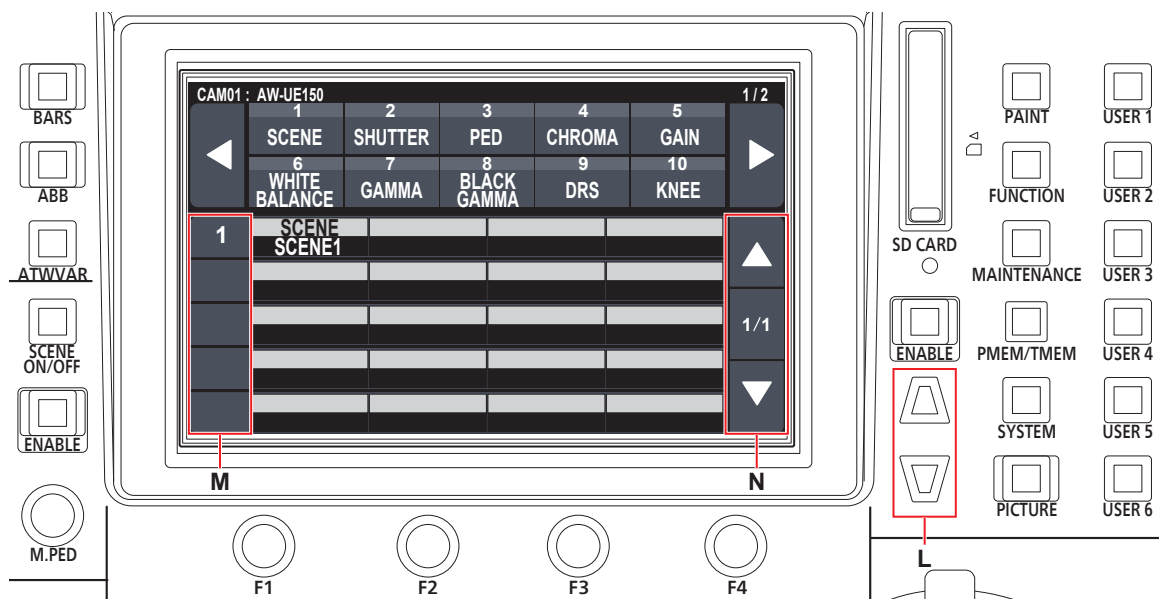
- 画面のページ切り替えボタン(左右) (K) で、設定メニューのページを切り替えることができます。



K. ページ切り替えボタン(左右)

### 3. カーソル移動ボタン (L) で、画面中段から設定したい項目の行を選ぶ

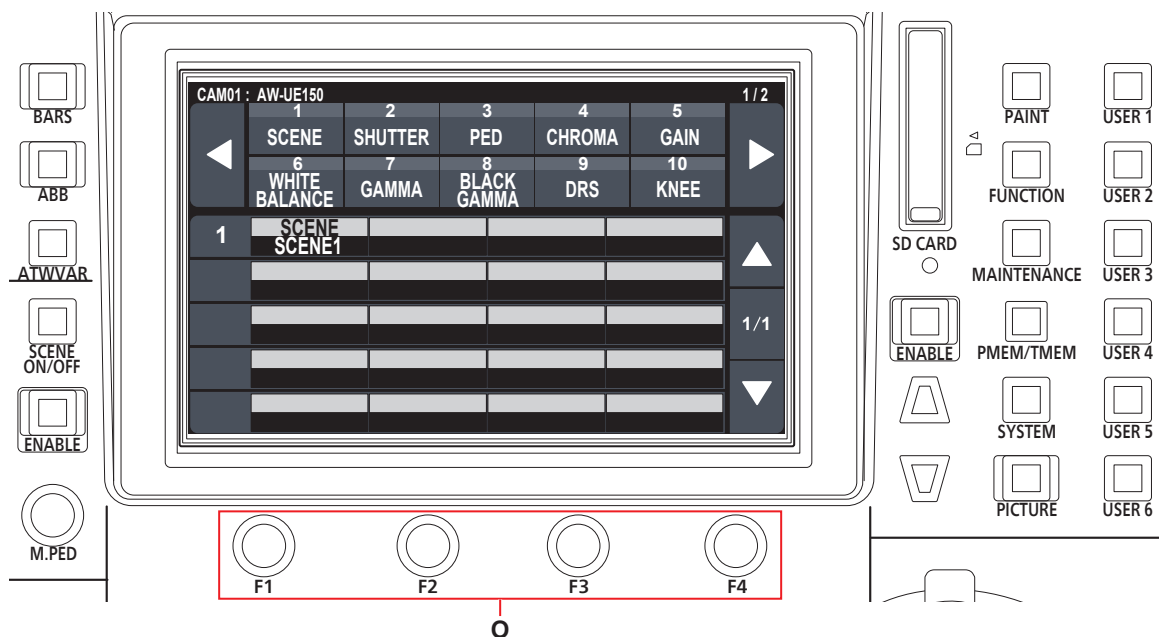
- 行番号 (M) をタッチしても、項目を選ぶことができます。
- 画面のページ切り替えボタン (上下) (N) で、設定項目のページを切り替えることができます。



- L. カーソル移動ボタン  
 M. 行番号  
 N. ページ切り替えボタン (上下)

### 4. メニュー操作ダイヤル (O) で設定値を変更する

画面の各項目と同じ位置のダイヤルを回します。



- O. メニュー項目の行番号をタッチし、F1 ~ F4のダイヤルで該当列の設定値の変更が行えます。

# 本機のネットワーク設定を行う

IP接続したりリモートカメラを本機から制御するには、本機のネットワーク設定が必要です。

## NOTE

- 同じネットワーク内に同一のIPアドレスが存在すると、正しく動作しません。起動時などにおいて、IPアドレスの重複が検知されたときに、「IP Duplicate」のメッセージが表示されることがあります。  
IPアドレスが重複しないように設定してください。

## 本機のIPアドレスの設定

1. [SYSTEM] ボタンを押す

2. 「RP IP SET」をタッチして、「IP」項目を表示する

CAM01: AW-UJ150					1/2					
1	CAMERA	2	CONNECT SETTING	3	MANUAL IP SET	4	AUTO IP SET	5	RP IP SET	
6	TRACKING									
1	IP									
	192		168		0				9	
2	SUBNET									
	255		255		255				0	
3	GATEWAY									1/2
	192		168		0				1	
4	NW SET									
	STATIC									
5									UPLOAD NO?	

- 工場出荷時は、「192.168.0.9」に設定されています。

3. メニュー操作ダイヤルを操作し、他の機器とIPアドレスが重複しないように、本機のIPアドレスを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

5行目の「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

- リモートカメラの接続先IPアドレスと重複している場合は、「IP Duplicate」のメッセージが表示されて、登録ができません。「設定可能なアドレスについて」(32ページ)を参照してください。

## NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。
- IPアドレスは、ネットワーク管理者とご相談のうえ設定してください。

## サブネットマスクの設定

1. [SYSTEM] ボタンを押す

2. 「RP IP SET」をタッチして、「SUBNET」項目を表示する

CAM01: AW-UJ150					1/2					
1	CAMERA	2	CONNECT SETTING	3	MANUAL IP SET	4	AUTO IP SET	5	RP IP SET	
6	TRACKING									
1	IP									
	192		168		0				9	
2	SUBNET									
	255		255		255				0	
3	GATEWAY									1/2
	192		168		0				1	
4	NW SET									
	STATIC									
5									UPLOAD NO?	

- 工場出荷時は、「255.255.255.0」に設定されています。

3. カーソル移動ボタンを押して、「SUBNET」を選択する

- 行番号をタッチしても選択できます。

4. メニュー操作ダイヤルを操作し、本機のサブネットマスクを設定する

4つのブロックごとに分けて入力を行います。

5行目の「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

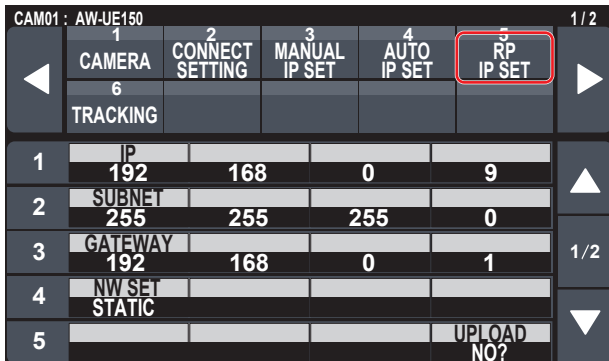
- 設定できない値を入力した場合は、「Unavailable Subnetmask setting」が表示されます。「設定可能なアドレスについて」(32ページ)を参照してください。

## NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

デフォルトゲートウェイの設定

1. [SYSTEM] ボタンを押す
2. 「RP IP SET」をタッチして、「GATEWAY」項目を表示する



- 工場出荷時は、「192.168.0.1」に設定されています。

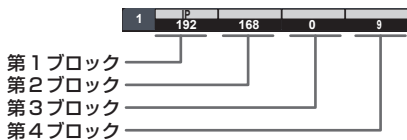
3. カーソル移動ボタンを押して、「GATEWAY」を選択する
4. メニュー操作ダイヤルを操作し、本機のデフォルトゲートウェイを設定する  
4つのブロックごとに分けて入力を行います。  
5行目の「UPLOAD」を実行しないと、変更した内容は反映されません。

NOTE

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

メモ

設定可能なアドレスについて



- IPアドレスには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック：1～223	第2ブロック：0～255
第3ブロック：0～255	第4ブロック：1～254

ただし、上記範囲内であっても、「127.0.0.1」は設定できません。

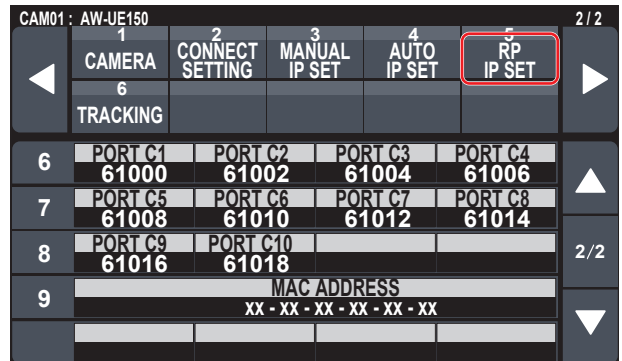
- サブネットマスクには、以下の範囲の値を設定することができます。

第1ブロック：0～255	第2ブロック：0～255
第3ブロック：0～255	第4ブロック：0～255

ただし、上記範囲内であっても、「0.0.0.0」、「127.0.0.1」は設定できません。

MACアドレスの表示

1. [SYSTEM] ボタンを押す
2. 「RP IP SET」をタッチして、「MAC ADDRESS」項目を表示する



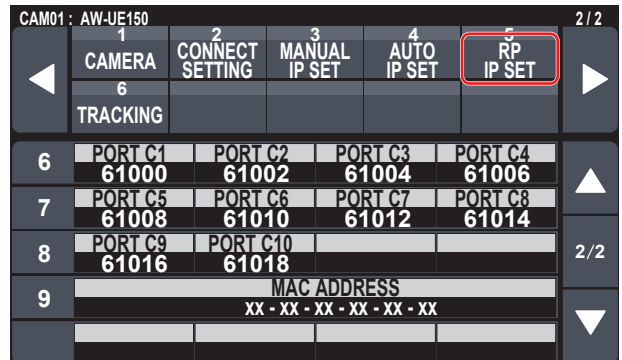
- MACアドレスは表示のみで、変更することはできません。

受信用ポート番号の設定

本機が、リモートカメラからカメラ情報の更新通知を受信するためのポート番号を設定します。  
ルーターを経由してリモートカメラを接続する場合に、設定を変更します。

- 更新通知は、選択中のカメラグループに含まれるリモートカメラから受信しますので、10個のポート番号を設定します。

1. [SYSTEM] ボタンを押す
2. 「RP IP SET」をタッチして、「PORT C1」～「PORT C10」項目を表示する



3. メニュー操作ダイヤルを操作し、各カメラ番号に受信用ポート番号を設定する

入力範囲：61000～65535

- 重複した受信用ポート番号を入力した場合は、“Unavailable Subnetmask setting”が表示されます。



# リモートカメラとの接続設定を行う

本機からリモートカメラを制御したり、本機とのリンク機能を使用したりするためには、あらかじめ接続設定が必要です。  
接続設定を行うには、本機で設定する方法とセットアップソフトウェアを使って設定する方法があります。  
ここでは、本機で設定する方法について説明します。  
セットアップソフトウェアを使った設定のしかたについては、「セットアップソフトウェア」(88ページ)を参照してください。

## NOTE

- リモートカメラは、出荷時にすべて同じIPアドレスに設定されています。そのため、複数台のリモートカメラを出荷状態のままIP接続して本機から操作しても、リモートカメラは正しく動作しません。
- リモートカメラを交換するときなど、同じIPアドレスに設定された別のリモートカメラを接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。本機の電源を切らずに接続した場合は、リモートカメラが正しく動作しないことがあります。

## リンク設定について

本機では、カメラ番号CAM1～CAM200から1つを選択することで、制御するリモートカメラを特定します。制御しようとするリモートカメラがIP接続の場合、この操作を行うためには、あらかじめ、各リモートカメラに重複しないようにIPアドレスを設定し、各IPアドレスと本機の各カメラ番号とを関係付けておく必要があります。  
本書では、この関係付けの設定のことを「**リンク設定**」と記載しています。

## 接続先IPアドレスについて

本書では、本機が接続対象(リモートカメラ)を特定するためのIPアドレスを、「**接続先IPアドレス**」と記載しています。  
リモートカメラの接続先IPアドレスは、カメラ番号CAM1～CAM200それぞれに対して1つずつ(合計200個)本機に設定されています。  
各カメラ番号の接続先IPアドレスは、[SYSTEM]ボタン>[MANUAL IP SET]のメニューで確認できます。

## 関連するメニューと操作の概要

### [SYSTEM] ボタン> [CONNECT SETTING]

接続するリモートカメラの接続種別(シリアル/IP/接続なし)を、カメラ番号ごとに設定します。

### [SYSTEM] ボタン> [AUTO IP SET]

リモートカメラとのリンク設定を自動で行うときに操作します。(自動IP設定)

以下3つの動作モードがあります。

RENEW IP ADR	リモートカメラに設定されているIPアドレスを本機が更新することにより、リンク設定します。
KEEP IP ADR	リモートカメラに設定されているIPアドレスは保持したままで、本機に設定されている接続先IPアドレスを更新することにより、リンク設定します。

### [SYSTEM] ボタン> [MANUAL IP SET]

各カメラ番号に設定されている接続先IPアドレスを確認するときや手動で変更するときに操作します。

## リモートカメラとの接続種別 (シリアル/IP/接続なし) を設定する

### 1. カメラ番号CAM1 ~ CAM200に対して、接続種別を設定する

[SYSTEM] ボタン > [CONNECT SETTING] でメニュー項目を表示します。

CAM01 : AW-JE150 1/11					
1	CAMERA	CONNECT SETTING	3 MANUAL IP SET	4 AUTO IP SET	5 RP IP SET
6	TRACKING				
1	CAM SEL	CNNCT MD	DATA SAVE	DATA LOAD	
1	1	Serial	NO?	NO?	
2	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4	
	Serial	NON	NON	NON	
3	CAM5	CAM6	CAM7	CAM8	
	NON	NON	NON	NON	1/11
4	CAM9	CAM10	CAM11	CAM12	
	NON	NON	NON	NON	
5	CAM13	CAM14	CAM15	CAM16	
	NON	NON	NON	NON	

### 2. F1 ダイアルとF2ダイアルで設定する

1 行目には、カメラ番号を指定 (F1 ダイアル) して、接続種別 (F2 ダイアル) を設定することができます。

2 行目以降は、各カメラ番号ごとに接続種別を表示、設定することができます。

設定を変更すると接続種別が点滅しますので、ダイアルを押すことで確定となります。

**Serial** : シリアル接続

**LAN** : IP 接続

**NON** : 接続なし (工場出荷時)

- シリアル接続用の SERIAL CONT 端子 [1] ~ [5] は、それぞれカメラ番号 CAM1 ~ CAM5 に対応しています。  
CAM6 ~ CAM200 に対してシリアル接続「Serial」の設定はできません。

#### NOTE

- 「自動 IP 設定」 (34 ~ 38 ページ) を行う場合は、対象のカメラ番号を「NON」に設定してください。

## 自動で IP アドレスを設定する (自動 IP 設定)

「自動 IP 設定」を行うと、本機と同じサブネット内に接続されているリモートカメラとの間のリンク設定が自動で行われます。

以下、はじめて設定する場合 (リモートカメラが工場出荷の状態) と、すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合に分けて説明します。

### はじめて設定する場合

#### <動作の概要>

[SYSTEM] ボタン > [AUTO IP SET] で、「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定し、「EXEC」で SETTING を実行することにより、リンク設定を行います。

「AUTO SET」の項目が「RENEW」のときは、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。

このとき、各リモートカメラの IP アドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先 IP アドレスの値に書き替えます。

#### 例 :

- ① リモートカメラ A、B、C (工場出荷状態) に設定されている IP アドレス

リモートカメラ A : 192.168.0.10

リモートカメラ B : 192.168.0.10

リモートカメラ C : 192.168.0.10

- ② 本機に設定されている接続種別 ([SYSTEM] ボタン > [CONNECT SETTING])

CAM1 : NON

CAM2 : NON

CAM3 : NON

- ③ 本機に設定されている接続先 IP アドレス ([SYSTEM] ボタン > [MANUAL IP SET])

CAM1 : 192.168.0.10

CAM2 : 192.168.0.11

CAM3 : 192.168.0.12

この状態で、「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定すると、リモートカメラ A ~ C の IP アドレスは以下の値に書き替えられ、それぞれカメラ番号 CAM1 ~ CAM3 とリンク設定されます。

リモートカメラ A : 192.168.0.10

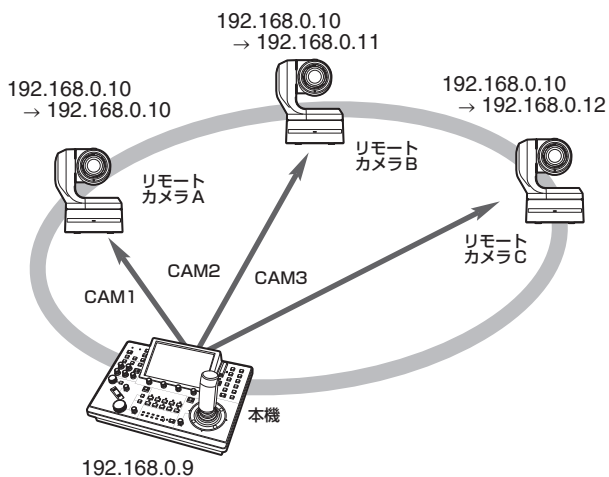
リモートカメラ B : 192.168.0.11

リモートカメラ C : 192.168.0.12

#### メモ

割り当てるカメラの IP アドレスは、本機の IP アドレスの次の番号から割り当てを行います。

本機の IP アドレスの設定が 192.168.0.9 であれば、192.168.0.10 から割り当てを行います。



- 「自動IP設定」が実行されたカメラ番号は、接続種別が「LAN」になり、次に「自動IP設定」を行う際には、設定対象から除かれます。

<操作のしかた>

NOTE

- 設定する前に、リモートカメラの接続種別が「NON」になっていることを確認してください。

接続種別の設定

SYSTEMメニュー→CONNECT SETTING→「CAM1」  
～「CAM200」項目

1. リモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する
2. SYSTEMメニュー「AUTO IP SET」を選び、F1ダイヤルを回して「AUTO SET」の項目を「RENEW」に設定してF1ダイヤルを押す

CAM01: AW-UE150					1/1				
1	CAMERA	2	CONNECT SETTING	3	MANUAL IP SET	4	AUTO IP SET	5	RP IP SET
6	TRACKING								
1	AUTO SET	NEW	TOTAL	EXEC					
	NON	0	0	NON					
									1/1

現在本機が管理している台数 (すべてのリモートカメラと新たに検出した台数が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。)

NEW : 新しく検出されたカメラ

TOTAL: 現在本機が管理している台数+新規に検出された台数

3. 「EXEC」(F4ダイヤル)を回して「SETTING」を選択して、F4ダイヤルを押す

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「AUTO IP SETTING」のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、「COMPLETE」のメッセージが表示されます。  
リモートカメラが自動でリポートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。  
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- IPアドレスの設定に失敗した場合は、「SET UP ERR」のメッセージが表示されます。  
ネットワークの障害による原因が考えられます。  
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

すでに運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合

すでにIP接続で運用している環境にリモートカメラを追加導入する場合も、「自動IP設定」によって設定を行うことができます。

以下2つの方法があります。

1. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する
2. 追加導入する機器に設定されているIPアドレスを変えずに、本機に設定されている接続先IPアドレスを自動で更新する

■追加導入する機器に設定されているIPアドレスを、本機から自動で更新する

<動作の概要>

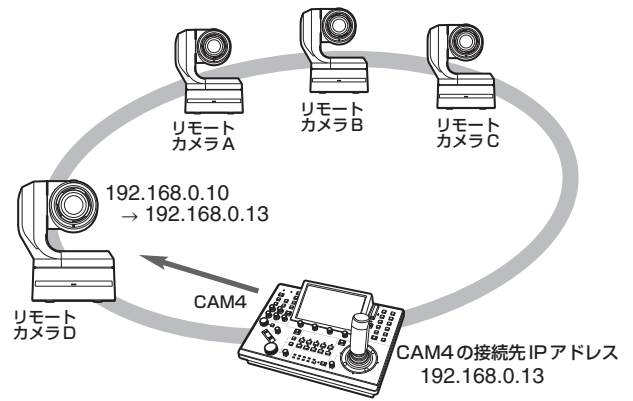
SYSTEMメニュー「AUTO IP SET」の「AUTO SET」項目で「RENEW」を実行することにより、リンク設定を行います。「RENEW」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NON」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。このとき、リモートカメラのIPアドレスを、本機に設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。

例：

- ① 3台のリモートカメラA、B、Cが、カメラ番号CAM1、CAM2、CAM3にそれぞれリンク設定され、運用されている。
- ② 新たに1台のリモートカメラD (IPアドレスの値は以下) を追加導入する。  
リモートカメラD：192.168.0.10
- ③ 本機に設定されている接続種別 ([SYSTEM] ボタン> [CONNECT SETTING])  
CAM1：LAN  
CAM2：LAN  
CAM3：LAN  
CAM4：NON
- ④ 本機に設定されている接続先IPアドレス ([SYSTEM] ボタン> [MANUAL IP SET])  
CAM4：192.168.0.13

この状態で、「RENEW」を実行すると、リモートカメラDのIPアドレスは以下の値に書き替えられ、カメラ番号CAM4に対してリンク設定されます。

リモートカメラD：192.168.0.13



- 自動IP設定で本機とのリンクが設定された後に、パーソナルコンピュータなどを用いてIPアドレスを変更したリモートカメラを接続し「RENEW」を実行すると、当該リモートカメラには一度自動IP設定を実行したときと同一のIPアドレスが再度設定されます。

<操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する
2. SYSTEMメニュー「AUTO IP SET」を選び、F1ダイヤルを回して「RENEW」を表示させてF1ダイヤルを押す

CAM01: AW-UE150						1/1
1	2	3	4	5		
CAMERA	CONNECT SETTING	MANUAL IP SET	AUTO IP SET	RP IP SET		
6						
TRACKING						
1	AUTO SET	NEW	TOTAL	EXEC		
	NON	0	0	NON		
						1/1

現在、本機が管理している台数 (すべてのリモートカメラと新たに検出した台数が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。)

NEW：新しく検出されたカメラ

TOTAL：現在本機が管理している台数 + 新規に検出された台数

### 3. 「EXEC」 (F4 ダイアル) を “SETTING” にし、F4 ダイアルを押す

「自動 IP 設定」を開始します。

「自動 IP 設定」を行っているときは、“AUTO IP SETTING” のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、“COMPLETE” のメッセージが表示されます。  
リモートカメラが自動でリブートし、新しく設定した IP アドレスで起動します。  
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- IP アドレスの設定に失敗した場合は、“SET UP ERR” のメッセージが表示されます。  
ネットワークの障害による原因が考えられます。  
ハブや LAN ケーブルの接続状態を確認し、再度「自動 IP 設定」を行ってください。

### ■ 追加導入する機器に設定されている IP アドレスを変えずに、本機に設定されている接続先 IP アドレスを自動で更新する

#### <動作の概要>

SYSTEM メニュー「AUTO IP SET」の「AUTO SET」項目で「KEEP」を実行することにより、リンク設定を行います。

「KEEP」では、本機は、まず同一サブネット内を検索します。

その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NON」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。

このとき、リモートカメラに設定されている IP アドレスはそのまま保持し、本機に設定されている接続先 IP アドレスを書き替えます。

例：

① 3 台のリモートカメラ A、B、C が、カメラ番号 CAM1、CAM2、CAM3 にそれぞれリンク設定され、運用されている。

② 新たに 1 台のリモートカメラ D (IP アドレスの値は以下) を追加導入する。

リモートカメラ D : 192.168.0.20

③ 本機に設定されている接続種別 ([SYSTEM] ボタン > [CONNECT SETTING])

CAM1 : LAN

CAM2 : LAN

CAM3 : LAN

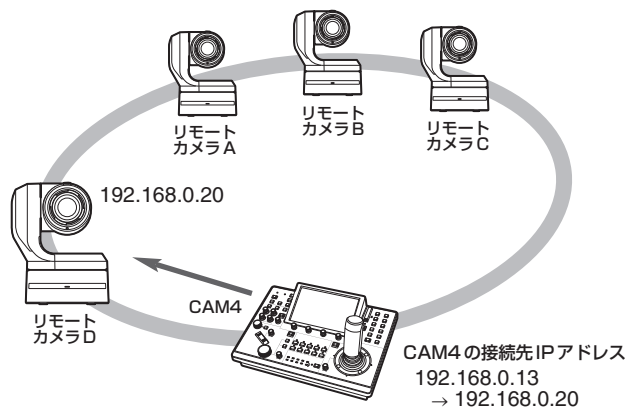
CAM4 : NON

④ 本機に設定されている接続先 IP アドレス ([SYSTEM] ボタン > [MANUAL IP SET])

CAM4 : 192.168.0.13

この状態で、「KEEP」を実行すると、リモートカメラ D の IP アドレスは変わらず、本機に設定されている接続先 IP アドレスが以下の値に書き替えられ、リモートカメラ D とリンク設定されます。

CAM4 の接続先 IP アドレス : 192.168.0.20



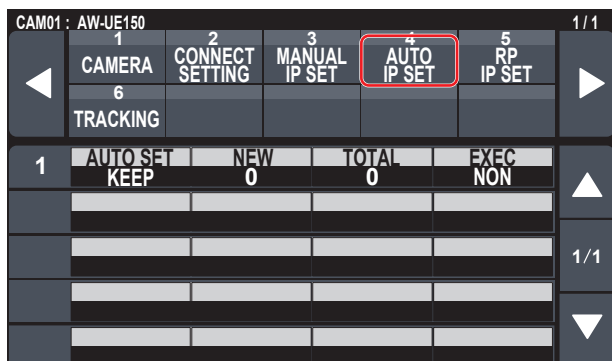
- 接続種別が「Serial」以外に設定されたカメラ番号の中に、検出したリモートカメラの IP アドレスと同じ値の接続先 IP アドレスが設定されたカメラ番号が存在する場合、本機に設定されている接続先 IP アドレスは更新されません。接続先 IP アドレスはそのまま、当該カメラ番号とリモートカメラがリンク設定されます。

#### NOTE

- 本機とリモートカメラのサブネットマスクの値は同じ値を設定してください。サブネットマスクが異なると、ネットワークを使つての操作ができなくなります。

## <操作のしかた>

1. 追加導入するリモートカメラと本機を同一サブネット内のネットワークに接続する
2. SYSTEMメニュー「AUTO IP SET」を選び、F1ダイヤルを回して「KEEP」を表示させてF1ダイヤルを押す



現在、本機が管理している台数（すべてのリモートカメラと新たに検出した台数が「NEW」と「TOTAL」に表示されます。）

**NEW** : 新しく検出されたカメラ

**TOTAL** : 現在本機が管理している台数+新規に検出された台数

3. 「EXEC」(F4ダイヤル)を“SETTING”にし、F4ダイヤルを押す

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、“AUTO IP SETTING”のメッセージが表示されます。

- すべて正常に終了すると、“COMPLETE”のメッセージが表示されます。  
本機からリモートカメラを操作できるようになります。
- 運用中の機器のIPアドレスと追加導入するリモートカメラのIPアドレスが重複している場合は、“IP Duplicate!”のメッセージが表示されリンク設定はされません。  
追加導入するリモートカメラのIPアドレスを確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。
- IPアドレスの設定に失敗した場合は、“SET UP ERR”のメッセージが表示されます。  
ネットワークの障害による原因が考えられます。  
ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

## メモ

### 接続機器の検出について

- 「RENEW」や「KEEP」により、検出した機器の台数が登録可能な数（リモートカメラ：200台）を超えた場合は、「C/S OVER!」を表示します。  
この状態でも自動IP設定を行うことができますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。
- 複数のリモートカメラが同時に起動されたときなど、本機側ですべてのリモートカメラを検出できないことがあります。  
この場合、「EXEC」項目で“RETRY”を選択し、F4ダイヤルを押して再度実行してください。
- リモートカメラの電源が入っていなかった等の原因で、新たに検出した台数の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「EXEC」項目で“RETRY”を選択し、F4ダイヤルを押して再度実行してください。

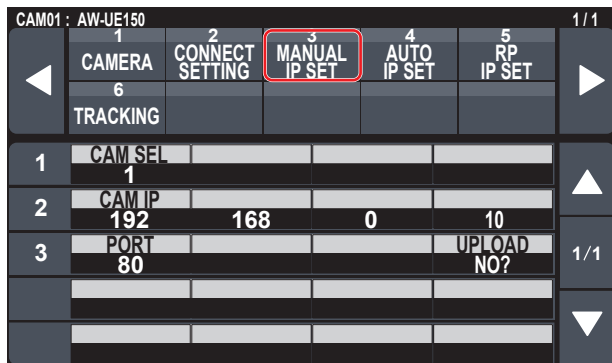
### NOTE

- 他のリモートカメラコントローラ（本機AW-RP150）を追加する場合は、同じネットワーク内でIPアドレスが重複しないように設定した上で接続してください。
- 「自動IP設定」は、同じネットワーク内で自動IP設定対象外の機器（リモートカメラ以外の機器）が動作していない状態で実行してください。これらの機器は、自動IP設定を実行した後、同じネットワーク内でIPアドレスが重複していないことを確認した上で接続してください。

## 接続先IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を手動で設定する

「自動IP設定」でIPアドレスを設定することができないリモートカメラを接続(ルーターを経由して接続)する場合や、本機とリモートカメラのリンク設定を手動で行う場合に操作します。

### 1. SYSTEMメニュー「MANUAL IP SET」を選び、F1ダイヤルを回して、設定変更したいカメラ番号を表示させる



### 2. IPアドレス(リモートカメラ)とポート番号を設定する

1行目の「CAM SEL」を操作し、接続先とするIPアドレスを設定するカメラ番号を選択してください。

2行目以降に該当のカメラ番号の現状のIPアドレス、ポート番号が表示されます。

2行目の「CAM IP」で、接続先のIPアドレスを設定します。

4つのブロックに分けて、F1～F4のダイヤルで設定します。

3行目の「PORT」で接続先のポート番号をF1ダイヤルで設定します。

設定後は、「UPLOADED」を行ってください。「UPLOADED」を行わないと設定したIPアドレスやポート番号の設定が反映されません。

[SYSTEM] ボタン > [CONNECT SETTING] で接続種別が「NON」、 「Serial」 に設定されているカメラ番号に対しても設定することができます。

- 工場出荷の状態では、以下の値に設定されています。

CAM1 : 192.168.0.10

↓

CAM200 : 192.168.0.209

- 接続先IPアドレスを変更すると、他の項目で設定しているIPアドレスとの重複チェックを行います。IPアドレスが重複している場合は、「IP Duplicate!」のメッセージが表示されます。
- 設定できないポート番号が指定されたときには「Unavailable network setting」のメッセージが表示されます。

### ■ 設定可能なポート番号について

1～65535の範囲の値を設定することができます。

ただし、この範囲内であっても、以下の値を設定することはできません。

20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 995, 10669, 10670

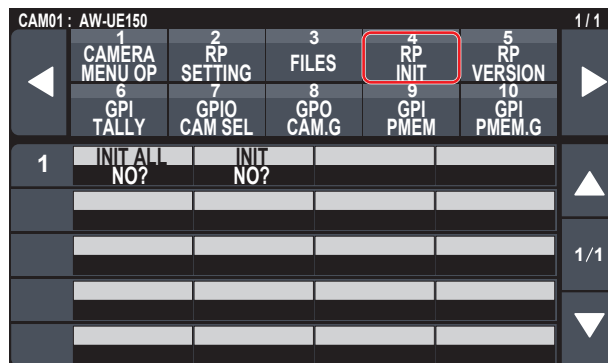
### NOTE

- この操作で、リモートカメラに設定されているIPアドレスが変更されるわけではありません。

## 本機に設定されている接続先IPアドレスを初期化する

本機に設定されている接続種別、接続先IPアドレスを初期化します。

### 1. MAINTENANCEメニュー「RP INIT」を選び、「INIT ALL」を選択する



### 2. F1ダイヤルを押して、初期化を実行する

リモートカメラとの接続設定が初期化されます。

### メモ

- 接続種別が「LAN」から「NON」に設定されます。「Serial」に設定されている場合は、変更されません。
- 本機のIPアドレスが変更されている場合、接続先IPアドレスが自動で変更されます。
  - 各カメラ番号には、本機のIPアドレス以降のアドレスが昇順で設定されます。

## メニューグループ

PAINT	SCENE	⇒「SCENE」(41ページ)
	SHUTTER	⇒「SHUTTER」(42ページ)
	PED	⇒「PED」(42ページ)
	CHROMA	⇒「CHROMA」(43ページ)
	GAIN	⇒「GAIN」(43ページ)
	WHITE BALANCE	⇒「WHITE BALANCE」(44ページ)
	GAMMA	⇒「GAMMA」(45ページ)
	BLACK GAMMA	⇒「BLACK GAMMA」(45ページ)
	DRS	⇒「DRS」(46ページ)
	KNEE	⇒「KNEE」(46ページ)
	WHITE CLIP	⇒「WHITE CLIP」(47ページ)
	DTL	⇒「DTL」(47ページ)
	DC DTL	⇒「DC DTL」(48ページ)
	MATRIX	⇒「MATRIX」(48ページ)
	COLOR CORRE	⇒「COLOR CORRE」(49ページ)
	DNR	⇒「DNR」(50ページ)
BRIGHTNESS	⇒「BRIGHTNESS」(51ページ)	
FUNCTION	USER ASSIGN	⇒「USER ASSIGN」(52ページ)
	CAMERA INFO	⇒「CAMERA INFO」(53ページ)
	PTZ INFO1	⇒「PTZ INFO1」(54ページ)
	PTZ INFO2	⇒「PTZ INFO2」(55ページ)
	HOUSING INFO	⇒「HOUSING INFO」(56ページ)
	CROP	⇒「CROP」(57ページ)
MAINTENANCE	CAMERA MENU OP	⇒「CAMERA MENU OP」(58ページ)
	RP SETTING	⇒「RP SETTING」(59ページ)
	FILES	⇒「FILES」(61ページ)
	RP INIT	⇒「RP INIT」(62ページ)
	RP VERSION	⇒「RP VERSION」(62ページ)
	GPI TALLY	⇒「GPI TALLY」(63ページ)
	GPIO CAM SEL	⇒「GPIO CAM SEL」(65ページ)
	GPO CAM.G	⇒「GPO CAM.G」(68ページ)
	GPI PMEM	⇒「GPI PMEM」(69ページ)
	GPI PMEM.G	⇒「GPI PMEM.G」(71ページ)
SYSTEM	CAMERA	⇒「CAMERA」(74ページ)
	CONNECT SETTING	⇒「CONNECT SETTING」(75ページ)
	MANUAL IP SET	⇒「MANUAL IP SET」(76ページ)
	AUTO IP SET	⇒「AUTO IP SET」(77ページ)
	RP IP SET	⇒「RP IP SET」(78ページ)
	TRACKING	⇒「TRACKING」(79ページ)
PMEM/TMEM	PMEM LIST	⇒「PMEM LIST」(81ページ)
	PMEM DIRECT	⇒「PMEM DIRECT」(82ページ)
	PMEM STORE	⇒「PMEM STORE」(83ページ)
	PMEM DEL	⇒「PMEM DEL」(84ページ)
	TMEM	⇒「TMEM」(85ページ)
	SETTING	⇒「SETTING」(86ページ)

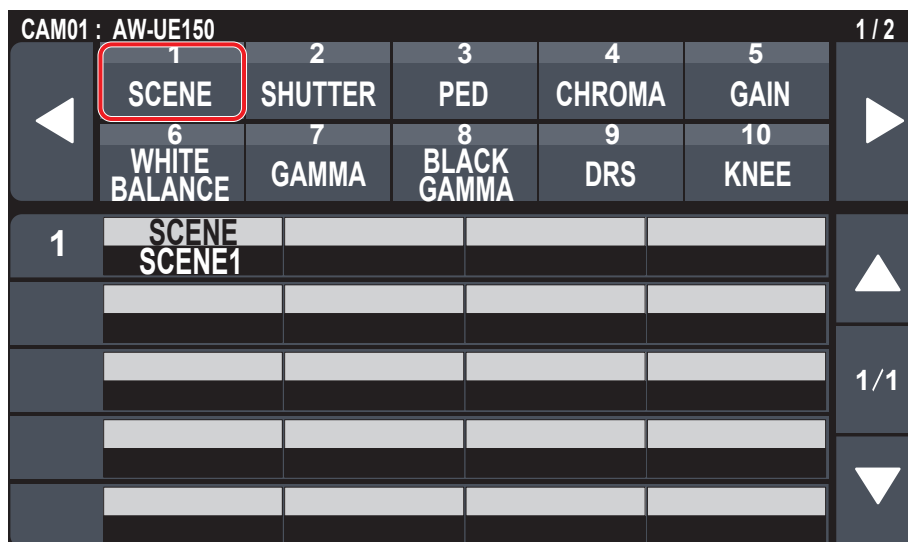


PAINT

⇒「SCENE」 (41 ページ)
⇒「SHUTTER」 (42 ページ)
⇒「PED」 (42 ページ)
⇒「CHROMA」 (43 ページ)
⇒「GAIN」 (43 ページ)
⇒「WHITE BALANCE」 (44 ページ)
⇒「GAMMA」 (45 ページ)
⇒「BLACK GAMMA」 (45 ページ)
⇒「DRS」 (46 ページ)
⇒「KNEE」 (46 ページ)
⇒「WHITE CLIP」 (47 ページ)
⇒「DTL」 (47 ページ)
⇒「DC DTL」 (48 ページ)
⇒「MATRIX」 (48 ページ)
⇒「COLOR CORRE」 (49 ページ)
⇒「DNR」 (50 ページ)
⇒「BRIGHTNESS」 (51 ページ)

■ SCENE

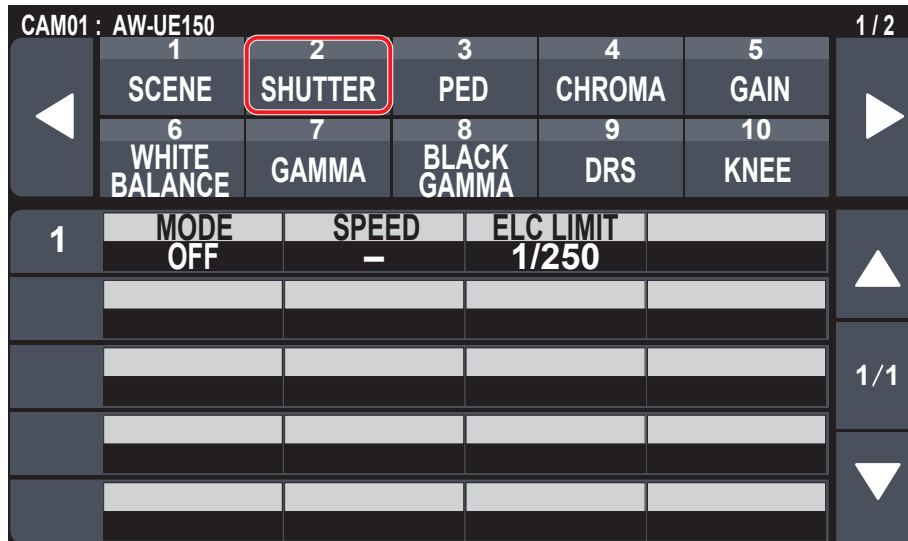
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
SCENE	撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。

■ SHUTTER

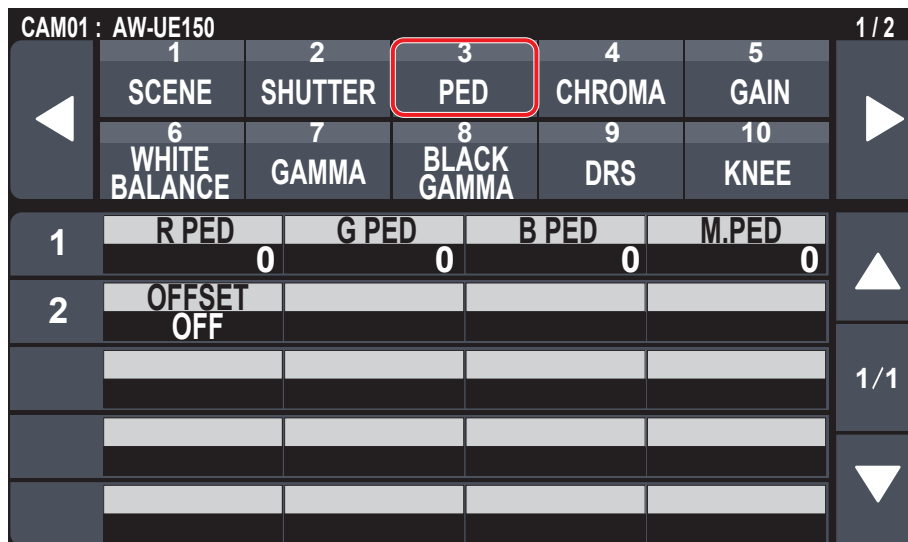
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
MODE	カメラのシャッターモードを選択します。
SPEED	カメラのシャッター速度を選択します。
ELC LIMIT	ELCの動作時の最大シャッター値を設定します。

■ PED

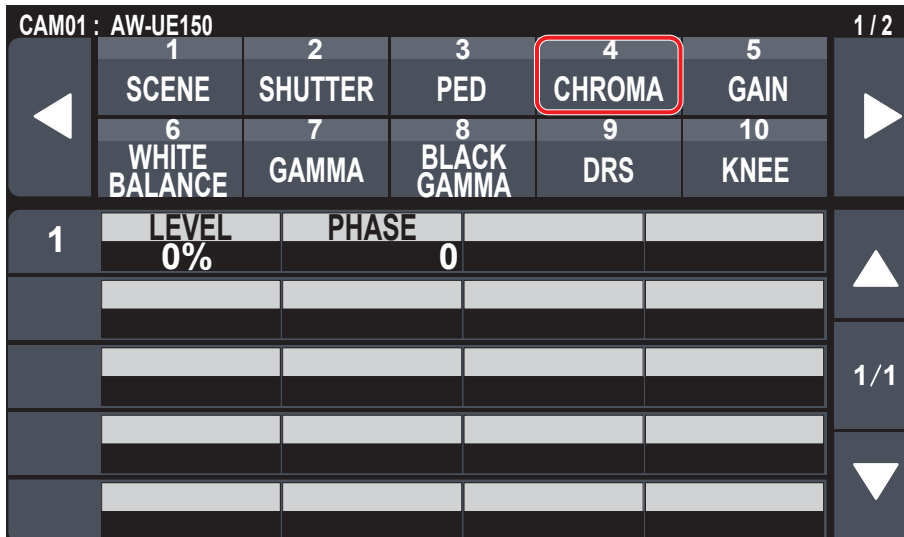
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
R PED	Rchのペダスタルを調整します。
G PED	Gchのペダスタルを調整します。
B PED	Bchのペダスタルを調整します。
M.PED	黒レベルの調整 (ペダスタル調整) を行います。
OFFSET	オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bchのペダスタルレベルを設定します。

■ CHROMA

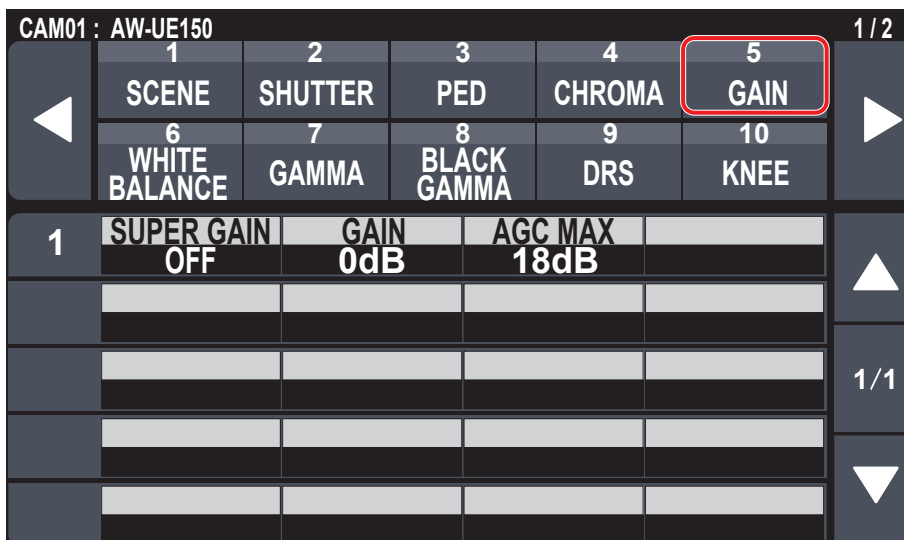
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
LEVEL	映像の色の濃淡を設定します。
PHASE	映像の色の位相の微調整を行います。

■ GAIN

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
SUPER GAIN	スーパーゲイン (感度アップ) のモードを設定します。
GAIN	映像のゲイン調整を行います。 暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。
AGC MAX	[Gain] で [Auto] を選択した場合の最大ゲインアップ量を設定します。

■ WHITE BALANCE

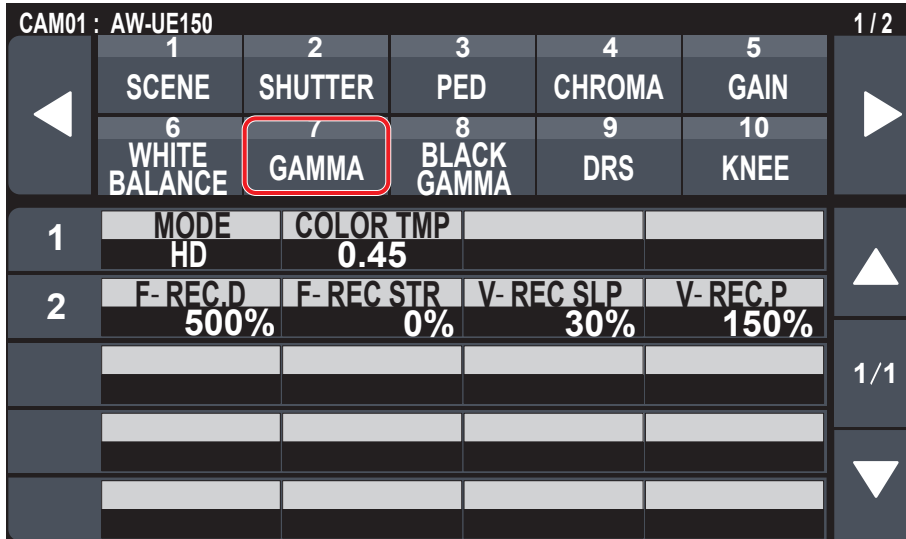
- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					1/2
1	SCENE	SHUTTER	PED	CHROMA	GAIN
6	WHITE BALANCE	7	8	9	10
		GAMMA	BLACK GAMMA	DRS	KNEE
1	MODE	COLOR TMP	R GAIN	B GAIN	
	AWB A	—	0	0	
2	OFFSET				
	OFF				
3	A.SPEED	A.TARGET R	A.TARGET B		
	NORMAL	0	0		1/1

項目	設定内容
MODE	ホワイトバランス (白バランス) のモードを設定します。 光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。 基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。
COLOR TMP	色温度 2000K ~ 15000K を指定できます。
R GAIN	Rch のゲインを調整できます。
B GAIN	Bch のゲインを調整できます。
OFFSET	[White Balance Mode] を [AWB A]、[AWB B] にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rch ゲインと Bch ゲインの値を設定します。
A.SPEED	ATW 機能の制御スピードを設定します。
A.TARGET R	オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rch の出力を微調整します。
A.TARGET B	オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bch の出力を微調整します。

■ GAMMA

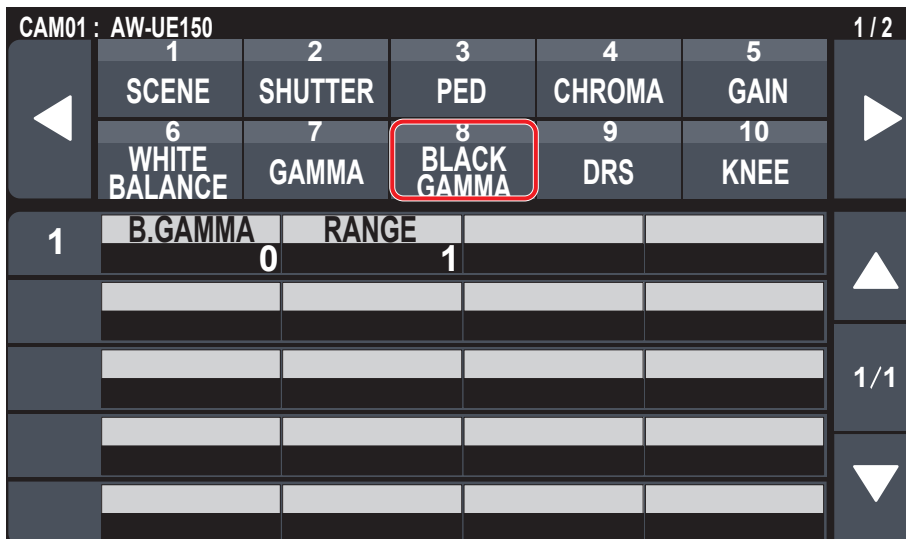
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
MODE	ガンマカーブのタイプを選択します。
COLOR TMP	ガンマ補正レベルの調整を行います。 低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。 高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。
F-REC.D	[MODE] で [FILM-REC] を選択しているとき、ダイナミックレンジを設定します。
F-REC STR	[MODE] で [FILM-REC] を選択しているとき、ブラックストレッチを設定します。
V-REC SLP	[MODE] で [VIDEO-REC] を選択しているとき、ニースロープを設定します。
V-REC.P	[MODE] で [VIDEO-REC] を選択しているとき、ニーポイントを設定します。

■ BLACK GAMMA

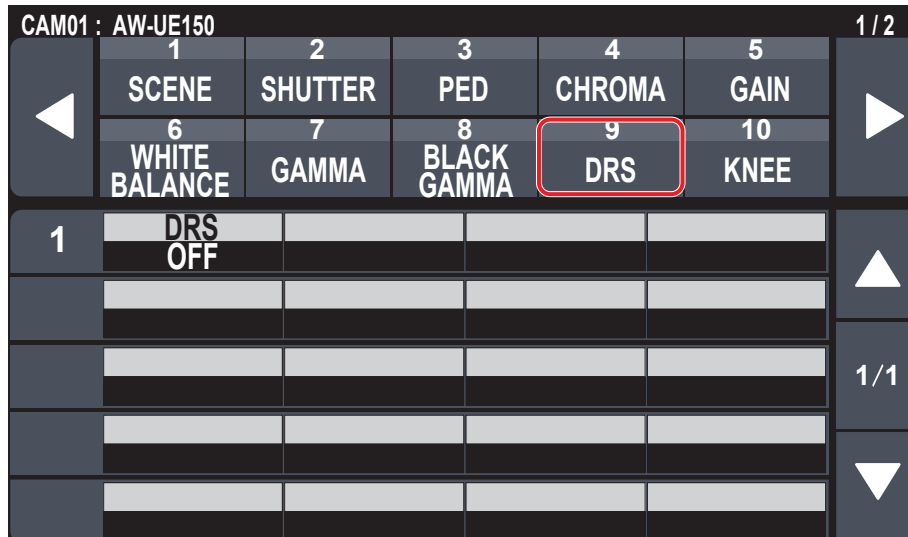
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
B.GAMMA	暗部のガンマカーブを設定します。
RANGE	圧縮 / 伸張を行う上限レベルを設定します。

■ DRS

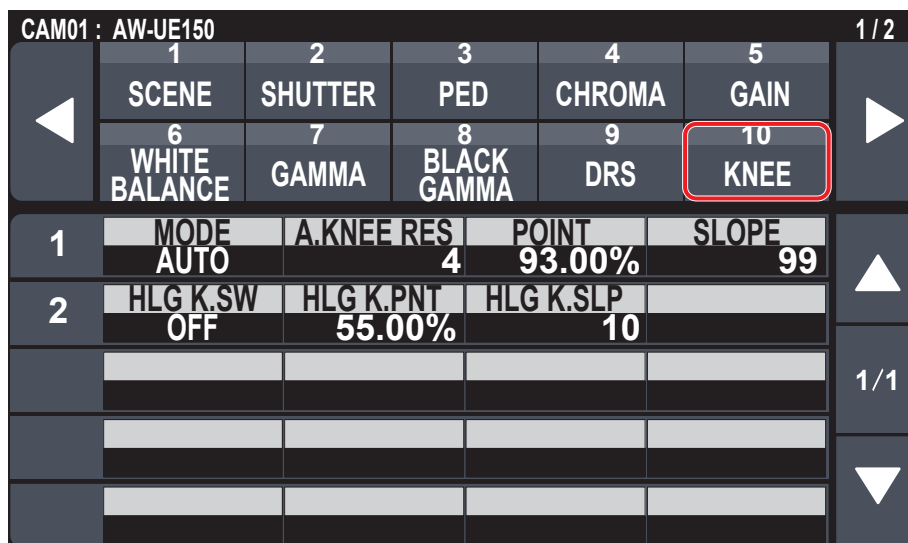
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
DRS	明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行う DRS 機能を設定します。

■ KNEE

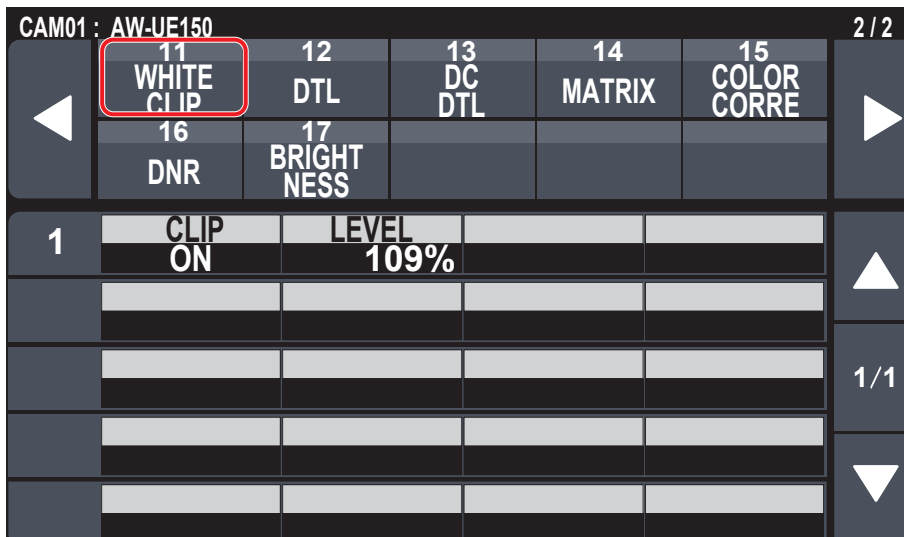
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
MODE	階調圧縮 (ニー) の動作モードを設定します。
A.KNEE RES	オートニー応答速度を設定します。 設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
POINT	高輝度映像信号の圧縮レベル (ニーポイント) の位置設定を行います。
SLOPE	ニーの傾きを設定します。
HLG K.SW	HLG のニーの動作の有効 (on) / 無効 (off) を切り替えます。
HLG K.PNT	HLG のニーポイントの位置を設定します。
HLG K.SLP	HLG のニーの傾きを設定します。

■ WHITE CLIP

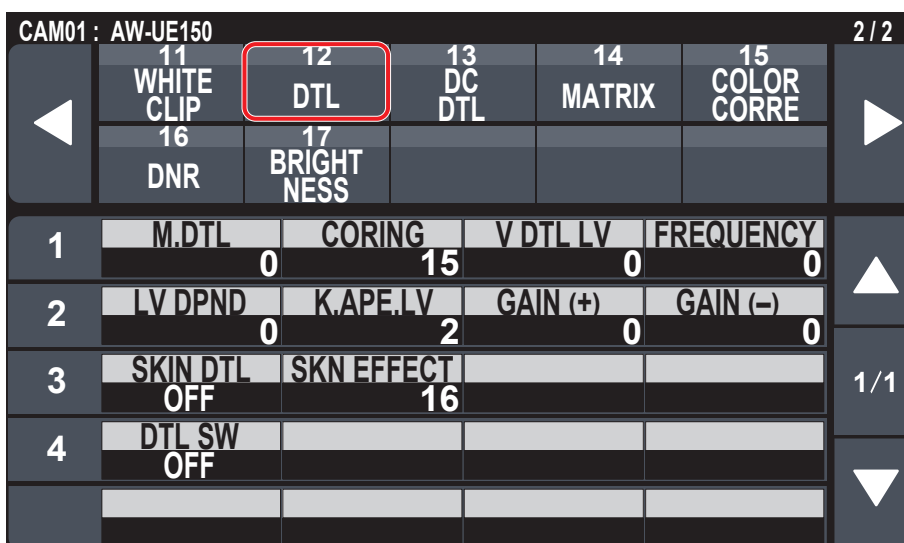
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
CLIP	ホワイトクリップ機能の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。
LEVEL	ホワイトクリップレベルを設定します。

■ DTL

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
M.DTL	輪郭補正レベル (マスター) の調整を行います。
CORING	ディテール効果を働かせないようにする信号 (ノイズを含む) のレベルを設定します。
V DTL LV	垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
FREQUENCY	ディテールのブースト周波数を設定します。
LV DPND	輝度信号のディテールを強調しているときは暗部のディテールを圧縮しています。 値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。
K.APE.LV	高輝度部 (非常に明るい部分) のディテールレベルを設定します。
GAIN(+)	プラス方向 (明るくする方向) のディテールレベルを設定します。
GAIN(-)	マイナス方向 (暗くする方向) のディテールレベルを設定します。
SKIN DTL	人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
SKN EFFECT	スキディテールの設定値が大きいほど、人物の肌をより滑らかに撮影できます。
DTL SW	映像の輪郭 (映像のシャープさ) の調整の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。

■ DC DTL

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					2 / 2
◀	11 WHITE CLIP	12 DTL	13 DC DTL	14 MATRIX	15 COLOR CORRE ▶
	16 DNR	17 BRIGHT NESS			
1	M.DTL	CORING	V DTL LV	FREQUENCY	
	0	15	0	0	▲
2	LV DPND	K.APE.LV			
	0	2			
3	DTL SW				1 / 1
	OFF				
					▼

項目	設定内容
M.DTL	4K からHDへダウンコンバートした映像の輪郭補正レベル (マスター) の調整を行います。
CORING	4K からHDへダウンコンバートした映像のディテール効果を働かせないようにする信号 (ノイズを含む) のレベルを設定します。
V DTL LV	4K からHDへダウンコンバートした映像の垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
FREQUENCY	4K からHDへダウンコンバートした映像のディテールのブースト周波数を設定します。 高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。
LV DPND	4K からHDへダウンコンバートした映像で設定が大きいくほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。
K.APE.LV	4K からHDへダウンコンバートした映像の高輝度部 (非常に明るい部分) のディテールレベルを設定します。
DTL SW	4K からHDへダウンコンバートした映像の輪郭 (映像のシャープさ) の調整の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。

■ MATRIX

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					2 / 2
◀	11 WHITE CLIP	12 DTL	13 DC DTL	14 MATRIX	15 COLOR CORRE ▶
	16 DNR	17 BRIGHT NESS			
1	TYPE				
	NORMAL				▲
2	R-G	R-B	G-R	G-B	
	0	0	0	0	
3	B-R	B-G			1 / 1
	0	0			
					▼

項目	設定内容
TYPE	カラーマトリクスのタイプを選択します。
R-G、R-B、G-R、 G-B、B-R、B-G	各軸方向の色調整を -63 ~ +63 の範囲で行います。



■ COLOR CORRE

● 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					2 / 2	
◀	11 WHITE CLIP	12 DTL	13 DC DTL	14 MATRIX	15 COLOR CORRE	▶
	16 DNR	17 BRIGHT NESS				
1	TYPE					▲
	NORMAL					
2	CORRECT	SAT	PHASE			
	B_Mg	0	0			
3	SAT B_Mg	PHS B_Mg	SAT Mg	PHS Mg		1 / 2
	0	0	0	0		
4	SAT Mg_R	PHS Mg_R	SAT Mg_R_R	PHS Mg_R_R		▼
	0	0	0	0		
5	SAT R	PHS R	SAT R_R_YI	PHS R_R_YI		
	0	0	0	0		

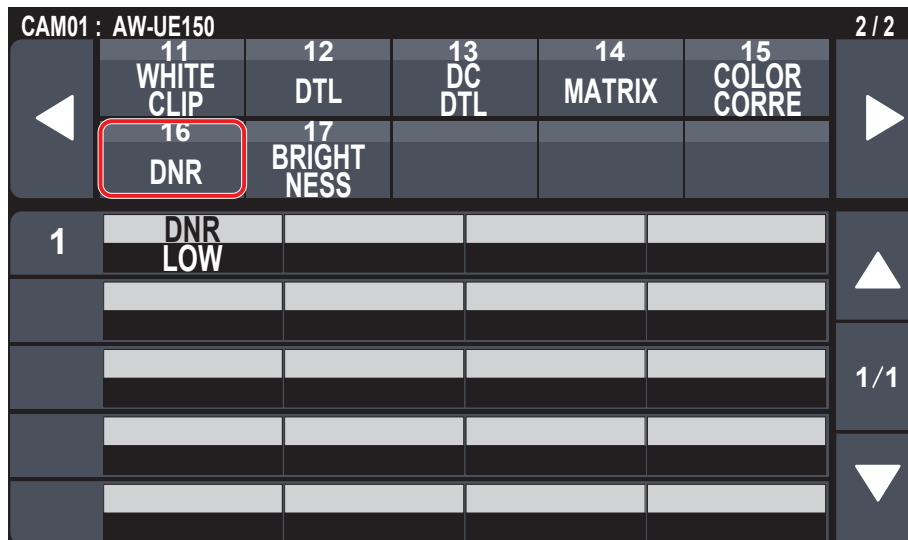
CAM01 : AW-UE150					2 / 2	
◀	11 WHITE CLIP	12 DTL	13 DC DTL	14 MATRIX	15 COLOR CORRE	▶
	16 DNR	17 BRIGHT NESS				
6	SAT R_YI	PHS R_YI	SAT R_YI_YI	PHS R_YI_YI		▲
	0	0	0	0		
7	SAT YI	PHS YI	SAT YI_YI_G	PHS YI_YI_G		
	0	0	0	0		
8	SAT YI_G	PHS YI_G	SAT G	PHS G		2 / 2
	0	0	0	0		
9	SAT G_Cy	PHS G_Cy	SAT Cy	PHS Cy		▼
	0	0	0	0		
10	SAT Cy_B	PHS Cy_B	SAT B	PHS B		
	0	0	0	0		

項目	設定内容
TYPE	カラーマトリクスのタイプを選択します。
CORRECT	飽和度と色相の調整を行います。
SAT	各色の飽和度を調整します。
PHASE	各色の色相を調整します。
SAT B_Mg	青とマゼンタの中間色の飽和度を調整します。
PHS B_Mg	青とマゼンタの中間色の色相を調整します。
SAT Mg	マゼンタの飽和度を調整します。
PHS Mg	マゼンタの色相を調整します。
SAT Mg_R	マゼンタと赤の中間色の飽和度を調整します。
PHS Mg_R	マゼンタと赤の中間色の色相を調整します。
SAT Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。
PHS Mg_R_R	マゼンタと赤の比率が 1:3 の色の色相を調整します。
SAT R	赤の飽和度を調整します。
PHS R	赤の色相を調整します。
SAT R_R_YI	赤と黄の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。
PHS R_R_YI	赤と黄の比率が 3:1 の色の色相を調整します。
SAT R_YI	赤と黄の中間色の飽和度を調整します。
PHS R_YI	赤と黄の中間色の色相を調整します。
SAT R_YI_YI	赤と黄の比率が 1:3 の色の飽和度を調整します。

項目	設定内容
PHS R_YI_YI	赤と黄の比率が 1:3 の色の色相を調整します。
SAT YI	黄の飽和度を調整します。
PHS YI	黄の色相を調整します。
SAT YI_YI_G	黄と緑の比率が 3:1 の色の飽和度を調整します。
PHS YI_YI_G	黄と緑の比率が 3:1 の色の色相を調整します。
SAT YI_G	黄と緑の中間色の飽和度を調整します。
PHS YI_G	黄と緑の中間色の色相を調整します。
SAT G	緑の飽和度を調整します。
PHS G	緑の色相を調整します。
SAT G_Cy	緑とシアンの中間色の飽和度を調整します。
PHS G_Cy	緑とシアンの中間色の色相を調整します。
SAT Cy	シアンの飽和度を調整します。
PHS Cy	シアンの色相を調整します。
SAT Cy_B	シアンと青の中間色の飽和度を調整します。
PHS Cy_B	シアンと青の中間色の色相を調整します。
SAT B	青の飽和度を調整します。
PHS B	青の色相を調整します。

■ DNR

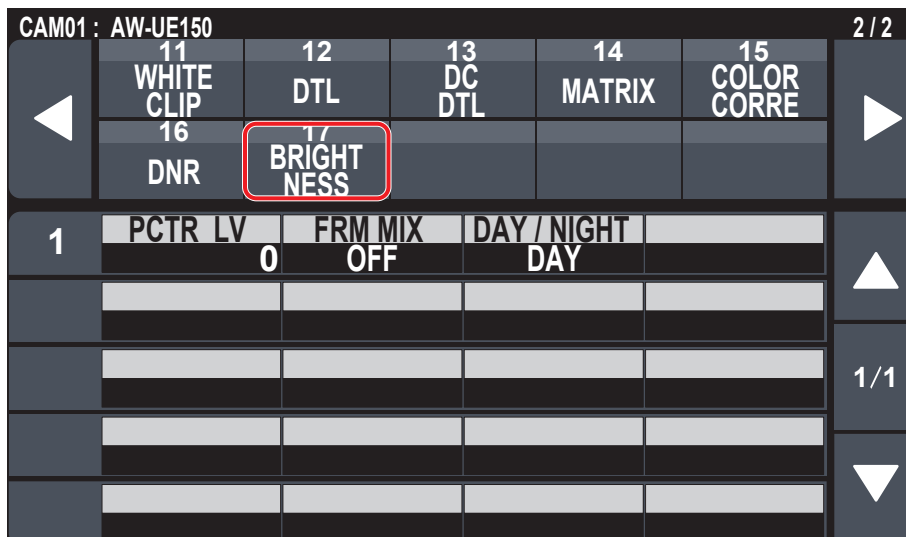
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
DNR	夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のレベルを設定します。

■ BRIGHTNESS

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



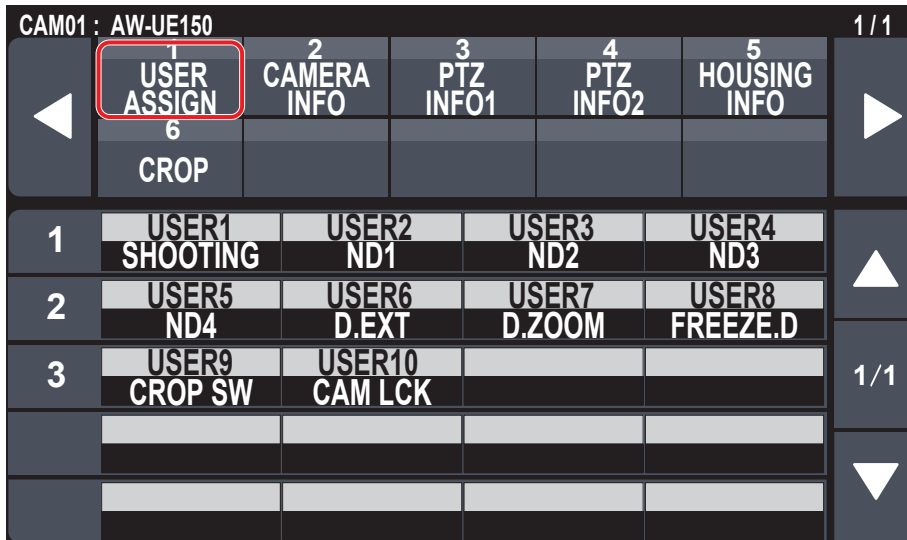
項目	設定内容
PCTR LV	自動露出補正の目標映像レベルを設定します。
FRM MIX	フレーム加算（センサー蓄積によるゲインアップ）の量を設定します。 フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。
DAY/NIGHT	通常撮影と暗視撮影（赤外線照射による暗視撮影）を切り替えます。

**FUNCTION**

⇒「USER ASSIGN」 (52ページ)
⇒「CAMERA INFO」 (53ページ)
⇒「PTZ INFO1」 (54ページ)
⇒「PTZ INFO2」 (55ページ)
⇒「HOUSING INFO」 (56ページ)
⇒「CROP」 (57ページ)

■ **USER ASSIGN**

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	初期値	設定内容
USER1* <sup>1</sup>	SHOOTING	<p>ユーザーボタンに対して、以下の機能の割り当てが行えます。</p> <p><b>POWER OFF:</b> POWER OFFの機能</p> <p><b>ND1、ND2、ND3、ND4:</b> ND 1～4の機能</p> <p><b>FREEZE.D:</b> FREEZE DURING 機能</p> <p><b>D.ZOOM:</b> DIGITAL ZOOM 機能</p> <p><b>D.EXT:</b> D.EXT(OFF/ × 1.4) 機能</p> <p><b>D-EXT × 2.0:</b> D.EXT(OFF/ × 2.0) 機能</p> <p><b>I.S.:</b> カメラのI.S. 機能のON/OFF</p> <p><b>I.S.Ext:</b> I.S. 機能の設定がON/OFFでなく、設定値が2段階ある場合に、2段階目の設定を有効とする場合に使用します (AW-UE150では機能しません) 対応する各機種種の取扱説明書をご確認ください。</p> <p><b>CROP SW:</b> Crop SW ON/OFF 機能</p> <p><b>C.OT YL、C.OT G、C.OT MG:</b> Crop OutのYL、G、MGの選択</p> <p><b>C.AJ YL、C.AJ G、C.AJ MG:</b> Crop AdjustのYL、G、MGの選択</p> <p><b>C.MK YL、C.MK G、C.MK MG:</b> Crop MarkerのYL、G、MGの選択</p> <p><b>WIPER:</b> WIPERの選択 (WIPER 機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)</p> <p><b>D. HAZE:</b> D. HAZE CLR SW ON/OFF 機能 (D.HAZE 機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)</p> <p><b>DFRSTR:</b> DEFROSTER ON/OFF 機能 (DFRSTER 機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)</p> <p><b>HEATER:</b> HEATER ON/OFF 機能 (HEATER 機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)</p> <p><b>FAN:</b> FAN ON/OFF 機能</p> <p><b>WASHER:</b> WASHER ON/OFF 機能 (WASHER 機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)</p> <p><b>CAM LCK:</b> CAM LOCK 設定/解除機能</p> <p><b>TRCKING:</b> TRACKING ON/OFF 機能</p> <p><b>TR CNCT:</b> TR CONNECT ON/OFF 機能</p> <p><b>ROCKER:</b> ZOOM/FOCUS ロッカーの動作モード (ズーム/フォーカス) 切り替え機能</p> <p><b>SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4:</b> SCENE 1～4の割り当て</p> <p><b>SHOOTING:</b> 撮影モード (NORMAL/H.SENSE) 機能</p> <p><b>CAM MENU:</b> 接続しているカメラのメニューのON/OFF 機能</p> <p><b>PMEM1～PMEM20:</b> プリセットメモリー1～20の選択</p>
USER2* <sup>1</sup>	ND1	
USER3* <sup>1</sup>	ND2	
USER4* <sup>1</sup>	ND3	
USER5* <sup>1</sup>	ND4	
USER6* <sup>1</sup>	D.EXT	
USER7* <sup>1</sup>	D.ZOOM	
USER8* <sup>1</sup>	FREEZE.D	
USER9* <sup>1</sup>	CROP SW	
USER10* <sup>1</sup>	CAM LCK	

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ CAMERA INFO

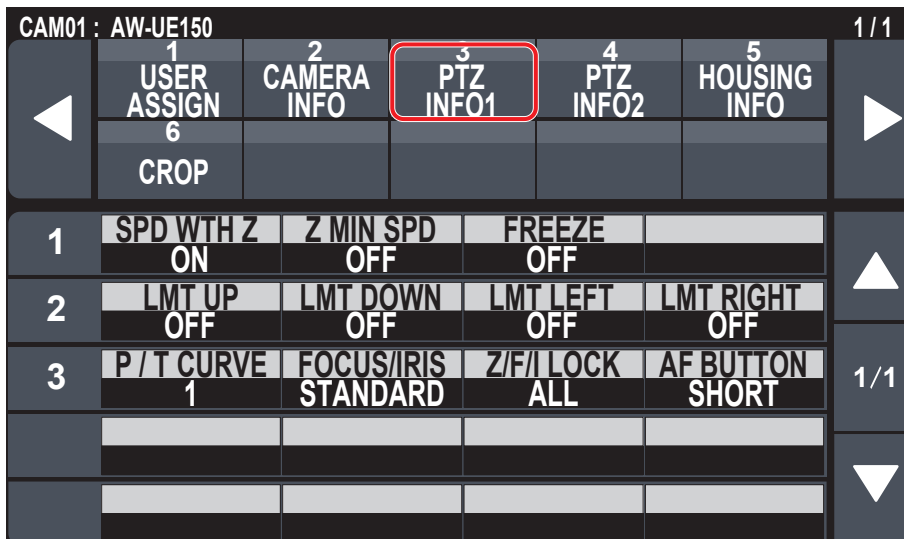
● 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					1/1
1	2	3	4	5	
USER ASSIGN	CAMERA INFO	PTZ INFO1	PTZ INFO2	HOUSING INFO	
6					
CROP					
1	ND ND1	OPT OFF	SHOOTING NORMAL		
2	D.ZOOM OFF	D.ZM MAX ×10	D.EXT OFF		
3	I.S. OFF				1/1
4	A.IRIS SP NORMAL	A.IRIS WD NORMAL1			
5	D.HAZ CLR -	D.HAZ LV -			

項目	設定内容
ND	ND フィルターを設定します。
OPT	通常の撮影モードとナイトモードの切り替えを行います。
SHOOTING	撮影環境に応じた撮影モードを選択します。 <b>NORMAL:</b> 通常の明るさの環境で撮影するときに選択します。 <b>H.SENSE:</b> 高感度撮影をするときに選択します。(暗い環境での撮影に適しています。)
D.ZOOM	デジタルズーム機能の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。
D.ZM MAX	デジタルズームの倍率の上限を設定します。
D.EXT	デジタルエクステンダー機能を選択します。
I.S.	画揺れ補正のモードを選択します。
A.IRIS SP	オートアイリス機能の制御スピードを設定します。
A.IRIS WD	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。
D.HAZ CLR	霧除去機能の有効 (ON) / 無効 (OFF) を設定します。 (霧除去機能を持つ業務用カメラと接続した場合に操作できます)
D.HAZ LV	霧除去のレベルを設定します。 (霧除去機能を持つ業務用カメラと接続した場合に操作できます)

■ PTZ INFO1

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

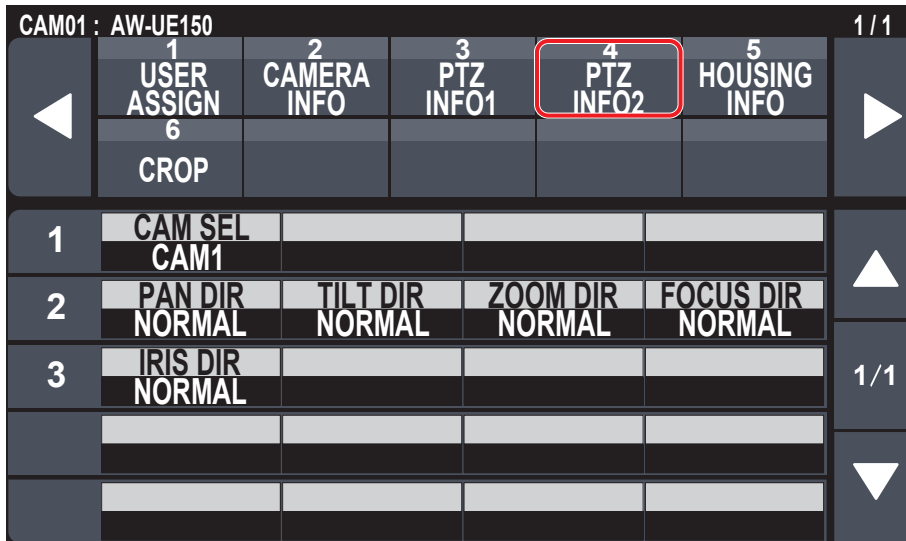


項目	設定内容
SPD WTH Z	ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。 [ON] に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。
Z MIN SPD* <sup>1</sup>	ZOOM ボタンをゆっくり押し込んだときにレンズズームがスムーズに動き始めるように、本機から送信するズーム制御量を補正します。 ZOOM ボタンをゆっくりと押し込み、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。 補正量は [1] で最も少なく、[8] で最も多くなります。 [OFF] にすると補正しない状態になります。
FREEZE	プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。 [ON] に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。
LMT UP	本機から、上限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LMT DOWN	本機から、下限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LMT LEFT	本機から、左限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
LMT RIGHT	本機から、右限方向に対して、リモートカメラのリミッター設定を行うことができます。
P/T CURVE* <sup>1</sup>	PAN/TILT レバーを傾けたときの角度と動作速度の関係の調整を行うことができます。 <div style="text-align: right;"> </div>
FOCUS/IRIS* <sup>1</sup>	FOCUS ダイヤルと IRIS ダイヤルの操作を入れ替えることができます。 <b>EXCHANGE:</b> FOCUS ダイヤルと IRIS ダイヤルの操作を入れ替えます。 [EXCHANGE] に設定すると、オートフォーカスボタン、オートアイリスボタンの操作も入れ替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ワンタッチオートフォーカスボタンは、無効になります。</li> <li>● FOCUS SPEED ダイヤルの操作は無効になります。</li> <li>● [EXCHANGE] に変更した時のスピードに固定されます。</li> </ul> <b>STANDARD:</b> FOCUS ダイヤルと IRIS ダイヤルの操作を元に戻します。
Z/F/I LOCK	FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLE ボタンの FOCUS ダイヤル、ZOOM ボタン、IRIS ダイヤルの操作の有効/無効機能の範囲を設定することができます。 <b>ALL:</b> FOCUS ダイヤル、ZOOM ボタン、IRIS ダイヤルの操作の有効/無効 <b>IRIS ONLY:</b> IRIS ダイヤルのみの操作の有効/無効 (FOCUS ダイヤル、ZOOM ボタンは有効のままとなります)
AF BUTTON	オートフォーカスボタンの ON/OFF の操作について設定します。 <b>SHORT:</b> 短押しで、AUTO FOCUS の ON/OFF を切り替えることができます。 <b>LONG:</b> 長押しで、AUTO FOCUS の ON/OFF を切り替えることができます。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ PTZ INFO2

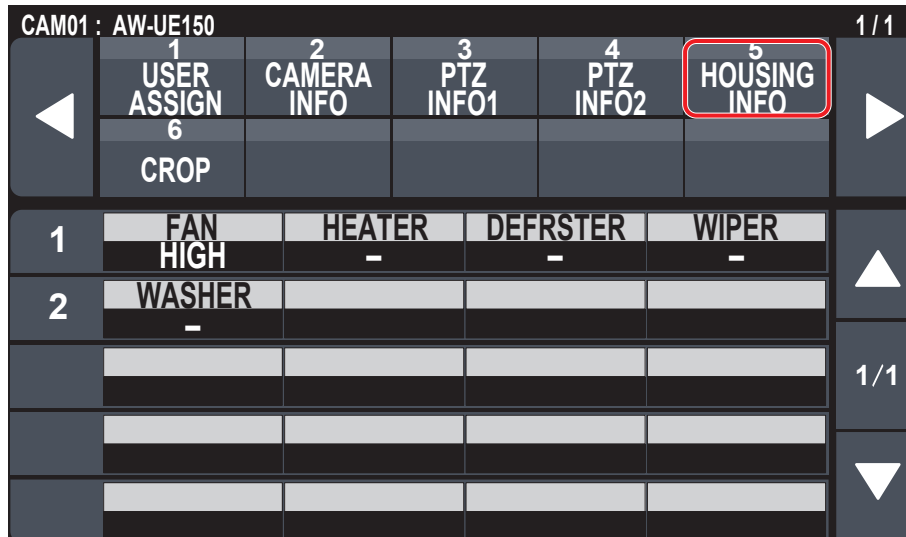
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
CAM SEL	選択したカメラ番号に対して、2行目以降の設定が行えます。
PAN DIR	PAN 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 <b>NORMAL:</b> PAN/TILT レバーを左側に倒すとリモートカメラが左方向に動作し、右側に倒すと右方向に動作します。 <b>REVERSE:</b> NORMAL と逆方向に動作します。
TILT DIR	TILT 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 <b>NORMAL:</b> PAN/TILT レバーを向こう側に倒すとリモートカメラが上方方向に動作し、手前側に倒すと下方方向に動作します。 <b>REVERSE:</b> NORMAL と逆方向に動作します。
ZOOM DIR	ZOOM 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 <b>NORMAL:</b> ZOOM ボタンの TELE 側を押すとズーム動作が望遠側に動作し、WIDE 側を押すと広角側に動作します。 <b>REVERSE:</b> NORMAL と逆方向に動作します。
FOCUS DIR	FOCUS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 <b>NORMAL:</b> FOCUS ダイヤルを右に回すとフォーカス動作が遠距離側に動作し、左に回すと近距離側に動作します。 <b>REVERSE:</b> NORMAL と逆方向に動作します。
IRIS DIR	IRIS 操作に対する、リモートカメラの動作方向を設定します。 <b>NORMAL:</b> IRIS ダイヤルを右に回すと OPEN 方向、左に回すと CLOSE 方向に動作します。 <b>REVERSE:</b> NORMAL と逆方向に動作します。

■ HOUSING INFO

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
FAN	冷却ファンの動作を設定します。
HEATER	ヒーターの動作を設定します。(HEATER機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)
DEFRSTER	霜取り装置の動作を設定します。(DEFRSTER機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)
WIPER	ワイパーの動作を設定します。(WIPER機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です)
WASHER	洗浄液を噴射することにより、レンズ部の洗浄を行います。(WASHER機能を持つ業務用カメラと接続したときに有効な機能です) [ON]を選択すると、洗浄ノズルの位置にカメラヘッドを移動して洗浄液を一定時間噴射し、その後、元の位置に戻ります。洗浄中は、ワイパーも一時的に動作します。

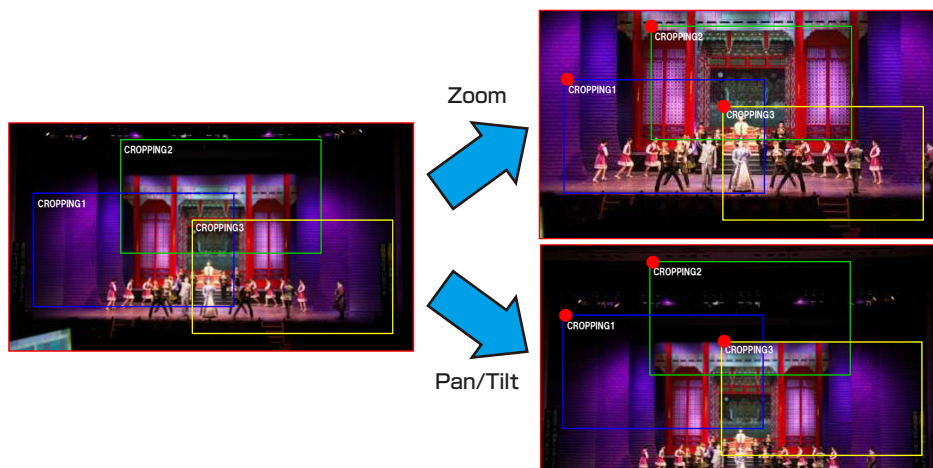


■ CROP

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					1/1
◀	1 USER ASSIGN 6 CROP	2 CAMERA INFO	3 PTZ INFO1	4 PTZ INFO2	5 HOUSING INFO ▶
1	SW OFF	ADJUST YL	H POS 128	V POS 120	▲
2	OUT YL	MARKER YL+G+MG			1/1
					▼

項目	設定内容
SW	UHD (3840 × 2160) の映像から、FHD (1920 × 1080) の映像に切り出しを行う機能 (Crop 機能) の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。
ADJUST	位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。
H POS	[ADJUST] で指定した切り出し枠の、水平方向の位置の設定を行います。 0 が左端、1920 が右端となります。
V POS	[ADJUST] で指定した切り出し枠の、垂直方向の位置の設定を行います。 0 が上端、1080 が下端となります。
OUT	3G SDI OUT 端子および IP に出力する映像の切り出し枠の設定を行います。
MARKER	MONI OUT 端子に出力する映像に表示する切り出し枠の設定を行います。

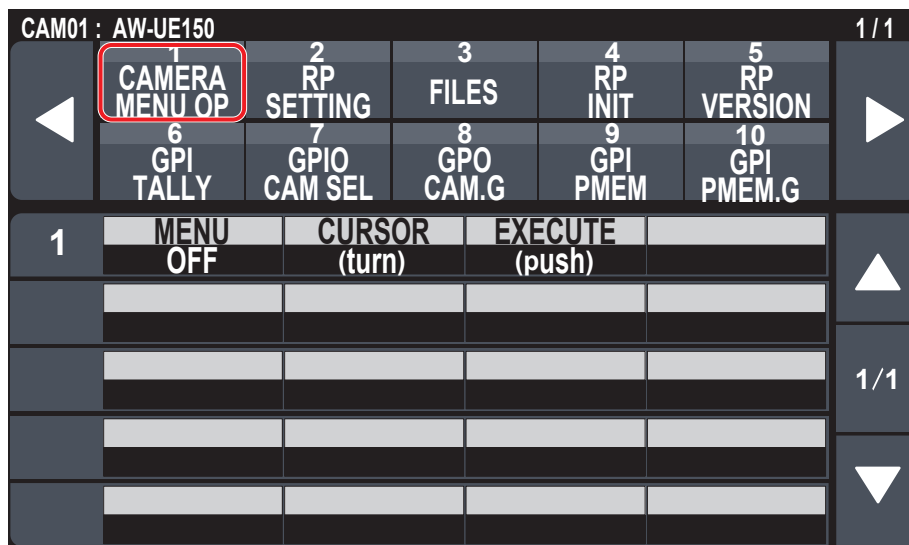


MAINTENANCE

⇒「CAMERA MENU OP」 (58ページ)
⇒「RP SETTING」 (59ページ)
⇒「FILES」 (61ページ)
⇒「RP INIT」 (62ページ)
⇒「RP VERSION」 (62ページ)
⇒「GPI TALLY」 (63ページ)
⇒「GPIO CAM SEL」 (65ページ)
⇒「GPO CAM.G」 (68ページ)
⇒「GPI PMEM」 (69ページ)
⇒「GPI PMEM.G」 (71ページ)

■ CAMERA MENU OP

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



— は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MENU	OFF ON	メニューのON/OFFを行います。
CURSOR	-	メニューのカーソル移動もしくは設定値変更の操作を行います。
EXECUTE	-	選択された処理を決定します。

■ RP SETTING

● 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					1/1
1	CAMERA MENU OP	2 RP SETTING	3 FILES	4 RP INIT	5 RP VERSION
6	GPI TALLY	7 GPIO CAM SEL	8 GPO CAM.G	9 GPI PMEM	10 GPI PMEM.G
1	A.KNOB1 GAIN	A.KNOB2 SHTER SPD	A.KNOB3 SCENE	A.KNOB4 COLOR TMP	
2	Z/F RCKR ZOOM	ROCKER MD ENABLE		START MD STATUS	
3	GPIO MD MODE1				1/1
4	LCD BRI 10	LED BRI 3		BUZZER ON	
5	DATA SAVE NO?	DATA LOAD NO?	CARD FRMT NO?		

\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
A.KNOB1* <sup>1</sup>	GAIN SHTER SPD SCENE G PED COLOR TMP B.GAMMA M.DTL DC M.DTL	ステータス画面において、F1 ~ F4 ダイアルに割り当てる機能を設定します。 <b>GAIN:</b> GAINの設定が行えます。 <b>SHTER SPD:</b> シャッタースピードの設定が行えます。 カメラのシャッタースピードの設定に応じて、ステップシャッター (段階可変) かシンクロシャッター (連続可変) の設定になります。 <b>SCENE:</b> シーンの切り替えが行えます。
A.KNOB2* <sup>1</sup>	GAIN SHTER SPD SCENE G PED COLOR TMP B.GAMMA M.DTL DC M.DTL	<b>G PED:</b> G PEDの設定が行えます。 <b>COLOR TMP:</b> COLOR TMPの設定が行えます。 <b>B.GAMMA:</b> BLACK GAMMAの設定が行えます。 <b>M.DTL:</b> DTLメニューのM.DTL項目の設定が行えます。
A.KNOB3* <sup>1</sup>	GAIN SHTER SPD SCENE G PED COLOR TMP B.GAMMA M.DTL DC M.DTL	<b>DC M.DTL:</b> DC DTLメニューのM.DTL項目の設定が行えます。
A.KNOB4* <sup>1</sup>	GAIN SHTER SPD SCENE G PED COLOR TMP B.GAMMA M.DTL DC M.DTL	
Z/F RCKR* <sup>1</sup>	ZOOM FOCUS	PAN/TILT レバーにある、ZOOM/FOCUS ロッカーに対して、ZOOMかFOCUSかの割り当てが行えます。
ROCKER MD* <sup>1</sup>	ENABLE DISABLE	PAN/TILT レバーにある、ZOOM/FOCUS ロッカーに割り当てた機能の有効 (ENABLE) / 無効 (DISABLE) の設定が行えます。

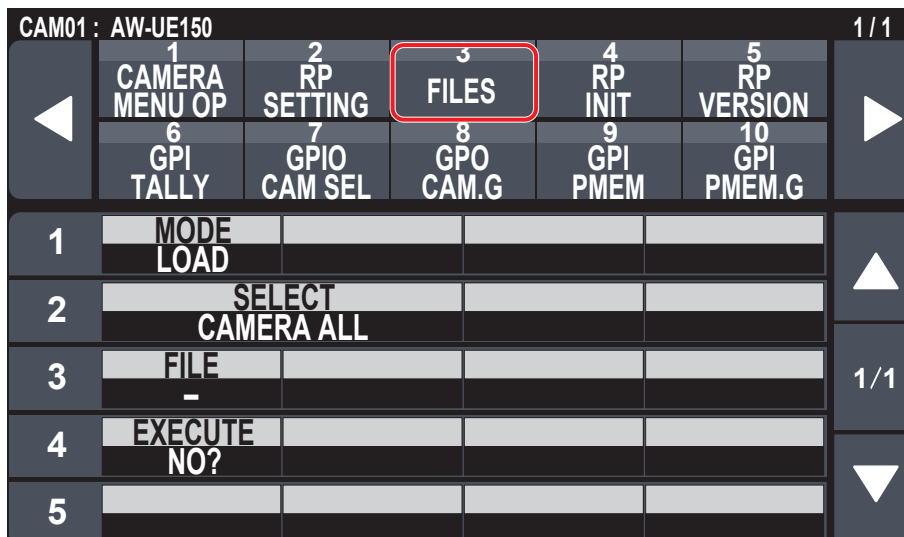
\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

項目	設定値	設定内容
START MD* <sup>1</sup>	STATUS PMEM	起動時に、LCDパネルに表示する初期画面を設定します。 <b>STATUS:</b> ステータス画面を表示します。 <b>PMEM:</b> PMEM/TMEMメニュー画面 (PMEM LIST) を表示します。
GPIO MD* <sup>1</sup>	MODE1 MODE2	DSUB1 と DSUB2 の制御を選択することができます。 詳しくは、「 <b>GPIO MODE : MODE1</b> 」(100ページ) ~ 「 <b>GPIO MODE : MODE2</b> 」(101ページ) を参照してください。
LCD BRI* <sup>1</sup>	1 ~ 10	LCDパネルの輝度を設定します。
LED BRI	1 ~ 15	操作パネルのボタンの輝度を設定します。
BUZZER* <sup>1</sup>	OFF ON	ブザー音 (操作音) の有効 (on) / 無効 (off) を設定します。
DATA SAVE	NO? YES?	本機の設定情報を保存します。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
DATA LOAD	NO? YES? YES(+NW)?	本機の設定情報を読み込みます。 「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。 F1ダイヤルを回してファイルを選択し、F1ダイヤルを押して読み込みます。 <b>YES?:</b> ネットワーク設定関係を含まない設定値のみを読み込みます。 <b>YES(+NW)?:</b> ネットワーク設定関係を含んだ設定値を読み込みます。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
CARD FRMT	NO? YES?	メモリーカードの初期化を行います。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ FILES

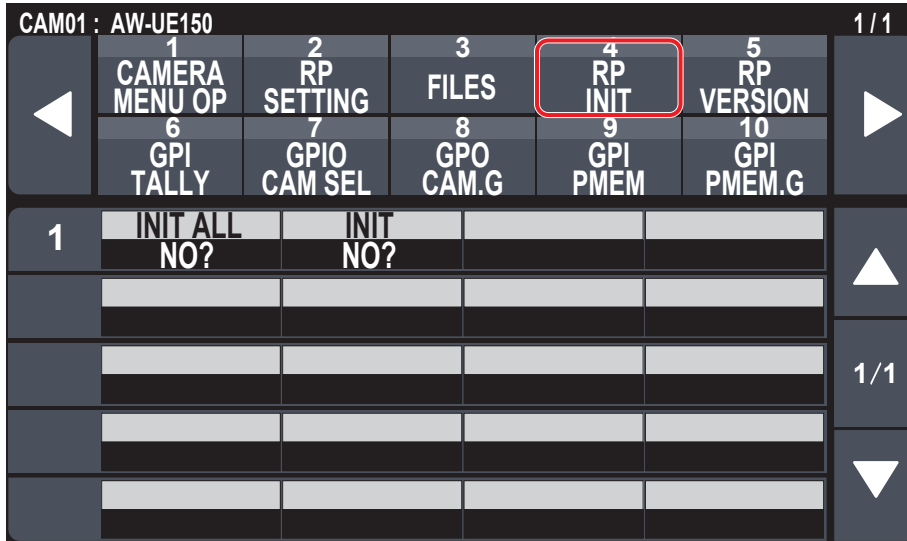
- 設定値は接続したカメラによって異なります。



項目	設定内容
MODE	<p>接続しているカメラの設定データをメモリーカードに保存 (STORE) するか、メモリーカードから読み込む (LOAD) かを選択します。</p> <p>メモリーカードをフォーマットする場合には、「FORMAT」を選択します。</p> <p><b>[MODE] が [LOAD] のとき</b>                      [SELECT] : CAMERA ALL、SCENE                      [FILE] : SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4                      ただし、[SELECT] で SCENE が選択されている場合のみ有効です。</p> <p><b>[MODE] が [STORE] のとき</b>                      [SELECT] : CAMERA ALL、SCENE                      [FILE] : SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4                      ただし、[SELECT] で SCENE が選択されている場合のみ有効です。</p> <p><b>[MODE] が [FORMAT] のとき</b>                      [SELECT] : ---                      [FILE] : ---</p>
SELECT	「CAMERA ALL」 (カメラの設定) または、「SCENE」 (SCENE データ) を選択します。
FILE	<p><b>[MODE] が [STORE] のとき</b>                      保存するデータを SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4 から選択します。                      ただし、[SELECT] で SCENE が選択されている場合のみ有効です。</p> <p><b>[MODE] が [LOAD] のとき</b>                      読み込むデータを SCENE1、SCENE2、SCENE3、SCENE4 から選択します。                      ただし、[SELECT] で SCENE が選択されている場合のみ有効です。</p>
EXECUTE	<p><b>[MODE] が [LOAD] のとき</b>                      ファイルを読み出します。                      「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。                      F1 ダイアルを回してファイルを選択し、F1 ダイアルを押して読み込みます。</p> <p><b>[MODE] が [STORE] のとき</b>                      ファイルを保存します。</p> <p><b>[MODE] が [FORMAT] のとき</b>                      メモリーカードの初期化を行います。</p>

■ RP INIT

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

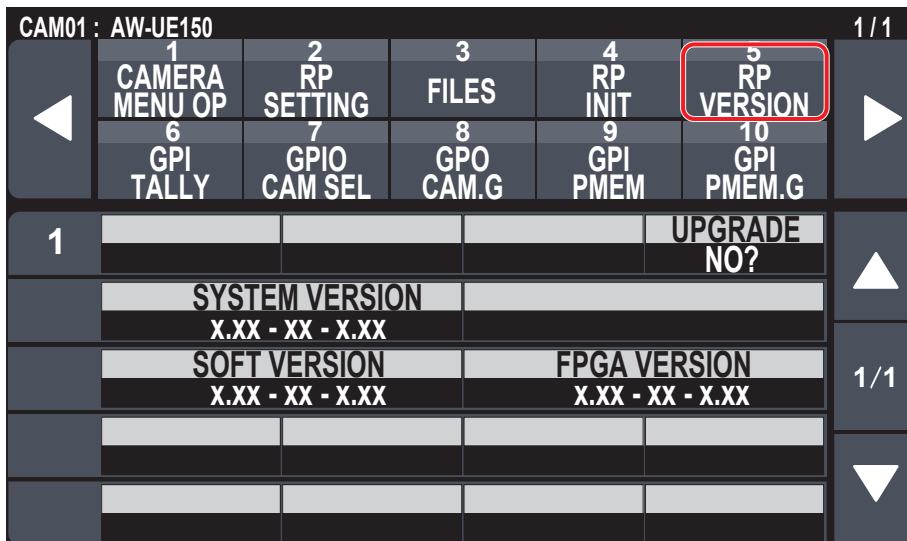


\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
INIT ALL	NO? YES?	ネットワークの設定を含む、本機で管理している設定を、すべて工場出荷状態に戻します。
INIT	NO? YES?	ネットワークの設定を除く、本機で管理している設定を、すべて工場出荷状態に戻します。

■ RP VERSION

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

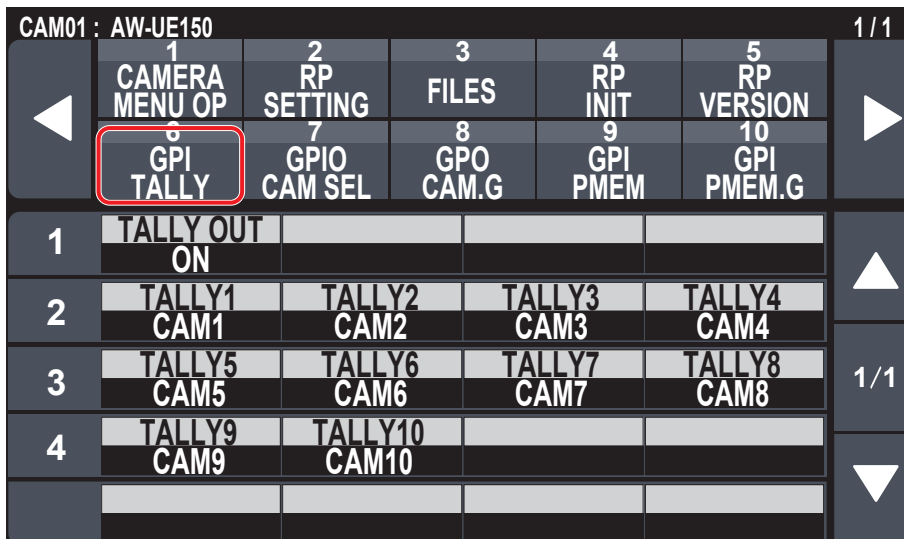


\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
UPGRADE	NO? YES?	本機のソフトウェアをアップデートします。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
SYSTEM VERSION	-	本機システムのバージョンを表示します。
SOFT VERSION	-	ソフトウェアのバージョンを表示します。
FPGA VERSION	-	FPGAのバージョンを表示します。

■ GPI TALLY

● 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
TALLY OUT* <sup>1</sup>	OFF ON	TALLY/GPIO 1 端子のポートに TALLY が入力された場合に、カメラ側に TALLY 通知を行うかを設定します。 ON: 通知する OFF: 通知しない
TALLY1* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_1 もしくは、G_TALLY_1 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY2* <sup>1</sup>	CAM1 CAM2 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_2 もしくは、G_TALLY_2 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY3* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM3 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_3 もしくは、G_TALLY_3 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY4* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM4 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_4 もしくは、G_TALLY_4 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY5* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM5 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_5 もしくは、G_TALLY_5 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY6* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM6 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_6 もしくは、G_TALLY_6 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。
TALLY7* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM7 : CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートの R_TALLY_7 もしくは、G_TALLY_7 に入力があった場合に、TALLY を通知するカメラを選択します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

項目	設定値	設定内容
TALLY8* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM8</u> ⋮ CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートのR_TALLY_8もしくは、G_TALLY_8に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。
TALLY9* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM9</u> ⋮ CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートのR_TALLY_9もしくは、G_TALLY_9に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。
TALLY10* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM10</u> ⋮ CAM200	TALLY/GPIO 1 端子のポートのR_TALLY_10もしくは、G_TALLY_10に入力があった場合に、TALLYを通知するカメラを選択します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

**NOTE**

TALLYの通知は、現在選択されているカメラグループに該当するカメラが存在する場合に通知します。  
現在選択されていないCAMERAグループに対するTALLYの入力があっても、カメラには通知されません。



■ GPIO CAM SEL

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150					1/1
1	CAMERA MENU OP	2 RP SETTING	3 FILES	4 RP INIT	5 RP VERSION
6	GPI TALLY	7 GPIO CAM SEL	8 GPO CAM.G	9 GPI PMEM	10 GPI PMEM.G
1	IN1 CAM1	IN2 CAM2	IN3 CAM3	IN4 CAM4	
2	IN5 CAM5	IN6 CAM6	IN7 CAM7	IN8 CAM8	
3	IN9 CAM9	IN10 CAM10			1/2
4	OUT1 CAM1	OUT2 CAM2	OUT3 CAM3	OUT4 CAM4	
5	OUT5 CAM5	OUT6 CAM6	OUT7 CAM7	OUT8 CAM8	

CAM01 : AW-UE150					1/1
1	CAMERA MENU OP	2 RP SETTING	3 FILES	4 RP INIT	5 RP VERSION
6	GPI TALLY	7 GPIO CAM SEL	8 GPO CAM.G	9 GPI PMEM	10 GPI PMEM.G
6	OUT9 CAM9	OUT10 CAM10			
					2/2

\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
IN1*1	CAM1 ∴ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN1 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN2*1	CAM1 CAM2 ∴ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN2 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN3*1	CAM1 ∴ CAM3 ∴ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN3 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN4*1	CAM1 ∴ CAM4 ∴ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN4 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN5*1	CAM1 ∴ CAM5 ∴ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN5 入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

メニュー (つづき)

項目	設定値	設定内容
IN6* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM6</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN6入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN7* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM7</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN7入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN8* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM8</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN8入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN9* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM9</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN9入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
IN10* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM10</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_IN10入力があった場合に、切り替えるカメラを選択します。
OUT1* <sup>1</sup>	<u>CAM1</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT1に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT2* <sup>1</sup>	CAM1 <u>CAM2</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT2に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT3* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM3</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT3に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT4* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM4</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT4に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT5* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM5</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT5に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT6* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM6</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT6に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT7* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ <u>CAM7</u> ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT7に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

項目	設定値	設定内容
OUT8*1	CAM1 ⋮ CAM8 ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT8に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT9*1	CAM1 ⋮ CAM9 ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT9に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。
OUT10*1	CAM1 ⋮ CAM10 ⋮ CAM200	GPIO 2端子のポートのCAMERA_SELECT_OUT10に対して、設定されたカメラが選択されたときに通知されます。

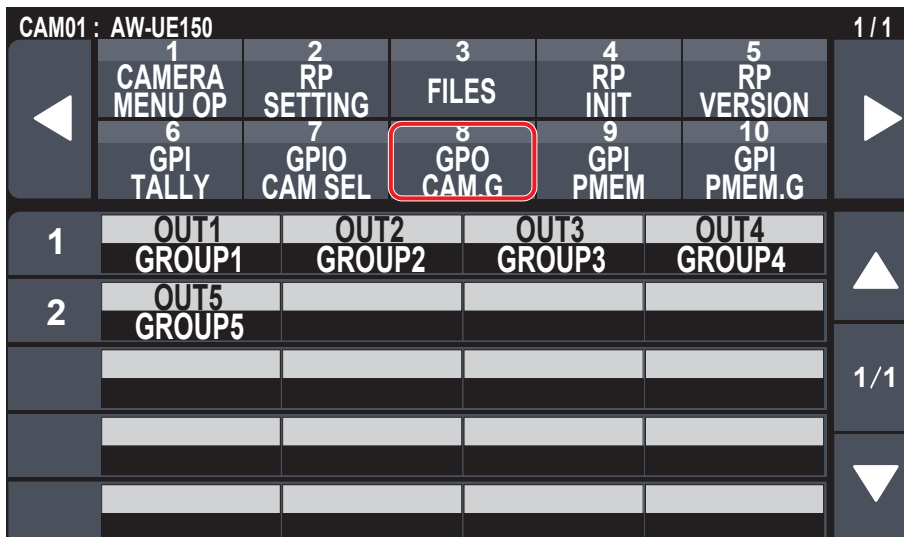
\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

**NOTE**

- GPIO 2端子のポートのCAMERA\_SELECT\_INに対する動作において、現在選択中のCAMERAグループ以外のCAMERA番号が指定されたときには、CAMERAグループ切り替えが発生します。この場合、CAMERAの選択に時間がかかります。
- GPIO 2端子のポートのCAMERA\_SELECT\_OUTに対する動作は、現在選択中のカメラグループに該当するカメラ番号に対しての動作となります。

■ GPO CAM.G

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



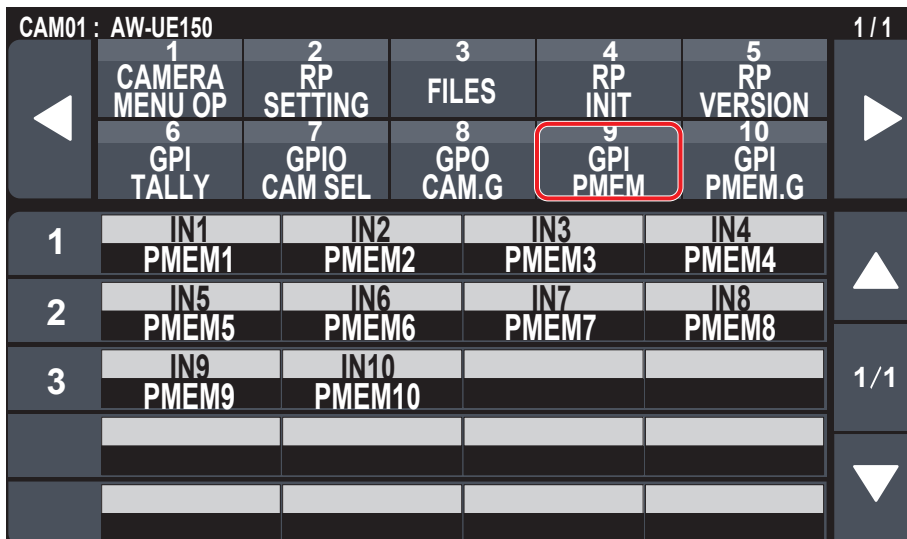
\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
OUT1*1	GROUP1 ∴ GROUP20	TALLY/GPIO 1 端子において、設定した CAMERA グループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_1 に出力します。
OUT2*1	GROUP1 GROUP2 ∴ GROUP20	TALLY/GPIO 1 端子において、設定した CAMERA グループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_2 に出力します。
OUT3*1	GROUP1 ∴ GROUP3 ∴ GROUP20	TALLY/GPIO 1 端子において、設定した CAMERA グループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_3 に出力します。
OUT4*1	GROUP1 ∴ GROUP4 ∴ GROUP20	TALLY/GPIO 1 端子において、設定した CAMERA グループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_4 に出力します。
OUT5*1	GROUP1 ∴ GROUP5 ∴ GROUP20	TALLY/GPIO 1 端子において、設定した CAMERA グループへの切り替えが発生したときに、GROUP_SELECT_OUT_5 に出力します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ GPI PMEM

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
IN1*1	PMEM1 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN1が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN2*1	PMEM1 PMEM2 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN2が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN3*1	PMEM1 ∴ PMEM3 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN3が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN4*1	PMEM1 ∴ PMEM4 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN4が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN5*1	PMEM1 ∴ PMEM5 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN5が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN6*1	PMEM1 ∴ PMEM6 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN6が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN7*1	PMEM1 ∴ PMEM7 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN7が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN8*1	PMEM1 ∴ PMEM8 ∴ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN8が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVEでメモリーカードに保存される項目です。

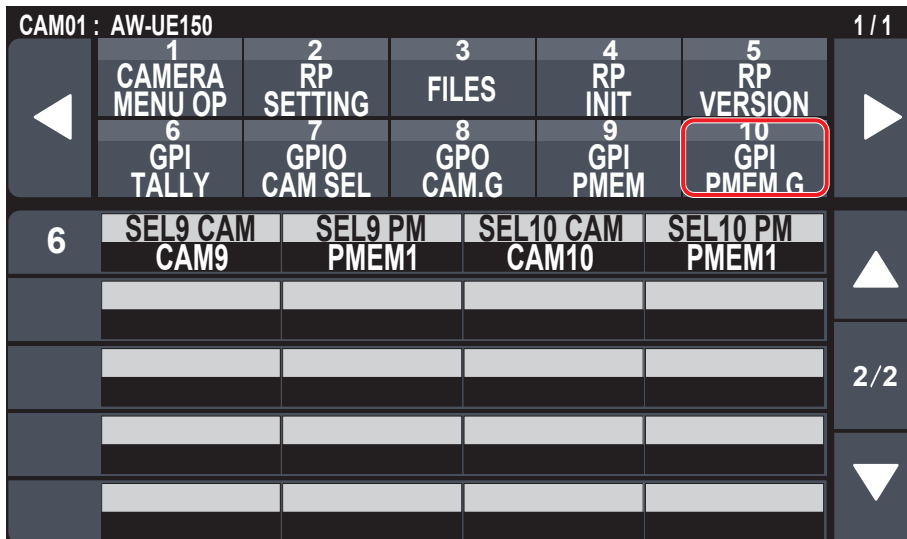
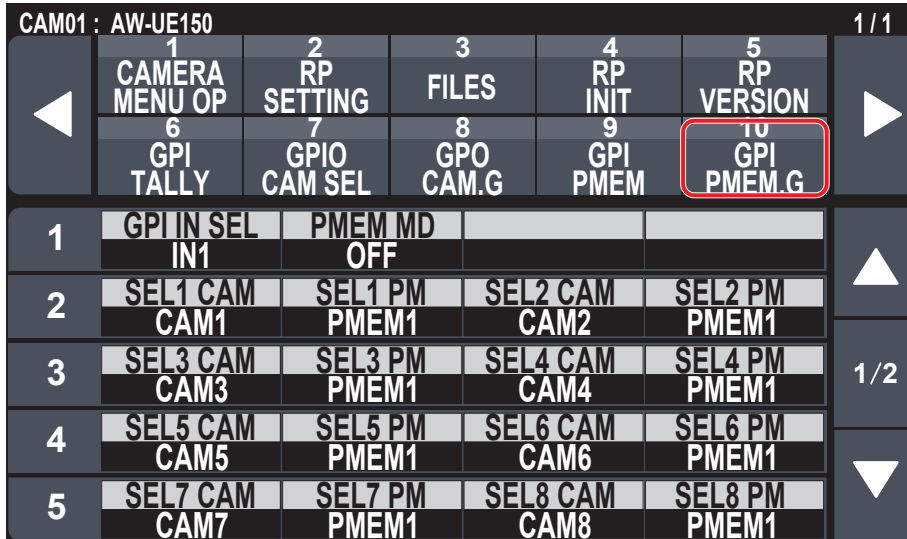
メニュー (つづき)

項目	設定値	設定内容
IN9* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM9 ⋮ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN9が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。
IN10* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM10 ⋮ PMEM100	GPIO 2端子において、PRESET_SELECT_IN10が入力されたときに設定したPRESET番号の再生を行います。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ GPI PMEM.G

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
GPI IN SEL* <sup>1</sup>	IN1 : IN4	TALLY/GPIO 1 端子の PRESET_MEM_GROUP_IN1 ~ 4 への各入力に対して、最大で 10 台のカメラの PRESET 再生を指示できるようにします。
PMEM MD* <sup>1</sup>	OFF SEPARATE ALL	TALLY/GPIO 1 端子の PRESET_MEM_GROUP_IN1 ~ 4 への各入力に対して、動作モードを設定します。 <b>OFF :</b> PRESET_MEM_GROUP_IN1 ~ 4 に入力があってもプリセットの再生は行いません。 <b>SEPARATE:</b> PRESET_MEM_GROUP_IN1 ~ 4 に入力があった場合に、以降の SEL 1 ~ SEL 10 までの設定に従って、プリセットの再生指示を行います。 <b>ALL:</b> PRESET_MEM_GROUP_IN1 に入力があったときに、接続しているすべてのカメラに対して、SEL 1 PM で設定されたプリセット番号の再生指示を行います。
SEL 1 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 : CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL 1 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 : PMEM100	SEL 1 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。ただし、[PMEM MD] が [ALL] のときには、接続しているすべてのカメラに再生指示するための PRESET 番号を設定します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

項目	設定値	設定内容
SEL2 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 CAM2 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL2 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL2 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL3 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM3 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL3 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL3 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL4 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM4 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL4 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL4 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL5 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM5 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL5 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL5 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL6 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM6 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL6 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL6 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL7 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM7 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL7 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL7 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL8 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM8 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL8 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL8 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL9 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM9 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。



メニュー (つづき)

項目	設定値	設定内容
SEL9 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL9 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。
SEL10 CAM* <sup>1</sup>	CAM1 ⋮ CAM10 ⋮ CAM200	再生するカメラ番号を選択します。
SEL10 PM* <sup>1</sup>	PMEM1 ⋮ PMEM100	SEL10 CAM で選択されたカメラに対して、プリセット再生番号の割当を行います。

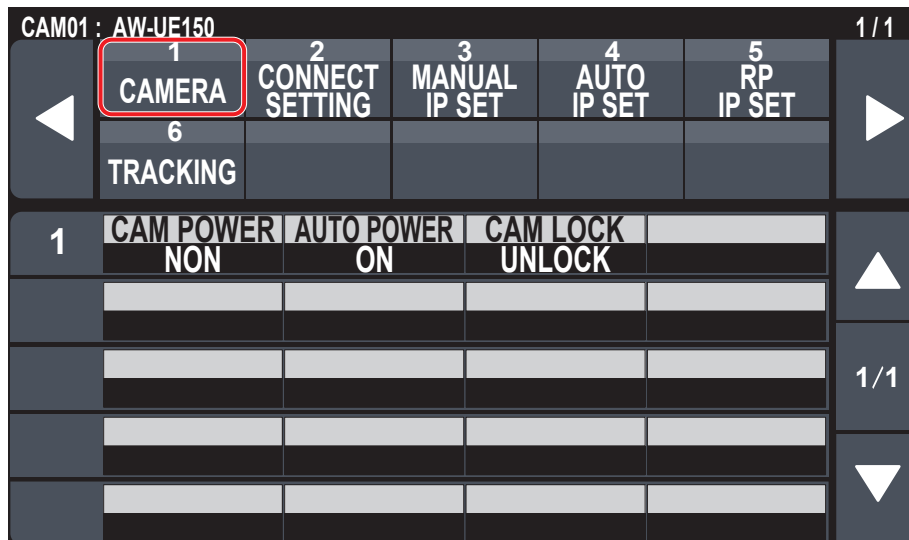
\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

**SYSTEM**

⇒「CAMERA」 (74ページ)
⇒「CONNECT SETTING」 (75ページ)
⇒「MANUAL IP SET」 (76ページ)
⇒「AUTO IP SET」 (77ページ)
⇒「RP IP SET」 (78ページ)
⇒「TRACKING」 (79ページ)

■ CAMERA

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



— は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
CAM POWER	NON GRP OFF GRP ON ALL OFF ALL ON	接続しているリモートカメラに対する、電源のON/OFF指示を行います。 <b>NON:</b> 電源のON/OFFの指示を行いません。 <b>GRP OFF:</b> 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源OFF (スタンバイ) の指示を行います。 <b>GRP ON:</b> 選択中のカメラグループに属するリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。 <b>ALL OFF:</b> 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源OFF (スタンバイ) の指示を行います。 <b>ALL ON:</b> 本機に設定されているリモートカメラに対して、電源ONの指示を行います。 ● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。
AUTO POWER*1	OFF ON	本機の電源 (ON) と連動して、本機に設定されている、リモートカメラの電源が入ります。 ● 接続されているリモートカメラの台数によって、本機の操作が有効になるまでの時間を要することがあります。
CAM LOCK	UNLOCK LOCK	本機能は、AW-UE150とLAN接続しているときに有効な機能です。 「LOCK」を選択すると、本機と現在選択中のリモートカメラの制御を、他のAW-RP150から制御できないようにします。LOCK中は、LOCKを実行したAW-RP150からのみ現在選択中のリモートカメラを制御できます。 なお、LOCK中に他のリモートカメラに切り替えた場合、カメラ選択前のリモートカメラとのLOCKは保持されますが、選択後のリモートカメラとのLOCKはされません。 LOCK中は、LCDパネルのTOPのカメラ名称表示の隣に鍵マークが表示されます。 「UNLOCK」を選択すると、LOCKが解除されて鍵マークが消えます。 <b>緑の鍵マーク:</b> 本機でLOCKが実行されたことを意味します。 <b>赤の鍵マーク:</b> 他のAW-RP150でLOCKされていることを意味します。この場合は操作が行えません。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ CONNECT SETTING

● 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UE150						1/1
◀	1 CAMERA	2 CONNECT SETTING	3 MANUAL IP SET	4 AUTO IP SET	5 RP IP SET	▶
	6 TRACKING					
1	CAM SEL	CNNCT MD	DATA SAVE	DATA LOAD		▲
	1	Serial	NO?	NO?		
2	CAM1	CAM2	CAM3	CAM4		
	Serial	NON	NON	NON		
3	CAM5	CAM6	CAM7	CAM8		1/11
	NON	NON	NON	NON		
4	CAM9	CAM10	CAM11	CAM12		
	NON	NON	NON	NON		
5	CAM13	CAM14	CAM15	CAM16		▼
	NON	NON	NON	NON		

CAM01 : AW-UE150						1/1
◀	1 CAMERA	2 CONNECT SETTING	3 MANUAL IP SET	4 AUTO IP SET	5 RP IP SET	▶
	6 TRACKING					
46	CAM177	CAM178	CAM179	CAM180		▲
	NON	NON	NON	NON		
47	CAM181	CAM182	CAM183	CAM184		
	NON	NON	NON	NON		
48	CAM185	CAM186	CAM187	CAM188		10/11
	NON	NON	NON	NON		
49	CAM189	CAM190	CAM191	CAM192		
	NON	NON	NON	NON		
50	CAM193	CAM194	CAM195	CAM196		▼
	NON	NON	NON	NON		

— は、工場出荷時の設定です。

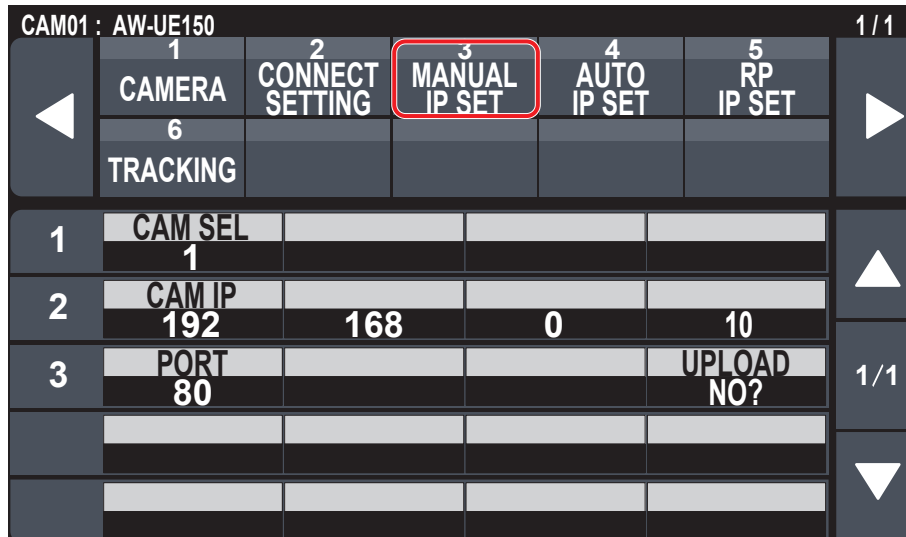
項目	設定値	設定内容
CAM SEL	1 : 200	設定変更するカメラ管理番号を選択します。 選択したカメラ管理番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。
CNNCT MD	Serial LAN	カメラの接続方式を選択します。
DATA SAVE	NO? YES?	本機の設定情報を保存します。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
DATA LOAD	NO? YES?	メモリーカードに保存されている接続設定のファイルを読み込みます。 「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。 F1 ダイアルを回してファイルを選択し、F1 ダイアルを押して読み込みます。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
CAM1*1.*2	NON Serial LAN	カメラ1～カメラ200の接続方式を表示します。
CAM2*1.*2	NON	
⋮	Serial	
CAM200*1.*2	LAN	

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVEでメモリーカードに保存される項目です。

\*2 : SYSTEM > CONNECT SETTING > DATA SAVEでメモリーカードに保存される項目です。

■ MANUAL IP SET

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

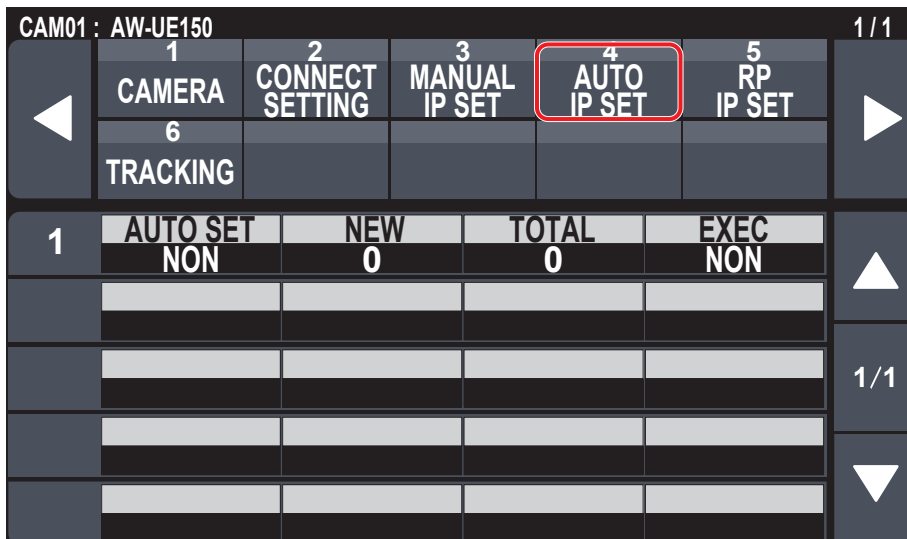
項目	設定値	設定内容
CAM SEL *1, *2	1 : 200	設定変更するカメラ管理番号を選択します。 以下の範囲で設定できます。 1 ~ 200 選択したカメラ管理番号のネットワーク設定が、以降の画面に表示されます。
CAM IP *1, *2		カメラのIPアドレスを設定します。 以下の範囲で設定できます。 (工場出荷時：CAM1を192.168.0.10とし、順に割り振っています。)
PORT *1, *2	1 : 80 : 65535	カメラのポート番号を設定します。
UPLOAD	NO? YES?	F4ダイヤルを回して「YES?」を選択し、F4ダイヤルを押すとカメラのIPアドレス、ポート番号が設定されます。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD]を実行しないと反映されません。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVEでメモリーカードに保存される項目です。

\*2 : SYSTEM > CONNECT SETTING > DATA SAVEでメモリーカードに保存される項目です。

■ AUTO IP SET

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

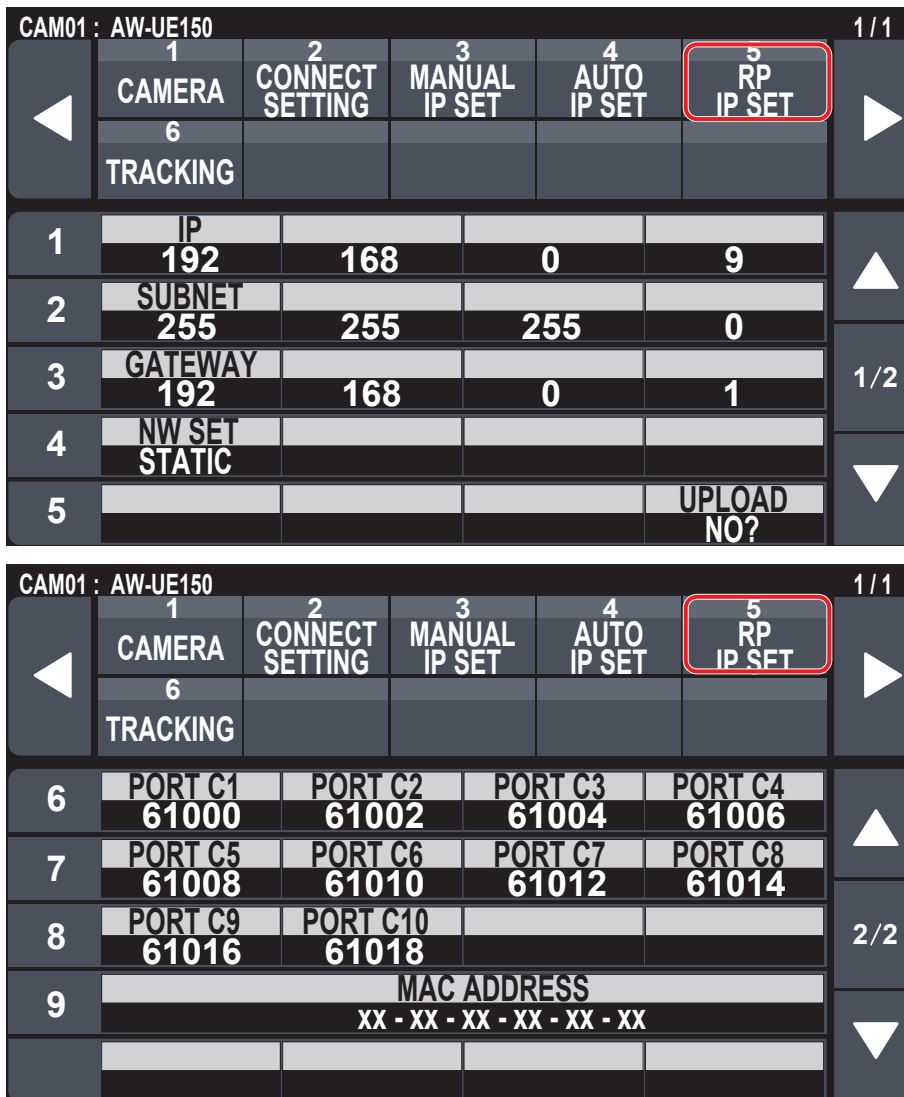


\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
AUTO SET	NON RENEW KEEP	<p><b>NON:</b> リモートカメラを検索しません。</p> <p><b>RENEW:</b> 本機は、まず同一サブネット内を検索します。その後、検出した各リモートカメラを順にカメラ番号に割り当てます。 このとき、各リモートカメラのIPアドレスを、本機の各カメラ番号に対して設定されていた接続先IPアドレスの値に書き替えます。</p> <p><b>KEEP:</b> 本機は、まず同一サブネット内を検索します。 その後、新たに検出したリモートカメラと、本機で接続種別が「NON」に設定されていたカメラ番号とをリンク設定します。 このとき、リモートカメラに設定されているIPアドレスがそのまま保持され、本機に設定されている接続先IPアドレスを書き替えます。</p>
NEW		新しく検出されたカメラの台数を表示します。
TOTAL		現在本機が管理している台数+新規に検出された台数を表示します。
EXEC	NON RETRY SETTING	<p><b>NON:</b> IPアドレスの設定操作を行いません。</p> <p><b>RETRY:</b> 再度、[RENEW]もしくは[KEEP]の処理を実行します。</p> <p><b>SETTING:</b> [RENEW]もしくは[KEEP]の結果を反映します。 [RENEW]の場合、カメラ側のIPもこのタイミングで変更されます。</p> <p>● 詳しくは、「自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定)」(34ページ)を参照してください。</p>

■ RP IP SET

● 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
IP* <sup>1</sup>	192.168.0.9	本機のIPアドレスを設定します。 ● NW SETの設定がDHCPの場合は、無効です。
SUBNET* <sup>1</sup>	255.255.255.0	本機のサブネットマスクを設定します。
GATEWAY* <sup>1</sup>	192.168.0.1	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。
NW SET* <sup>1</sup>	STATIC DHCP	本機のIPアドレスの設定を、DHCPサーバーから取得 [DHCP] するか、手動 [STATIC] で設定するかを選択します。
UPLOAD* <sup>1</sup>	NO? YES?	F4ダイヤルを回して「YES?」を選択し、F4ダイヤルを押すとカメラのIPアドレス、ポート番号が設定されます。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD] を実行しないと反映されません。
PORT C1* <sup>1</sup>	61000	カメラ選択ボタンごとに、受信用のポート番号を割り当てることができます。
PORT C2* <sup>1</sup>	61002	
PORT C3* <sup>1</sup>	61004	
PORT C4* <sup>1</sup>	61006	
PORT C5* <sup>1</sup>	61008	
PORT C6* <sup>1</sup>	61010	
PORT C7* <sup>1</sup>	61012	
PORT C8* <sup>1</sup>	61014	
PORT C9* <sup>1</sup>	61016	
PORT C10* <sup>1</sup>	61018	
MAC ADDRESS	-	本機のMACアドレスが表示されます。(表示のみ)

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ TRACKING

- 設定値は接続したカメラによって異なります。

CAM01 : AW-UJ150					1/1				
1	CAMERA	2	CONNECT SETTING	3	MANUAL IP SET	4	AUTO IP SET	5	RP IP SET
	6	TRACKING							
1	TR CONT	NON							
2	TR IP	192	168	0	210				
3	PORT	1337			UPLOAD		NO?		

\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
TR CONT* <sup>1</sup>	NON LAN	「LAN」を選択することで、自動追尾ソフトと接続が可能になります。
TR IP* <sup>1</sup>	192.168.0.210	自動追尾ソフトウェアのIPアドレスを設定します。
PORT* <sup>1</sup>	1 : 1337 : 65535	自動追尾ソフトウェアのポート番号を設定します。
UPLOAD	NO? YES?	自動追尾ソフトウェアとの接続設定を保持します。 ● 設定変更したときには、[UPLOAD]を実行しないと反映されません。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

PMEM/TMEM

■プリセットメモリー (PMEM) を操作する

本機から、リモートカメラのプリセットメモリーを操作することができます。  
 プリセットメモリーには、事前に調整しておいた下記設定を登録することができます。

- パン/チルト位置
- ズーム位置
- フォーカス位置
- レンズ絞り (マニュアルアイリスのみ)
- ホワイトバランス設定
- ゲイン

NOTE

- プリセットメモリーを登録できる数は、リモートカメラによって異なります。  
 詳しくは、該当機種の取扱説明書を確認してください。
- プリセットメモリーとトレーシングメモリーの動作開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番を共有しています。  
 先に [PMEM STORE] でプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。

■トレーシングメモリー (TMEM) を操作する

本機には、接続しているリモートカメラに対して行った一連の操作を記録するトレーシングメモリー (TMEM) を内蔵しています。  
 リモートカメラが動作した軌跡を再現することができます。

<トレーシングメモリー>

記録対象	カメラ番号CAM1～CAM10
記録可能な機能	パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、 ホワイトバランスモード
記録時間	最大5分/各カメラ
記録メモリー数	最大10個/各カメラ

NOTE

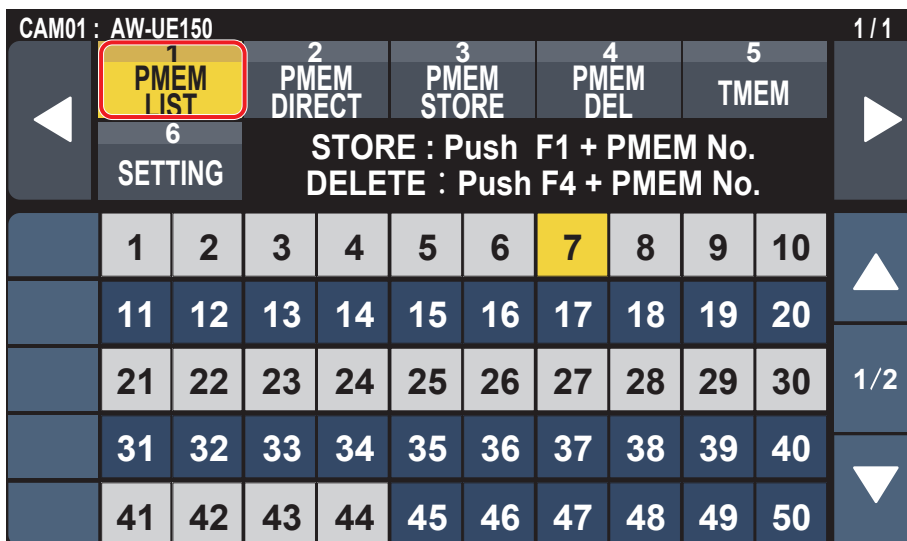
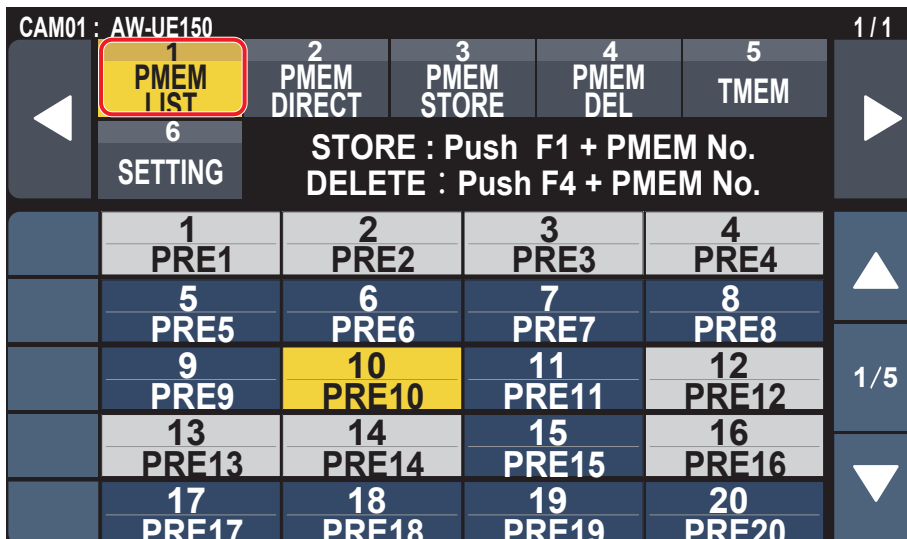
- トレーシングメモリーの動作開始位置は、プリセットメモリーと共有しています。  
 従って、トレーシングメモリーの1番～10番の開始位置は、カメラのプリセットメモリーの1番～10番に記憶されます。  
 先に [PMEM STORE] でプリセットメモリーの登録が実施されている場合に、トレーシングメモリーの登録が行われると上書きされますのでご注意ください。  
 なお、トレーシングメモリーを登録した後に、[PMEM STORE] でプリセットメモリーの登録を実施すると、トレーシングメモリーの開始位置は、[PMEM STORE] でプリセットメモリーとして登録された位置に置き換わります。
- リモートカメラの動きの誤差により、トレーシングメモリー再生時の最終点が、記録時と合わないことがあります。  
 以下のような注意をすることで誤差を軽減することができます。
  - ・レンズのズームをWIDE側 (広角側) で使う
  - ・パン・チルト、ズーム、フォーカスをゆっくり動かす
  - ・記録時間を短くする
 トレーシングメモリーの再生を数回実行し、リモートカメラの動作を十分確認したうえで、運用を開始してください。

⇒「PMEM LIST」 (81 ページ)
⇒「PMEM DIRECT」 (82 ページ)
⇒「PMEM STORE」 (83 ページ)
⇒「PMEM DEL」 (84 ページ)
⇒「TMEM」 (85 ページ)
⇒「SETTING」 (86 ページ)



■ PMEM LIST

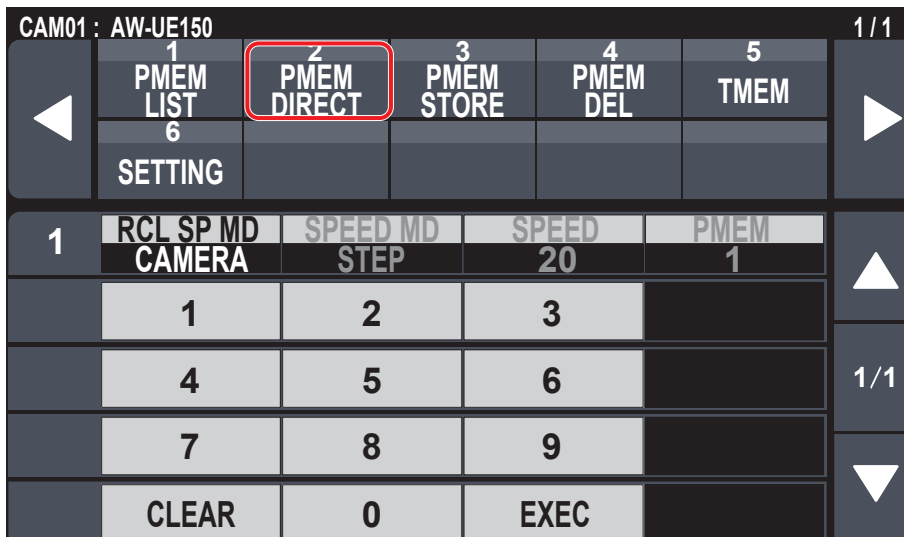
- 選択中のリモートカメラのプリセットメモリの登録状態の確認と、プリセット番号を選択するとプリセットメモリの操作が行えます。



項目	設定値	設定内容
1 : 100 (プリセットの番号を意味します。)	PRE1 : PRE100 (20個表示モードの場合のみ表示されま す。)	<p>選択しているリモートカメラのプリセットメモリの登録状態を表示します。</p> <p>表示するモードは2種類あり、1ページ20個表示できるモードと、50個表示できるモードがあります。20個表示できるモードでは、プリセットメモリの名称も表示されます。</p> <p>表示モードは、[PMEM/TMEM] ボタン&gt; [SETTING]&gt; [LIST ITEM] で変更できます。</p> <p>グレー表示は、現在登録済みの状態を表します。</p> <p>黄色で点灯しているプリセットメモリの番号は、現在選択されているプリセットメモリーです。</p> <p>番号をタッチすると、プリセットメモリーが実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● F1ダイヤルを押した状態でプリセット番号をタッチすると、プリセットメモリーの登録が行えます。</li> <li>● F4ダイヤルを押した状態でプリセット番号をタッチすると、プリセットメモリーの削除が行えます。</li> </ul>

■ PMEM DIRECT

- プリセット番号を入力することでダイレクトに実行指示が行えます。



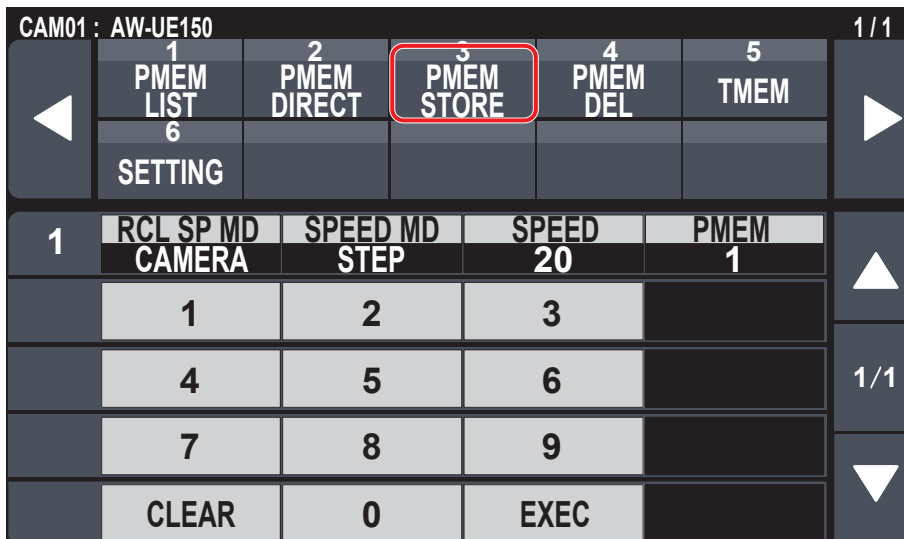
\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
RCL SP MD* <sup>1</sup>	CAMERA RP	プリセットメモリーを再生するためのプリセットスピードの再生モードを設定します。 <b>CAMERA:</b> リモートカメラに設定されているプリセットスピードで再生されます。 <b>RP:</b> プリセットメモリー登録時に登録されたプリセットスピードで再生されます。
SPEED MD	表示のみ	プリセットメモリーを再生するスピードのモードを表示します。 <b>STEP:</b> プリセット位置までを指定されたスピードで移動します。 <b>TIME:</b> プリセット位置までを指定された時間で移動します。
SPEED	表示のみ	プリセット位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED MD] が [STEP] のときには、プリセット位置までの移動速度を表示します。 [TIME] のときには、プリセット位置までの移動時間を表示します。
PMEM	1 : 100	現在選択されているプリセット番号を表示します。
0 : 9	-	プリセットメモリーの番号をタッチして [EXEC] を選択すると、プリセットが再生されます。 タッチした番号は、[PMEM] 項目に表示されます。 プリセット番号をタッチ中に [CLEAR] を選択すると、入力した番号がクリアされます。
CLEAR	-	
EXEC	-	

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

■ PMEM STORE

- プリセット番号を入力することでプリセットメモリーの登録が行えます。

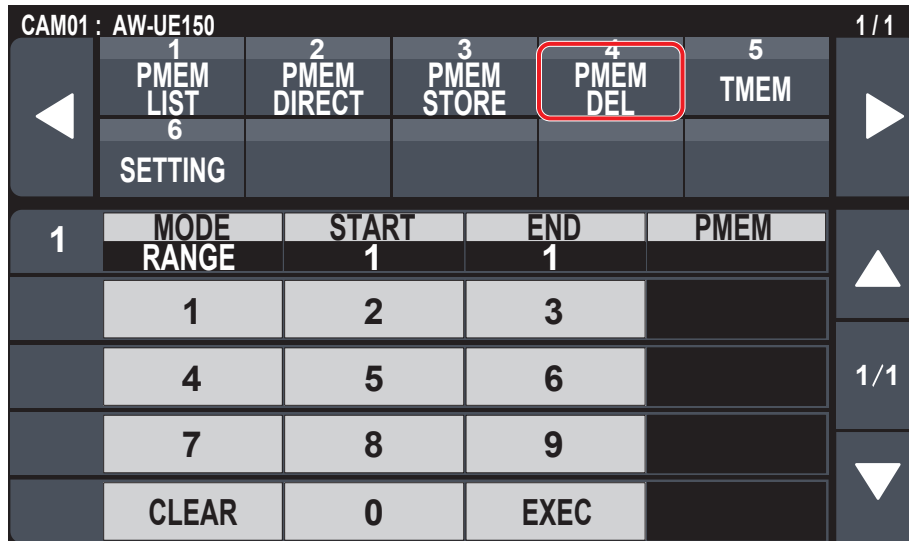


\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
RCL SP MD	CAMERA RP	プリセットメモリーを再生するためのプリセットスピードの再生モードを設定します。 <b>CAMERA:</b> プリセットメモリー再生時に、リモートカメラに設定されているプリセットスピードで再生されます。 <b>RP:</b> プリセットメモリー登録時に登録されたプリセットスピードで再生されます。
SPEED MD	STEP TIME	プリセットメモリーを再生するスピードのモードを表示します。 <b>STEP:</b> プリセット位置までを指定されたスピードで移動します。 <b>TIME:</b> プリセット位置までを指定された時間で移動します。
SPEED	-	プリセット位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPEED MD]が“STEP”のときには、プリセット位置までの移動速度を表示します。 “TIME”のときには、プリセット位置までの移動時間を表示します。
PMEM	1 : 100	現在選択されているプリセットメモリーの番号を表示します。
0 : 9	-	プリセットメモリーの番号をタッチして“EXEC”を選択すると、プリセットが登録されます。 タッチした番号は、[PMEM]項目に表示されます。 プリセット番号をタッチ中に“CLEAR”を選択すると、入力した番号がクリアされます。
CLEAR	-	
EXEC	-	

■ PMEM DEL

- プリセットメモリーの削除が行えます。

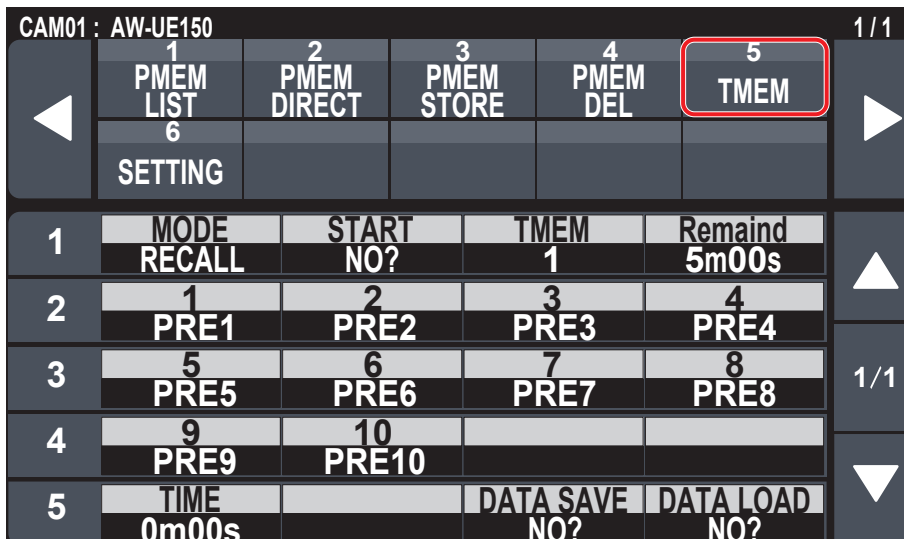


\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
MODE	ALL DIRECT RANGE	プリセットメモリーの削除モードを選択します。 <b>ALL:</b> すべてのプリセットメモリーを削除します。 <b>DIRECT:</b> [0] ~ [9] のボタンでプリセットメモリーの番号を指定して削除します。 <b>RANGE:</b> [START] と [END] で指定した範囲のプリセットメモリーを削除します。
START	-	[MODE] で [RANGE] が選択されているときに、プリセットメモリーの削除範囲を [START] (F2ダイヤル) ~ [END] (F3ダイヤル) で指定し、「EXEC」で実行されます。
END	-	
PMEM	-	[MODE] が [DIRECT] のときに、削除するプリセットメモリーの番号を入力 (PMEMに表示) して、「EXEC」で実行します。
0 : 9	-	「CLEAR」すると、いったん入力された番号は、無効になります。
CLEAR	-	
EXEC	-	

■ TMEM

- 設定値は接続したカメラによって異なります。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

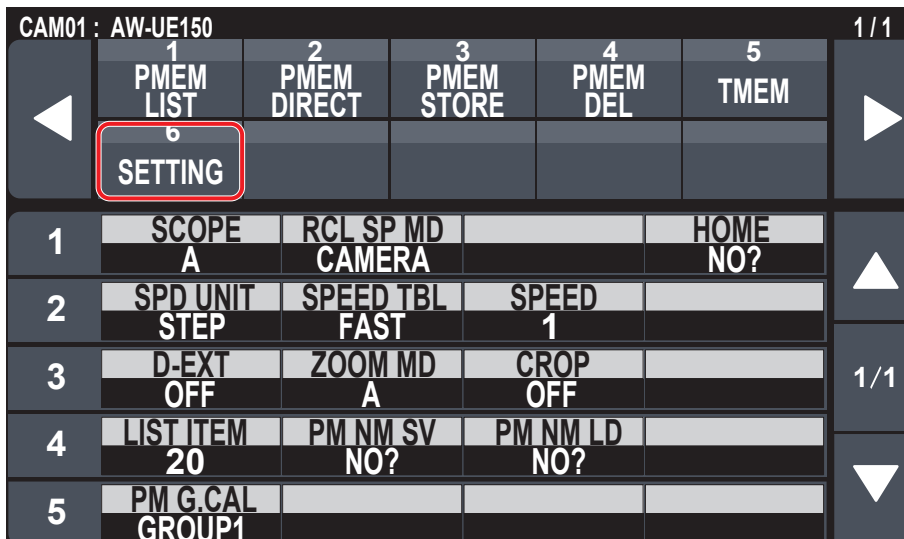
項目	設定値	設定内容
MODE	STORE RECALL DEL RESTORE	トレーシングメモリーに対する操作を選択します。 <b>STORE:</b> トレーシングメモリーの登録を行います。 <b>RECALL:</b> トレーシングメモリーの再生を行います。 <b>DEL:</b> トレーシングメモリーの削除を行います。 <b>RESTORE:</b> 登録したトレーシングメモリーの編集を行います。
START	NO? YES? ([MODE]が[STORE]のときのみ)	[MODE]で[STORE]が選択されているときに「YES?」を選択し、F2ダイヤルを押すとトレーシングメモリーの登録を開始します。
TMEM	1 : 100	現在選択しているトレーシングメモリーの番号を表示します。
Remaind	5m00s	トレーシングメモリーの保存可能な時間を表示します。
1 : 10	-	トレーシングメモリーの登録、再生、削除、編集のときに選択します。選択した番号が、[MODE]に応じた動作を行います。黄色で点灯している番号は、トレーシングメモリー登録済みの番号です。
TIME	0m00s	選択しているトレーシングメモリーに対する登録時間を表示します。未登録の場合には、0m00sとなります。
DATA SAVE	NO? YES?	トレーシングメモリーのデータをメモリーカードに保存します。メモリーカードには、本機が保持しているすべてのトレーシングメモリーのデータを、1つのファイルとして保存します。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
DATA LOAD	NO? YES?	トレーシングメモリーのデータをメモリーカードから読み込みます。「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。F1ダイヤルを回してファイルを選択し、F1ダイヤルを押して読み込みます。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。

メモ

- トレーシングメモリーの操作を行うときは、複数のAW-RP150から操作しないでください。同じリモートカメラに対して、複数のAW-RP150からトレーシングメモリーの操作を行うと、正しく動作しません。

■ SETTING

- プリセットメモリー、トレーシングメモリーに関する基本設定を行います。



\_\_\_ は、工場出荷時の設定です。

項目	設定値	設定内容
SCOPE	A B C	トレーシングメモリーに登録されている項目に対して、再生する対象を指定します。 A: Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus, Iris, Gain, ホワイトバランス調整値 B: Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus, Iris C: Pan, Tilt, Zoom (デジタルズーム含む)、Focus
RCL SP MD* <sup>1</sup>	CAMERA RP	プリセットメモリーを再生するためのプリセットスピードの再生モードを設定します。 CAMERA: リモートカメラに設定されているプリセットスピードで再生します。 RP: プリセットメモリー登録時に登録されたプリセットスピードで再生します。
HOME		回転台をホームポジションに戻します。
SPD UNIT	STEP TIME	プリセットメモリーを再生するスピードのモードを表示します。 STEP: プリセット位置までを指定されたスピードで移動します。 TIME: プリセット位置までを指定された時間で移動します。
SPEED TBL	SLOW FAST	プリセットメモリー再生時のスピードのモードを設定します。
SPEED	(リモートカメラ側の設定値)	プリセット位置までの移動速度、もしくは時間を表示します。 [SPD UNIT] が [STEP] のときには、プリセット位置までの移動速度を表示します。 [TIME] のときには、プリセット位置までの移動時間を表示します。
D-EXT	OFF ON	プリセットメモリーの登録時に、Digital ExtenderのON/OFFの設定を含めるかを設定します。
ZOOM MD	A B	プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。 A: PAN/TILT の動作に合わせてズーム動作を行います。 B: PAN/TILT の動作よりも速くズーム動作を行います。
CROP	OFF ON	プリセットメモリーを再生したときに、「CROP」の各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOff/Onします。
LIST ITEM* <sup>1</sup>	20 50	PMEM LIST 画面での、1 ページに表示するプリセット番号の表示項目数を設定します。 20: 番号とプリセット名称が表示されます。 50: 番号のみの表示となります。

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

項目	設定値	設定内容
PM NM SV	NO? YES?	[PMEM LIST]メニューで表示する、プリセットメモリーの名称データを保管します。 「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。 F1 ダイヤルを回してファイルを選択し、F1 ダイヤルを押して保管します。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
PM NM LD	NO? YES?	[PMEM LIST]メニューで表示する、プリセットメモリーの名称データを読み込みます。 「YES?」を選択すると、ファイルを選択する画面に切り替わります。 F1 ダイヤルを回してファイルを選択し、F1 ダイヤルを押して読み込みます。 ● 処理が完了するまでは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。
PM G.CAL*1	GROUP1 : GROUP4	[MAINTENANCE] ボタン > [GPI PMEM.G] のメニューで設定した、[GPI IN SEL] の設定内容を実行します。 目的のグループを選択して、F1 ダイヤルを押すと実行します。 <b>GROUP1:</b> GPI IN SEL の IN1 <b>GROUP2:</b> GPI IN SEL の IN2 <b>GROUP3:</b> GPI IN SEL の IN3 <b>GROUP4:</b> GPI IN SEL の IN4

\*1 : MAINTENANCE > RP SETTING > DATA SAVE でメモリーカードに保存される項目です。

# セットアップソフトウェア

セットアップソフトウェア (Setup Software) は、本機とリモートカメラとの接続設定をパーソナルコンピュータから行うためのソフトウェアです。各項目を一覧で確認しながら、設定を行うことができます。

- リモートカメラとの接続設定は、本機だけでも行うことができます。本機で設定する方法については、「リモートカメラとの接続設定を行う」(33 ページ) を参照してください。

## NOTE

Setup Software を使ってパーソナルコンピュータで設定を行っているときは、下記内容に注意してください。

- 本機側での操作を行わないでください。
- 同一ネットワーク上の他のコンピュータで、Setup Software を起動させないでください。
- 「簡単 IP 設定ソフトウェア」を使用しないでください。

## ソフトウェアをインストールする

Setup Software のインストール方法について説明します。

ソフトウェアについては、下記 Web サイトのサポートデスクから入手することができます。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/>

1. Web サイトのサポートデスクから、Setup Software の zip ファイルをダウンロードします。
2. ダウンロードした zip ファイルをダブルクリックして解凍します。
3. 「Setup Software」フォルダー内の「RP150PCTool\_\*.exe」をダブルクリックして Setup Software を起動させます。
  - Web サイトには、Windows<sup>®</sup> 7 と Windows<sup>®</sup> 10 に対応した Setup Software を用意しています。  
\*の箇所が「7」は Windows<sup>®</sup> 7 用、「10」は Windows<sup>®</sup> 10 用となります。

## パーソナルコンピュータの設定を行う

本機と接続する前に、パーソナルコンピュータに対して以下の設定を行ってください。

- IP アドレス** : 本機や、同じサブネット内に接続されている機器 (リモートカメラなど) に設定されている IP アドレスと重複しないように設定してください。
- サブネットマスク** : 本機に設定されているサブネットマスクと同一のものを設定してください。
- デフォルトゲートウェイ** : 本機に設定されているデフォルトゲートウェイと同一のものを設定してください。

本機に設定されている IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、[SYSTEM] ボタン > [RP IP SET] を確認してください。

- IP アドレス** : 「IP」項目
- サブネットマスク** : 「SUBNET」項目
- デフォルトゲートウェイ** : 「GATEWAY」項目



## セットアップソフトウェア(つづき)

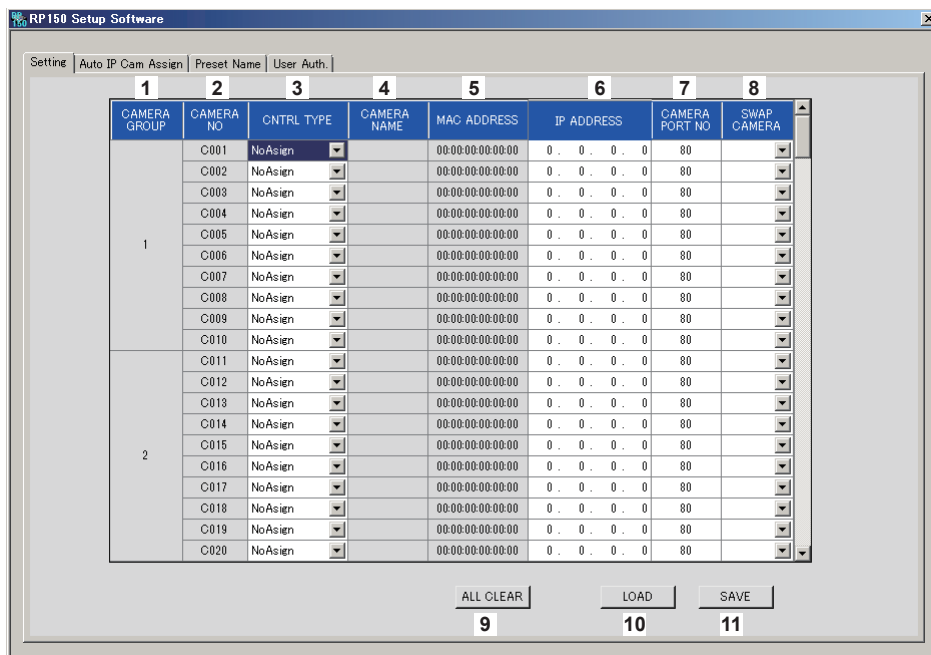
本書では、Windows 7の画面をもとに説明しています。  
Windows 7以外のOSをお使いの場合、画面上の表示が一部異なる場合があります。

### リモートカメラとの接続設定を行う

#### [Setting] タブの表示

本機の[SYSTEM]ボタン>[CONNECT SETTING]メニューで「DATA SAVE」したデータをもとに設定します。  
データは、PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA ¥Network.s15 で保管されます。

[LOAD]にて、本機の[CONNECT SETTING]メニューで「DATA SAVE」したデータを読み込みます。  
画面に、読み込んだデータが反映されます。



#### 1 CAMERA GROUP

カメラグループ番号を表示します。

#### 2 CAMERA NO

カメラ番号を表示します。

#### 3 CNTRL TYPE

接続種別を選択します。

右側の ▾ をクリックして、「Serial」、「Network」、「NoAssign」から、接続種別を選択します。

**Serial** : シリアル接続

**Network** : IP 接続

**NoAssign** : 設定なし (工場出荷時)

「Serial」は、GROUP1 でのみ選択できます。

#### 4 CAMERA NAME

リモートカメラ側で設定されているカメラの名称を表示します。

- 本体の[AUTO IP SET]もしくは、本ソフトウェアの[AUTO IP CAM ASSIGN]で取得した場合には表示されます。

#### 5 MAC ADDRESS

本機のカメラ番号とリンク設定されているリモートカメラのMACアドレスを表示します。

- 本体の[AUTO IP SET]もしくは、本ソフトウェアの[AUTO IP CAM ASSIGN]で取得した場合には表示されます。

#### 6 IP ADDRESS

接続先とするリモートカメラのIPアドレスを設定します。

#### 7 CAMERA PORT NO

接続先とするリモートカメラのポート番号を設定します。

入力した後、[SAVE]ボタンをクリックして、変更内容を反映させてください。

設定可能な範囲：1 ~ 65535

ただし、この範囲の値であっても、以下の値を設定することはできません。

20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 995, 10669, 10670
---

#### 8 SWAP CAMERA

2つのカメラ番号間で、接続先として設定されているリモートカメラを入れ替えます。

▾ をクリックすると、カメラ番号「C001」～「C200」が表示されます。

#### 9 ALL CLEAR ボタン

設定データをすべてクリアします。

### 10 LOAD ボタン

ファイル読み込み画面が表示され、指定したファイルの読み込みを行います。  
 本体で保存したデータは、以下のパスに保管してあります。  
 ¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下  
 ファイル名：Network.s15  
 ● 本機で保存したデータを使用してください。

### 11 SAVE ボタン

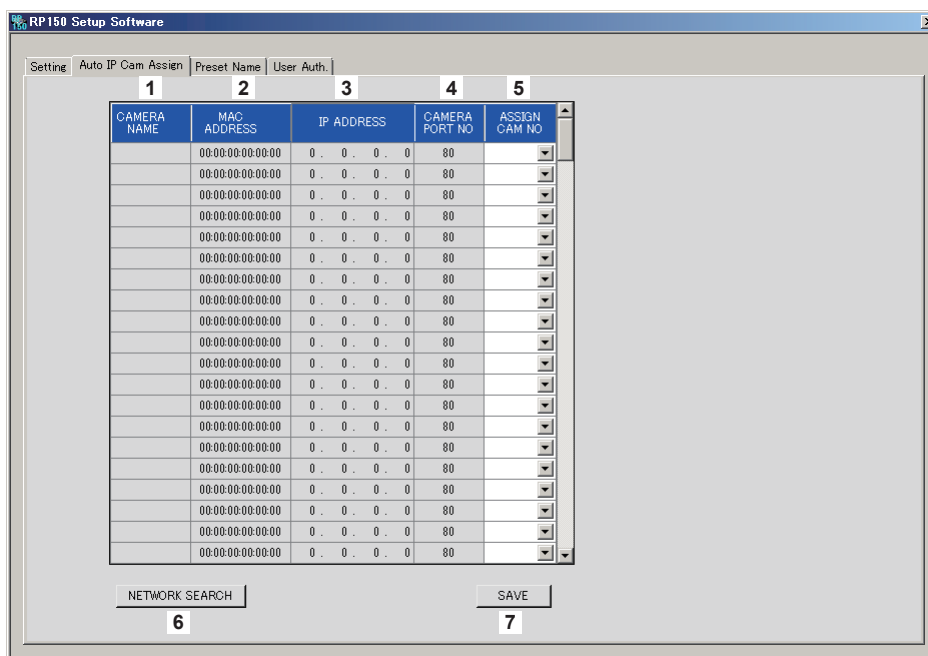
設定したデータの保存を行います。  
 ここで保存したデータファイルは、¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保存してください。  
 本機の[SYSTEM]ボタン>[CONNECT SETTING]メニューで「DATA LOAD」で読み込むと本体に反映されます。

### NOTE

- [User Auth.]タブで保存されたデータを読み込んで、[Setting]タブで保存した場合は、[User Auth.]タブで設定した内容が本機に反映されませんのでご注意ください。

### [Auto IP Cam Assign] タブの表示

「NETWORK SEARCH」を実施し、該当するリモートカメラが検索できると、リストに表示されます。  
 リストは、ヒットした順に表示されます。



#### 1 CAMERA NAME

検索時に取得したカメラ名称が表示されます。

#### 2 MAC ADDRESS

検索時に取得したMAC ADDRESSが表示されます。

#### 3 IP ADDRESS

検索時に取得したIP ADDRESSが表示されます。

#### 4 CAMERA PORT NO

検索時に取得したポート番号が表示されます。

#### 5 ASSIGN CAM NO

検索した結果のリモートカメラをアサインするカメラ番号を割り当てします。

- ここでカメラ番号を割り当てたものが、本体に反映されます。

#### 6 NETWORK SEARCH ボタン

ネットワーク上のリモートカメラを検索します。  
 検索した結果をリストに表示します。

## 7 SAVE ボタン

設定した内容を保存します。

メモリーカードに保管する際には、以下のパスに保存してください。

¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保存します。

本機の[SYSTEM]ボタン>[CONNECT SETTING]メニューで「DATA LOAD」で読み込むと本体に反映されます。

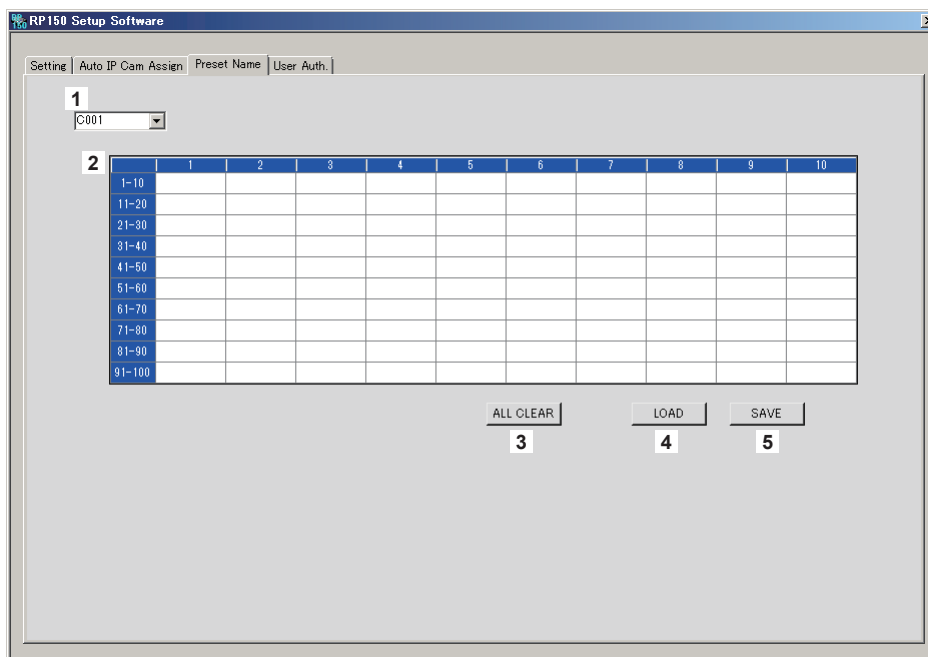
## [Preset Name] タブの表示

プリセット番号に対する名称を半角8文字まで設定できます。

[PMEM/TMEM]ボタン>[SETTING]>[PM NM SV]で保管したデータを編集できます。

編集後のデータを保管して、本体に「LOAD」すると、PMEM LIST画面で表示します。

なお、本名称は、リモートカメラからプリセット名称が通知される場合には、リモートカメラから通知される名称が優先されます。



### 1 CAMERA NO

設定編集するカメラ番号を選択します。

[LOAD]でファイルを読み込んだ場合には、保存時のカメラ番号が表示されます。

### 2 PRESET 名称設定エリア

プリセット番号ごとに、名称を設定します。

[LOAD]でファイルを読み込んだ場合には、保存時の名称が表示されます。

名称は、最大で半角8文字まで設定できます。

使用可能な文字は、次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	- . _ , + / ( ) [ ] (および半角スペース)

### 3 ALL CLEAR ボタン

設定されている名称を削除します。

### 4 LOAD ボタン

保存したデータを読み込みます。

本体で保存したデータは以下のパスに保管してあります。

¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保管されます。

ファイル名：Cam\*\*\*Pr.p15 (\*\*の箇所はカメラ番号)

### 5 SAVE ボタン

設定したデータを保存します。

現在設定されているカメラ番号のデータを保存します。

メモリーカードに保管する際には、以下のパスに保存してください。

¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保管します。

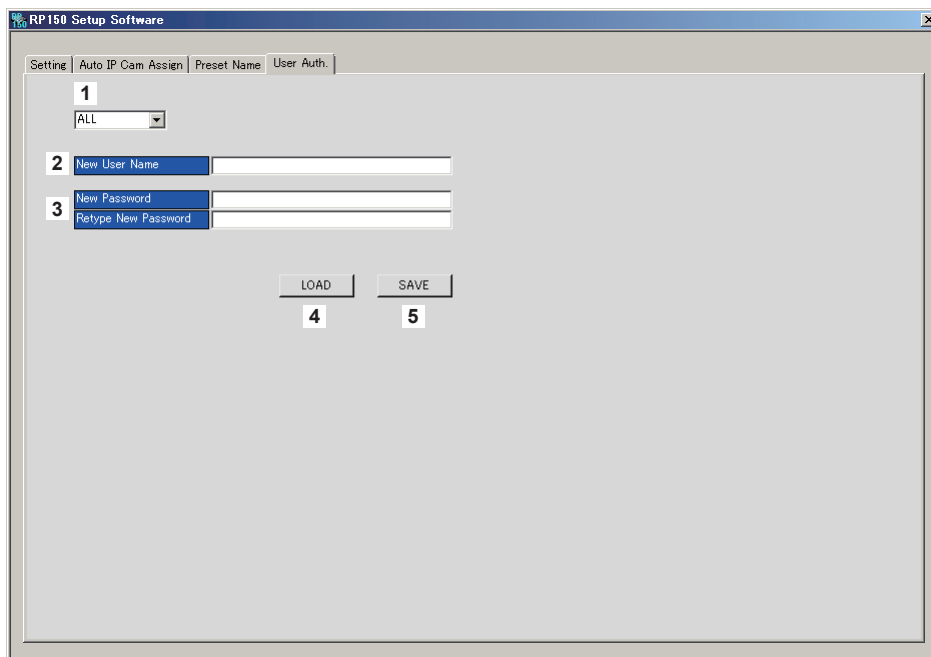
ファイル名：Cam\*\*\*Pr.p15 (\*\*の箇所はカメラ番号)

### [User Auth.] タブの表示

接続先のリモートカメラのユーザー認証の設定を行います。

カメラ個別の設定や、一括設定が行えます。

本設定は、本機の[SYSTEM]ボタン>[CONNECT SETTING]メニューで「DATA SAVE」したデータを元に設定します。



#### 1 CAMERA NO

ユーザー認証の設定を行うカメラ番号を選択します。

「ALL」を選択すると一括設定となります。

カメラ番号を選択したときには、カメラ番号ごとに個別に設定が行えます。

#### 2 New User Name

新しく設定するユーザーネームを設定します。

本設定は、接続するリモートカメラに設定されたユーザーネームを設定してください。

#### 3 New Password/Retype New Password

新しく設定するパスワードを設定します。

本設定は、接続するリモートカメラに設定されたパスワードを設定してください。

#### 4 LOAD ボタン

ファイル読み込み画面が表示され、指定したファイルの読み込みを行います。

本体で保存したデータは、以下のパスに保管してあります。

¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保管されます。

ファイル名 : Network.s15

- 本機で保存したデータを使用してください。

#### 5 SAVE ボタン

設定したデータを保存します。

現在設定されているカメラ番号のデータを保存します。

メモリーカードに保管する際には、以下のパスに保存してください。

¥PRIVATE ¥MEIGROUP ¥PAVCN ¥SBG ¥SYSCAM ¥RP150 ¥DATA の配下に保管します。

本機の[SYSTEM]ボタン>[CONNECT SETTING]メニューで「DATA LOAD」で読み込むと本体に反映されます。

#### NOTE

- [Setting] タブで保存されたデータを読み込んで、[User Auth.] タブで保存した場合は、[Setting] タブで設定した内容が本機に反映されませんのでご注意ください。

# メッセージ一覧

## IP 接続設定

表示	説明
Unavailable network setting	入力した IP アドレス、サブネットマスク、ポート番号は設定できません。 正しい値を設定してください。 詳しくは、「本機のネットワーク設定を行う」(31 ページ) を参照してください。
IP Duplicate!	入力した IP アドレスは、他の項目で設定している IP アドレス (他のカメラ番号に対する接続先 IP アドレス、もしくは本機の IP アドレス) と重複しています。
Please reboot RP	本機の再起動が必要です。 本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

## プリセットメモリー

表示	説明
Used by TMEM.	選択した数字ボタンには、トレーシングメモリーが登録されているため、上書きや削除を実行することはできません。

## トレーシングメモリー

表示	説明
TM##: Waiting Opr.	トレーシングメモリーの記録操作待ち状態です。
TM##: ##m##s Storing...	トレーシングメモリーの記録中です。
TM##: ##m##s/#m##s Standby Recall	トレーシングメモリーの再生待ち状態です。
TM##: ##m##s/#m##s Recalling...	トレーシングメモリーの再生中です。
TM##: ##m##s/#m##s Standby Restore	トレーシングメモリーの修正スタンバイ状態です。
TM##: ##m##s/#m##s Restoring...	トレーシングメモリーの修正中です。
CAM GRP can't be changed in TMEM	TMEM モード中は、カメラグループを切り替えることはできません。

- 「#」には数字が入ります。

## メモリーカード

表示	説明
INITIALIZING... NOT REMOVE CARD	メモリーカードのイニシャライズ中です。 メモリーカードを抜かないでください。
SAVING... NOT REMOVE CARD	メモリーカードへデータを保存しています。 メモリーカードを抜かないでください。
LOADING... NOT REMOVE CARD	メモリーカードからデータを読み込んでいます。 メモリーカードを抜かないでください。
LOAD ERROR!	本機、もしくは選択中のリモートカメラに読み込めないファイル (下記) です。 ● 現在選択中のリモートカメラと異なる機種で保存したファイル ● データが破壊されたファイル ⇒ ファイルが保管されているか確認してください。 ⇒ メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。
SAVE ERROR!	メモリーカードへの書き込みに失敗しました。 ⇒ メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。 ⇒ 本機に対応しているメモリーカードか確認してください。 ⇒ メモリーカードがフォーマットされているか確認してください。 ⇒ メモリーカードに空き容量があるか確認してください。 ⇒ メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていないか確認してください。
FORMAT ERROR!	メモリーカードのフォーマットに失敗しました。 ⇒ メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。 ⇒ 本機に対応しているメモリーカードか確認してください。 ⇒ メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていないか確認してください。
COMPLETE Push OK to reboot system.	本機の再起動が必要です。 本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
UPGRADE ERROR!	本機のアップデートに失敗しました。 ⇒ メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。 ⇒ 本機に対応しているメモリーカードか確認してください。 ⇒ ファイルが保管されているか確認してください。 ⇒ メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていないか確認してください。

セットアップソフトウェア

表示	説明
Unavailable network setting.	入力したIPアドレス、ポート番号は設定できません。正しい値を設定してください。 詳しくは、「本機のネットワーク設定を行う」(31ページ)～「リモートカメラとの接続設定を行う」(39ページ)を参照してください。
Entered information is incorrect. Enter again.	入力内容に、本機で使用できない文字が含まれています。
Complete the “New User Name” field.	「New User Name」ボックスにユーザー名を入力してください。
Complete the “New Password” field.	「New Password」ボックスにパスワードを入力してください。
Complete the “Retype New Password” field.	「Retype New Password」ボックスにパスワードを入力してください。
Password entered in the “Retype New Password” field is incorrect.	「Retype New Password」ボックスに入力したパスワードが、「New Password」に入力したパスワードに一致しません。

## トラブルシューティング

症 状	原因・対策	参照ページ
本機の電源が入らない	● 外部DC電源は動作していますか？	—
	● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？	—
リモートカメラの操作ができない	● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？	—
	● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？	P.17～P.20
	● 接続設定は正しいですか？	P.33～P.39
	● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。	P.22
	● リモートカメラは正しく選択されていますか？	P.24～P.25
	● ENABLE ボタンは点灯していますか？	P.21
	● リモートカメラのユーザー認証が設定されていますか？	P.92
PAN/TILTレバーの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態（据え置き/吊り下げ）に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。	—
	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	P.55
ZOOM ボタン、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	P.55

## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス  
などのご相談は、まず、  
**お買い上げの販売店**  
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### ■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### ■補修用性能部品 [8年]

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

### ■保証期間経過後の修理は...

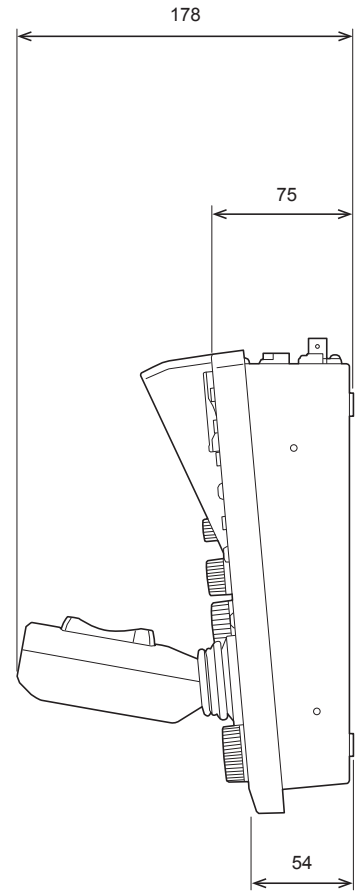
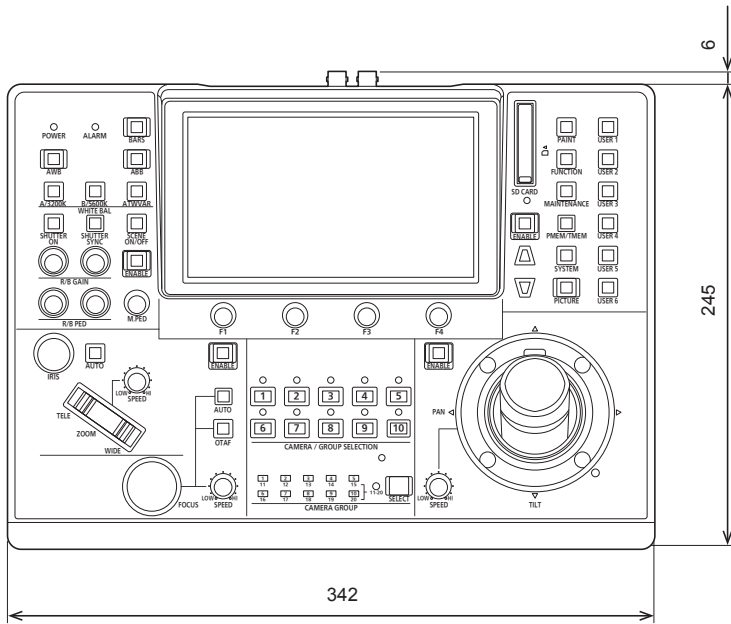
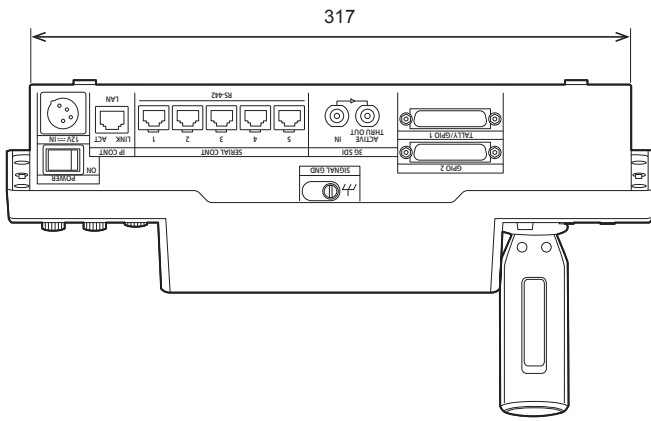
修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートカメラコントローラー
品番	AW-RP150G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

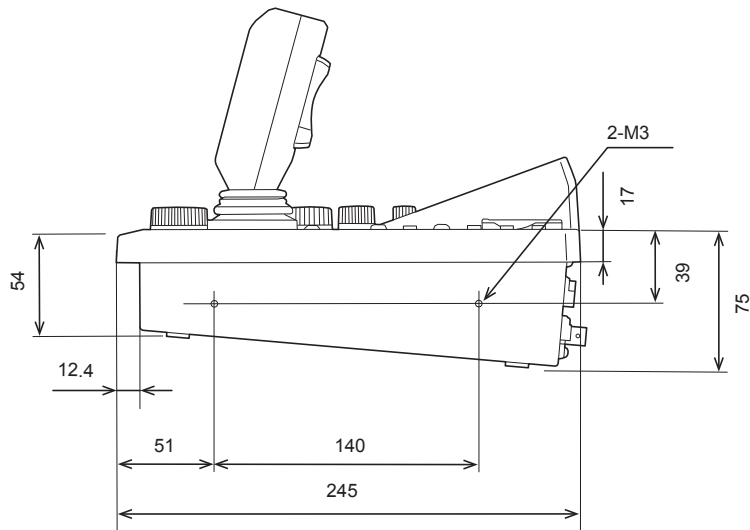


# 外形寸法図

単位：mm



## ● マウントアングル取り付け位置




# 定格

電源電圧 : DC (==) 12 V (10.8 V - 13.2 V)  
DC (==) 42 V - 57 V (PoE+ 給電)  
消費電流 : 1 A (DC12 V 給電)  
0.6 A (PoE+ 給電)

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

== DC (直流)

 は安全項目です。

## ■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C  
許容湿度 : 10% ~ 90% (結露なきこと)  
質量 : 約 3.2 kg  
寸法 (幅×高さ×奥行) : 342 mm × 178 mm × 245 mm  
(突起部含まず)

## ■ 入出力端子

DC 12 V IN (XLR 4ピン)

3G SDI IN / 3G SDI ACTIVE THRU OUT :  
SMPTE292/75 Ω

対応フォーマット :  
1080/59.94p\*, 1080/59.94i,  
1080/23.98p, 1080/23.98PsF,  
1080/50p\*, 1080/50i, 1080/25p,  
1080/25PsF  
\* : Level A 対応のみ

IP CONT (RJ-45) : 10BASE-T/100BASE-TX  
PoE+ 入力  
接続ケーブル : LAN ケーブル、最大 100 m

- スイッチングハブを経由して接続する場合 :  
ストレートケーブルまたは、クロスケーブル  
(カテゴリ 5e ケーブル)、STP (Shielded  
Twisted Pair) ケーブルを推奨
- 機器を直接接続する場合 :  
クロスケーブル (カテゴリ 5e ケーブル)、STP  
(Shielded Twisted Pair) ケーブルを推奨

SERIAL CONT (RJ-45) :  
RS-422 (リモートカメラ用制御信号)  
接続ケーブル :  
ストレートケーブル (カテゴリ 5e 以上のシ  
ールドケーブル)、最大 1000 m

TALLY OUT :  
オープンコレクター出力 (負論理)  
最大耐圧 DC 24 V、最大電流 50 mA

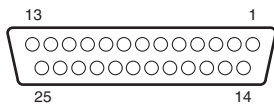
TALLY/GPIO 1 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :  
TALLY IN : 10 入力、フォトカプラー受け  
GPI : 6 入力、フォトカプラー受け  
GPIO : 5 入力、フォトカプラー受け、または、  
5 出力、オープンコレクター出力 (負論理)  
● メニューの設定により入力/出力を切り替え

GPIO 2 (D-sub 25ピン、メス、インチねじ) :  
GPI : 10 入力、フォトカプラー受け  
GPIO : 10 入力、フォトカプラー受け、または、  
10 出力、オープンコレクター出力 (負論理)  
● メニューの設定により入力/出力を切り替え

リザーブ  
端子 : 2 端子 (将来拡張機能用)

# 外部機器の制御インターフェース

## 1. TALLY/GPIO 1 (JST 製 : JBY-25S-1A3F(LF)(SN))



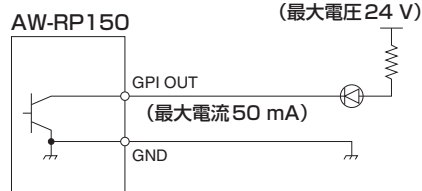
ピン番号	信号名	信号内容	動作
1	R_TALLY_IN_1	タリ入力 TALLY IN1 ~ TALLY IN10	接点入力 (ステータス動作)
14	R_TALLY_IN_2		
2	R_TALLY_IN_3		
15	R_TALLY_IN_4		
3	R_TALLY_IN_5		
16	R_TALLY_IN_6		
4	R_TALLY_IN_7		
17	R_TALLY_IN_8		
5	R_TALLY_IN_9		
18	R_TALLY_IN_10		
6	GND	GND	
19	DSUB1_GPI_1	メニューの [MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD] の設定で、「GPI」の設定を割り当てる ことができます。 詳しくは、100ページの GPIO MODE : MODE1、 GPIO MODE : MODE2 を参照してください。	接点入力 (トリガー動作) ● トリガー幅 ≥ 30 ms
7	DSUB1_GPI_2		
20	DSUB1_GPI_3		
8	DSUB1_GPI_4		
21	DSUB1_GPI_5		
9	DSUB1_GPI_6		
22	GND	GND	
10	DSUB1_GPIO_1	メニューの [MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD] の設定で、「GPIO」の設定を割り当てる ことができます。 詳しくは、100ページの GPIO MODE : MODE1、 GPIO MODE : MODE2 を参照してください。	<b>入力時：</b> 接点入力 (トリガー動作) ● トリガー幅 ≥ 30 ms <b>出力時：</b> オープンコレクター出力 (ステータス動作)
23	DSUB1_GPIO_2		
11	DSUB1_GPIO_3		
24	DSUB1_GPIO_4		
12	DSUB1_GPIO_5		
25	GND	GND	
13	ALARM	アラーム	オープンコレクター出力 (ステータス動作)

### GPI OUT の接続例

次の条件を守ってください。

耐圧：最大 DC 24 V

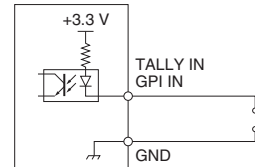
電流：最大 50 mA



### TALLY IN, GPI IN の接続例

接点入力を行ってください。

#### AW-RP150



## 外部機器の制御インターフェース(つづき)

メニューの [MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD] の設定で、以下のように GPIO の設定を割り当てることができます。

### ■ GPIO MODE : MODE1 DSUB1

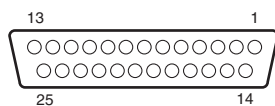
ピン番号	信号名	
1	R_TALLY_IN_1	*1
14	R_TALLY_IN_2	*1
2	R_TALLY_IN_3	*1
15	R_TALLY_IN_4	*1
3	R_TALLY_IN_5	*1
16	R_TALLY_IN_6	*1
4	R_TALLY_IN_7	*1
17	R_TALLY_IN_8	*1
5	R_TALLY_IN_9	*1
18	R_TALLY_IN_10	*1
6	GND	
19	G_TALLY_IN_1	*1
7	G_TALLY_IN_2	*1
20	G_TALLY_IN_3	*1
8	G_TALLY_IN_4	*1
21	G_TALLY_IN_5	*1
9	G_TALLY_IN_6	*1
22		
10	G_TALLY_IN_7	*1
23	G_TALLY_IN_8	*1
11	G_TALLY_IN_9	*1
24	G_TALLY_IN_10	*1
12	予備入力	
25	GND	
13	ALARM	

### ■ GPIO MODE : MODE2 DSUB1

ピン番号	信号名	
1	R_TALLY_IN_1	*1
14	R_TALLY_IN_2	*1
2	R_TALLY_IN_3	*1
15	R_TALLY_IN_4	*1
3	R_TALLY_IN_5	*1
16	R_TALLY_IN_6	*1
4	R_TALLY_IN_7	*1
17	R_TALLY_IN_8	*1
5	R_TALLY_IN_9	*1
18	R_TALLY_IN_10	*1
6	GND	
19	PRESET_MEM_GROUP_IN_1	*2
7	PRESET_MEM_GROUP_IN_2	*2
20	PRESET_MEM_GROUP_IN_3	*2
8	PRESET_MEM_GROUP_IN_4	*2
21	MENU ENABLE_BOTTOM	
9		
22	GND	
10	GROUP_SELECT_OUT_1	*3
23	GROUP_SELECT_OUT_2	*3
11	GROUP_SELECT_OUT_3	*3
24	GROUP_SELECT_OUT_4	*3
12	GROUP_SELECT_OUT_5	*3
25	GND	
13	ALARM	

- \*1 : メニューの [MAINTENANCE] > [GPI TALLY] の設定
- \*2 : メニューの [MAINTENANCE] > [GPO CAM.G] の設定
- \*3 : メニューの [MAINTENANCE] > [GPI PMEM] の設定

2. GPIO 2 (JST製 : JBY-25S-1A3F(LF)(SN))



ピン番号	信号名	信号内容	動作
1	DSUB2_GPI_1	メニューの[MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD]の設定で、「GPIO」の設定を割り当てることができます。 詳しくは、以下のGPIO MODE : MODE1、GPIO MODE : MODE2を参照してください。	接点入力 (ステータス動作)
14	DSUB2_GPI_2		
2	DSUB2_GPI_3		
15	DSUB2_GPI_4		
3	DSUB2_GPI_5		
16	DSUB2_GPI_6		
4	DSUB2_GPI_7		
17	DSUB2_GPI_8		
5	DSUB2_GPI_9		
18	DSUB2_GPI_10		
6	GND	GND	
19	DSUB2_GPIO_1	メニューの[MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD]の設定で、「GPIO」の設定を割り当てることができます。 詳しくは、以下のGPIO MODE : MODE1、GPIO MODE : MODE2を参照してください。	<b>入力時：</b> 接点入力(トリガー動作) ● トリガー幅 ≧ 30 ms <b>出力時：</b> オープンコレクター出力 (ステータス動作)
7	DSUB2_GPIO_2		
20	DSUB2_GPIO_3		
8	DSUB2_GPIO_4		
21	DSUB2_GPIO_5		
9	DSUB2_GPIO_6		
22	DSUB2_GPIO_7		
10	DSUB2_GPIO_8		
23	DSUB2_GPIO_9		
11	DSUB2_GPIO_10		
24	GND	GND	
12	(将来拡張機能用です)		
25	GND	GND	
13	(将来拡張機能用です)		

メニューの[MAINTENANCE] > [RP SETTING] > [GPIO MD]の設定で、以下のように「GPIO」の設定を割り当てることができます。

■ GPIO MODE : MODE1

DSUB2

ピン番号	信号名	
1	CAMERA_SELECT_IN_1	*1
14	CAMERA_SELECT_IN_2	*1
2	CAMERA_SELECT_IN_3	*1
15	CAMERA_SELECT_IN_4	*1
3	CAMERA_SELECT_IN_5	*1
16	CAMERA_SELECT_IN_6	*1
4	CAMERA_SELECT_IN_7	*1
17	CAMERA_SELECT_IN_8	*1
5	CAMERA_SELECT_IN_9	*1
18	CAMERA_SELECT_IN_10	*1
6	GND	
19	CAMERA_SELECT_OUT_1	*1
7	CAMERA_SELECT_OUT_2	*1
20	CAMERA_SELECT_OUT_3	*1
8	CAMERA_SELECT_OUT_4	*1
21	CAMERA_SELECT_OUT_5	*1
9	CAMERA_SELECT_OUT_6	*1
22	CAMERA_SELECT_OUT_7	*1
10	CAMERA_SELECT_OUT_8	*1
23	CAMERA_SELECT_OUT_9	*1
11	CAMERA_SELECT_OUT_10	*1
24	GND	
12	(将来拡張機能用です)	
25	GND	
13	(将来拡張機能用です)	

■ GPIO MODE : MODE2

DSUB2

ピン番号	信号名	
1	PRESET_SELECT_IN_1	*2
14	PRESET_SELECT_IN_2	*2
2	PRESET_SELECT_IN_3	*2
15	PRESET_SELECT_IN_4	*2
3	PRESET_SELECT_IN_5	*2
16	PRESET_SELECT_IN_6	*2
4	PRESET_SELECT_IN_7	*2
17	PRESET_SELECT_IN_8	*2
5	PRESET_SELECT_IN_9	*2
18	PRESET_SELECT_IN_10	*2
6	GND	
19	CAMERA_SELECT_IN_1	*1
7	CAMERA_SELECT_IN_2	*1
20	CAMERA_SELECT_IN_3	*1
8	CAMERA_SELECT_IN_4	*1
21	CAMERA_SELECT_IN_5	*1
9	CAMERA_SELECT_IN_6	*1
22	CAMERA_SELECT_IN_7	*1
10	CAMERA_SELECT_IN_8	*1
23	CAMERA_SELECT_IN_9	*1
11	CAMERA_SELECT_IN_10	*1
24	GND	
12	(将来拡張機能用です)	
25	GND	
13	(将来拡張機能用です)	

\*1 : メニューの[MAINTENANCE] > [GPIO CAM SEL]の設定

\*2 : メニューの[MAINTENANCE] > [GPI PMEM]の設定

### 3. 3G SDI ACTIVE THRU OUT

BNC 75 Ω

SDI INに入力されたHD/SDI信号をそのまま出力します。

- 本機の電源が入っていないと信号は、出力されません。

### 4. 3G SDI IN

BNC 75 Ω

[PICTURE] ボタンが点灯しているときに、入力した映像をLCDパネルに表示します。

### 5. SERIAL CONT 1 ~ 5 (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。

ストレートケーブル (カテゴリー 5e以上のシールドケーブル) で接続してください。

ピン番号	信号名	信号内容
1	GND	フレームグラウンド
2	TALLY	タリー出力 (オープンコレクター)
3	TXD-	送信データ (-)
4	RXD-	受信データ (-)
5	RXD+	受信データ (+)
6	TXD+	送信データ (+)
7	NC	未使用
8	NC	未使用

- TALLY (ピン番号: 2) の仕様

耐圧: 最大DC 24 V

電流: 最大50 mA

### 6. IP CONT (RJ-45)

10BASE-T/100BASE-TX 準拠です。

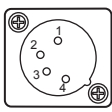
PoE+ 規格対応のネットワーク機器 (IEEE802.3at 準拠) と接続できます。

### 7. 12V $\equiv$ IN (DC 12 V)

ヒロセ電機製: HA16RA-4P(77)

外部電源からのDC12 V入力端子です。

入力電圧範囲: 10.8 V - 13.2 V

	ピン番号	機能
	1	GND
	2	NC
	3	NC
	4	+12V

## 数字

3G SDI .....	15
3G SDI ACTIVE THRU OUT .....	20, 98, 102
3G SDI IN .....	98, 102
3G SDI OUT .....	20

## A

AV-HLC100 .....	17
AW-UE150 .....	8, 17, 18, 19, 20

## F

FUNCTION .....	52
CAMERA INFO .....	53
CROP .....	57
HOUSING INFO .....	56
PTZ INFO1 .....	54
PTZ INFO2 .....	55
USER ASSIGN .....	52

## G

GPIO 2 .....	15, 98, 101
--------------	-------------

## I

IP CONT .....	15, 98, 102
IPアドレス .....	31

## L

LANケーブル .....	17, 18, 19, 20
---------------	----------------

## M

MACアドレス .....	32
MAINTENANCE .....	58
CAMERA MENU OP .....	58
FILES .....	61
GPIO CAM SEL .....	65
GPI PMEM .....	69
GPI PMEM.G .....	71
GPI TALLY .....	63
GPO CAM.G .....	68
RP INIT .....	62
RP SETTING .....	59
RP VERSION .....	62
MONI OUT .....	20

## P

PAINT .....	41
BLACK GAMMA .....	45
BRIGHTNESS .....	51
CHROMA .....	43
COLOR CORRE .....	49
DC DTL .....	48
DNR .....	50
DRS .....	46
DTL .....	47
GAIN .....	43
GAMMA .....	45
KNEE .....	46
MATRIX .....	48
PED .....	42

SCENE .....	41
SHUTTER .....	42
WHITE BALANCE .....	44
WHITE CLIP .....	47
PMEM/TMEM .....	80
PMEM DEL .....	84
PMEM DIRECT .....	82
PMEM LIST .....	81
PMEM STORE .....	83
SETTING .....	86
TMEM .....	85

## S

SDI IN .....	20
SERIAL CONT .....	15, 98, 102
Setup Software .....	88
SYSTEM .....	74
AUTO IP SET .....	77
CAMERA .....	74
CONNECT SETTING .....	75
MANUAL IP SET .....	76
RP IP SET .....	78
TRACKING .....	79

## T

TALLY/GPIO 1 .....	15, 98, 99
TALLY OUT .....	98

## か

カメラ選択部 .....	11
カラーアジャスト部 .....	13

## さ

サブネットマスク .....	31
----------------	----

## し

自動IP設定 .....	34
受信用ポート番号 .....	32

## せ

接続先IPアドレス .....	33
セットアップソフトウェア .....	88

## て

デフォルトゲートウェイ .....	32
-------------------	----

## は

パン、チルト部 .....	11
---------------	----

## ふ

フォーカス、ズーム、アイリス部 .....	12
-----------------------	----

## め

メニュー操作部 .....	10
メモリーカード部 .....	14

**ゆ**

---

ユーザーボタン部 ..... 14

**ら**

---

ライブプロダクションセンター ..... 17

**り**

---

リモートカメラ ..... 8

リンク設定 ..... 33



Blank lined area for writing.

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2018-2022